

Smart Netcommunity

α ZXII Slim

取扱説明書



技術基準適合認証品

このたびは、SmartNetcommunity α ZXII Slimをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。






- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになった後も、本商品のそば等いつも手もとに置いてお使いください。

安全にお使いいただくために 必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

- NTT東日本/NTT西日本より光アクセスサービス(フレッツ光)の提供を受けた事業者様が、お客様に自社サービスと光アクセスサービスを組み合わせて、サービスをご提供するモデルを『光コラボレーションモデル』といいます。また、本モデルによりサービスをご提供する事業者様を『光コラボレーション事業者様』といいます。
- 光コラボレーション事業者様名については、(NTT東日本:<https://flets.com/collabo/list/>、NTT西日本:<https://flets-w.com/collabo/list/>)にて最新の状況をご確認いただけます。
- 本書で記載されている「フレッツ光」や「ひかり電話」や「付加サービス(ナンバー・ディスプレイ等)」は、光コラボレーションモデルによりご提供される光アクセスサービス、ひかり電話サービス、付加サービスも含まれます。
- 光コラボレーション事業者様のご提供するサービスの名称、提供条件等は、直接各光コラボレーション事業者様へお問い合わせください。
- その他、NTT東日本・NTT西日本の提供する個別のサービスの名称、個別の機能名称等は、本書に記載のとおりです。

ご利用にあたってのお願い

- 本書は、SmartNetcommunity αZXⅡ 標準IP電話機24回線ボタンタイプを例として記載しており、本文中では、特に断りがない限り「内線電話機」という表現を用いております。
- 本商品のイラストはイメージであり、実際のデザインと多少異なる場合があります。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信等の機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失等により生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとる等して保管くださるようお願いいたします。
- 本商品の電話機ポートは、電話網の仕様とは完全に一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- 外部からの不正な（意図しない）アクセス等により、IP電話サービスおよびインターネットがご利用になれなくなる場合があります。このような場合は当社ホームページ等で最新のプログラムをそのつど提供してまいりますので、対応内容をご確認のうえ、最新バージョンをご利用いただけますようお願いいたします。なおプログラムのバージョンアップに関しては、「自動ファームウェア更新」(■P6-17)を参照してください。
- お客様宅内での接続環境により、最大通信速度が得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。
- インターネット常時接続をご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入および情報搾取等の危険が増えます。必要に応じて、お客様のパソコンにファイアウォールのソフトウェアをインストールする等の対応をお願いします。
- 最大10Gbps（規格値）や最大5Gbps（規格値）、最大2.5Gbps（規格値）、最大1Gbps（規格値）、最大100 Mbps（規格値）は、10GBASE-T や5GBASE-T、2.5GBASE-T、1000BASE-T、100BASE-TX の有線LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）を示すものではありません。
- 本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害等を回避するために、データの管理には十分ご注意ください。また、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品の初期化(■P6-16)、または取扱説明書の消去方法(■P11)を行って、保存または保持された情報を消去してください。
- 本商品の取扱説明書等に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 停電時には本商品は使用できません。電源が復旧した後は、動作を確実にするため、一度電源プラグを電源コンセントから抜いた後、10秒以上たってからもう一度差し込んでください。
- 本商品に搭載されているソフトウェアの解析（逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリング等）、コピー、転売、改造を行うことを禁止します。
- セキュリティ対策を行わず、あるいは、本商品の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本商品を修理する場合は工事担任者資格を必要とします。無資格者の修理は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本商品の取り扱い、電話機操作については、必ず取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。
- 本商品の外観および機能等の仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りいたします。
- 本書の内容については、将来予告なく変更される場合があります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

設置について

 警告

- 本商品や電話機、電源アダプタ、電源コード、電話機コード、LANケーブルおよびそれらの接続点のそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品等の容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品や電話機、電源アダプタ、電源コード、電話機コード、LANケーブルおよびそれらの接続点に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電・故障の原因となることがあります。



- 本商品や電話機、電源アダプタ、電源コード、電話機コード、LANケーブルは次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- ・ 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラー等の近くや屋外等の温度の上がる場所。
- ・ 調理台のそば等、油飛びや湯気の当たるような場所。
- ・ 湿気の多い場所や水・油・薬品・ペットの尿等のかかる恐れがある場所。
- ・ ごみやほこりの多い場所、鉄粉、温泉ガス、有毒ガス等が発生する場所。
- ・ 製氷倉庫等、特に温度が下がる場所。
- ・ 風呂場やシャワー室等の水のかかる、水にぬれる場所。



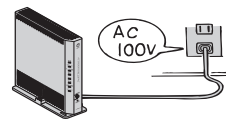
- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、本商品の内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。次のような設置のしかたはしないでください。

- ・ 本商品を仰向けや横倒し、逆さま、重ね置きにする。
- ・ 本商品を収納棚や本箱、配線ボックス等の風通しの悪い狭い場所に押し込む。
- ・ 本商品をじゅうたんや布団の上に置く、または毛布、布団をかぶせる。
- ・ 本商品にテーブルクロス等かける。
- ・ 本商品の周りに物を置いて、通風孔をふさぐ。

お取り扱いについて



●電源は、AC100V±10V (50 / 60Hz) の商用電源以外では絶対に使用しないでください。また、差込口が2つ以上ある壁等の電源コンセントで、本商品と他の電気製品を使用する場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。

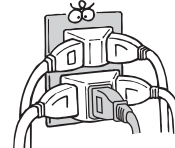


●電源プラグは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。



●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。また、本商品の誤動作の原因となることもあります。



●万一、煙が出ている、変なにおいがする等の異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となることがあります。すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

●万一、本商品を倒したり、落としたり、破損した場合は、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となることがあります。

●本商品や電話機から異常音がしたり、熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検・修理をご依頼ください。

●本商品や電話機、電源アダプタ、電源コード、電話機コード、LANケーブルに水をかけたり、ぬれた手で操作や電源プラグの抜き差しをしないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。



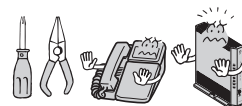
●本商品の通風孔等から内部に金属類や燃えやすい物等の、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●万一、本商品内部や電話機、電話機コード、LANケーブルに水等の液体が入った場合は、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために 必ずお読みください

警告

- 本商品や電話機を分解、改造、修理は、絶対におやめください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された本商品や電話機は修理に応じられない場合があります）。



- 付属の電源アダプタや電源コード以外を使用したり、付属の電源アダプタや電源コードを他の製品に使用したりしないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。また、電源アダプタに物を載せたり、掛けたりしないでください。過熱し、火災・感電・故障の原因となることがあります。

- 本商品の電源コード、LANケーブルや電話機コード等を傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりするとコードおよび配線が破損し、火災・感電・故障の原因となることがあります。コードおよび配線が傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

- 本商品の電源コード、LANケーブルや電話機コード等が傷んだ状態（芯線の露出、断線等）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

- 近くに雷が発生したときは、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜き、ご使用を控えてください。雷による、火災・感電・故障の原因となることがあります。雷が鳴りだしたら、電源アダプタおよび電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。雷による直接被雷があった場合、以下のことに注意してください。



- ・落雷により通信回線が使用不可になった場合は、本商品を継続使用せず、代品への交換を行ってください。
- ・落雷で故障した本商品は修理できません。落雷を受けた本商品は、製品としての品質保証対象外です。
- ・落雷や雷サージによる製品の損傷は広範囲に及ぶ恐れがあり、本商品の交換が必要になります。

- 本商品や電話機、電源アダプタ、電源コード、電話機コード、LANケーブル等を熱器具に近づけないでください。電源コードや電話機コード、LANケーブル等の被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

- コードレス電話機は、航空機内や病院内等の使用を禁止された区域では、電源を切るか持ち込まないでください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となることがあります。

- 電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

- お客様が用意された機器を本商品および電話機に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所にご確認ください。確認できない場合は絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

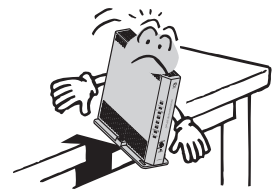
警告

- 電源アダプタ、電源コードは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろ等）に設置しないでください。過熱し、火災・破損の原因になることがあります。また、電源アダプタ本体を宙吊りに設置しないでください。
 - ・電源プラグと電源コンセント間に隙間が発生し、ほこりによる火災が発生する可能性があります。
 - ・電源プラグは容易に抜き差し可能な電源コンセントに差し込んでください。
- 電源コードと電源コンセントの接続には、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。
- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システム等）では使用しないでください。
- 本商品の内部や周囲でエアダスターやスプレー等、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。引火による爆発、火災の原因となることがあります。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。
- 火災・地震等が発生した場合、本商品の状態を確認し、異常が認められた場合は当社のサービス取扱所にご連絡ください。
- 本商品は、「最初にお読みください（別紙）」または「取扱説明書（本書）」にしたがって接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。
- 本商品を移動させる場合は、電源プラグを電源コンセントから抜き、すべての接続線を外してください。コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

設置について

注意

- 本商品や電話機は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。
 - ・ぐらついた台の上や傾いたところ等、不安定な場所。
 - ・振動、衝撃の多い場所。
- 本商品や電話機を床面設置する場合や壁掛け設置する場合は、専用の取り付け用品によりしっかりと固定設置してください。固定が不十分な場合、落下・転倒の原因となることがあります。
- 屋外に渡る配線は行わないでください。特に、建物から建物へ空中を通す配線は、雷等による故障の原因となることがあります。
- 塩水がかかる場所、亜硫酸ガス、アンモニア等の腐食性ガスが発生する場所で使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそば等）に置かないでください。本商品やケーブルの内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。



安全にお使いいただくために 必ずお読みください

お取り扱いについて

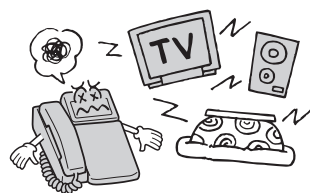
⚠ 注意

- 本商品や電話機の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下によりけがの原因となることがあります。
- 本商品や電話機に乗らないでください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、壊したりして、けがの原因となることがあります。
- 本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 本商品は高度な技術によって構成された精密機器です。より安心して使用していただくためには、当社の定期点検をお受けになることをお勧めします。詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
- 電話機の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色する恐れがあります。
- 受話音量を明瞭モードに切り替えて、音量を大きくしたまま使用すると、聴力障害の原因となることがあります。
- 温度・湿度条件は、本商品および周辺機器の動作条件内でご使用ください。また、薬品や化学物質、ヘアスプレー等を扱う場所では、使用しないでください。故障・火災の原因になります。
- 「ユーザ ID」「パスワード」は大切な情報です。取り扱いには十分ご注意ください。パスワードの安全性を高めるため、定期的に変更してください。
- 本商品および周辺機器の故障、誤動作、または停電等の外部要因で電話機が使えなかったことで生じた損害等の補償については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 運用中、本商品は発熱しますので、本商品には長時間触れないでください。低温やけどの原因となることがあります。
- 電源コード等のケーブル類に引っかからないようご注意ください。お子様のいるご家庭では十分にご注意ください。けが・故障の原因となることがあります。
- 本商品の電源プラグの抜き差しをする場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いた後、10秒以上あけてから差し込んでください。

設置について

STOP お願い

- 本商品や電話機を電気製品・AV・OA機器等の磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器等）。
 - ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - ・テレビ、ラジオ等に近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - ・放送局や無線局等が近く、雑音が大きいときは、電話機等の設置場所を移動してみてください。





設置について

STOP お願い

- 本商品や電話機は平らな面に置いてお使いください。落下により故障の原因となることがあります。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）等では、本商品や電話機等の寿命が短くなることがあります。
- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような場所への設置は避けてください。
 - ・ 気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所。
 - ・ 電化製品等、発熱する機器が近くにある場所。
- 本商品は、縦置きの場合は付属のスタンドを取り付けて設置してください。また、壁掛け設置をする場合には、スタンドと付属の壁掛け設置用ネジを使用してください。（P1-16）転倒、落下により、けが・故障の原因となることがあります。
- 本商品の隙間から虫が入ると、故障の原因となることがあります。厨房や台所等に設置するときは、虫がはいらないようご注意ください。

お取り扱いについて

STOP お願い

- 本商品や電話機等をぬれたぞうきん、ベンジン、シンナー等有機溶剤、アルコール等でふかないでください。本商品や電話機等の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示のご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。
- ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用して着信拒否を設定している場合は、緊急の件でも着信音は鳴りませんのでご注意ください。
- 受話器は逆方向に掛けないでください。正常に動作できないことがあります。
- 電話機コードを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品や電話機を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 動作中（特にデータ設定中）に、再起動ボタンを押したり、ケーブル類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となり、大切なデータを失うことがあります。動作中は、再起動ボタンをむやみに押したり、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。
- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。
- 本商品に殺虫剤等の揮発性の物をかけたりしないでください。また、ゴムやビニール、粘着テープ等を長時間接触させないでください。変形や変色の原因となることがあります。

■ソフトウェアライセンスについて

本商品にはオープンソースソフトウェア（以下「OSS」といいます）が含まれております。
これらOSSの使用条件の詳細、およびお問い合わせにつきましては、下記URLをご参照ください。

■ NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

SmartNetcommunity α ZXII Slim :
<https://business.ntt-east.co.jp/support/zx2slim/>

■ NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

SmartNetcommunity α ZXII Slim :
<https://business.ntt-west.co.jp/manual/>

■海外でのご利用について

本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。

This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

■VCCI規定について

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI - A

■商標登録について

Microsoft Windowsは米国Microsoft Corporationの米国および、その他の国における商標または登録商標です。

■過電圧防護について

本商品のLAN1～LAN3ポート、および電話機1、電話機2ポートは、過電圧防護※に対応しています。

※日本電信電話株式会社（現：NTT株式会社）が規定する、「通信装置の過電圧耐力に関するテクニカルリクワイアメント（TR189001号3.1版／平成30年9月3日発行）」。

当該テクニカルリクワイアメントの規定外の過電圧については未対応となります。

■ ライセンスについて

本商品の以下の追加オプション機能を利用するには、別途ライセンスが必要になります。ライセンスについて詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

ライセンスの種類	追加オプション機能
ひかり電話ライセンス	ひかり電話（5チャンネル以上）を使用するために必要なライセンス ※1ライセンスあたり4チャンネル利用可能、最大2ライセンス（12チャンネルまで）登録可能
迷惑電話ブロックライセンス（1）	迷惑電話リストを1年間使用するためのライセンス
迷惑電話ブロックライセンス（4）	迷惑電話リストを4年間使用するためのライセンス
迷惑電話ブロックライセンス（5）	迷惑電話リストを5年間使用するためのライセンス
迷惑電話ブロックライセンス（6）	迷惑電話リストを6年間使用するためのライセンス
迷惑電話ブロックライセンス（7）	迷惑電話リストを7年間使用するためのライセンス
音声合成ライセンス	音声ガイドンスに使用するガイドンスを作成するために必要なライセンス

■ 廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意

本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害等を回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を消去する必要があります。下表にしたがって消去または当社のサービス取扱所にご相談ください。

ただし、システムデータに保持されているお客様固有情報は下表の処置では消去されませんので、消去されたい場合には当社のサービス取扱所にご相談ください。

記録内容	処置（取扱説明書参照ページ）
発信履歴	P2-13を参照し、発信履歴をすべて消去してください。
着信履歴	P2-13を参照し、着信履歴をすべて消去してください。
個別電話帳登録	P3-6を参照し、個別電話帳登録をすべて消去してください。
共通電話帳登録	P3-20を参照し、共通電話帳登録をすべて消去してください。
ワンタッチボタン登録	P3-12を参照し、ワンタッチボタン登録をすべて消去してください。
転送先登録	P2-36を参照し、転送先登録をすべて消去してください。
Web通話履歴	当社のサービス取扱所にご相談ください。
ライセンス情報	当社のサービス取扱所にご相談ください。

■ サポートセンターのご案内

設定のサポートをご希望の場合は以下のURLへアクセスし対象の連絡先へご連絡ください。

- NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

<https://business.ntt-east.co.jp/support/zx2slim/>

- NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

<https://business.ntt-west.co.jp/support/>

■本商品のマニュアルについて

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。

●「最初にお読みください」

本商品の接続のしかた、ひかり電話を利用した標準IP電話機によるビジネスフォン機能が使えるようになるまでの手順をわかりやすく説明しています。

●「安全にお使いいただくために必ずお読みください」

ご使用いただく方や他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項や仕様等を示しています。

●「取扱説明書」(本書)

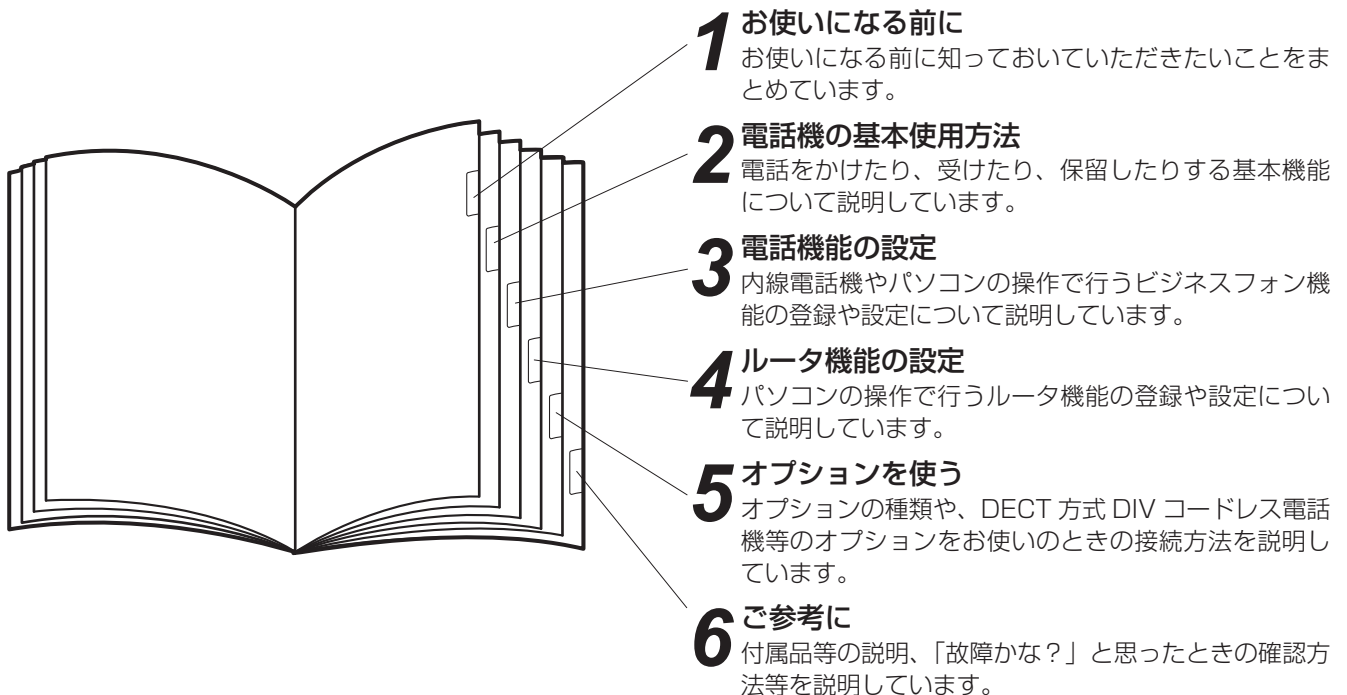
本商品の接続のしかた、ビジネスフォン機能の使用方法、インターネット接続の設定方法、お問い合わせ先等を記載しています。ご使用前に必ずお読みください。

本商品のマニュアルは、以下のサイトからダウンロードすることが可能です。

■ NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様
<https://business.ntt-east.co.jp/support/zx2slim/>

■ NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様
<https://business.ntt-west.co.jp/manual/>

この取扱説明書の構成



操作説明のページの構成

章タイトル

章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル

目的ごとにタイトルが付けられています。

操作手順説明

順番に操作を説明しています。見出しの枠を次のように区別しています。

● : お買い求めいただきたいすぐにご利用になれる機能

特番（～用の特番）

機能、決定 等のあとに押して、各種機能を利用できるようにする番号です。

この取扱説明書では、特番について次のように表しています。

<例>

バックアップデータ復元の特番 (00 2) を押す

<サンプル>

The screenshot shows a page from a user manual with the following sections and callouts:

- 2 電話機の基本使用方法** (Basic Usage of the Phone)
- 電話をかけるには (外線発信)** (How to Make a Call (Outgoing Call))
- 履歴を使って電話をかける (発信 発信履歴発信)** (Making a Call Using History (Outgoing Call History))
- システムモードに応じて自動的にシステム留守待機を利用する** (Automatically Using System Hold Mode Depending on System Mode)
- 電話機からの復元** (Restoration from the Phone)
- ワンポイント** (One Point)
- お知らせ** (Notice)
- Q&A** (Q&A)

ガイダンス

<例>

「ただいま留守にしております。」

...

音声で流れるガイダンス内容を示しています。

ワンポイント

知っておくと便利な事項、操作へのアドバイス等の補足説明を示しています。

次の2種類のマークで項目を区別しています。

● : お買い求めいただきたいすぐにご利用いただける機能の補足説明

○ : その他の補足説明

お願いまたはお知らせ <お願い>

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

<お知らせ>

この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。



「6 ご参考に」にQ&A形式で詳しく説明している事項を示しています。

目次

はじめに

安全にお使いいただくために必ずお読みください.....	2
各種規制について.....	10
この取扱説明書の見かた.....	12
目次.....	14

1 お使いになる前に

バックアップについて.....	1-2
バックアップデータを復元する.....	1-3
本商品でできること.....	1-4
特長.....	1-5
セット内容を確認する.....	1-6
構成図.....	1-7
各部の名前.....	1-8
設置するには.....	1-15
本商品を設置する.....	1-15
接続するには.....	1-17
本商品を接続する.....	1-17
電話機を利用するには.....	1-20
契約チャンネル数を設定する.....	1-21
FAXの電話番号を設定する.....	1-21
Web設定の構成と項目.....	1-22
本商品と接続する.....	1-23
初期パスワードを設定する.....	1-24
かんたん設定ウィザード項目一覧.....	1-25
かんたん設定ウィザード.....	1-26
音量を調節するには.....	1-28
着信音量を調節する.....	1-28
スピーカ音量を調節する.....	1-28
ハンドセット受話音量を調節する.....	1-29

2 電話機の基本使用方法

電話をかけるには（外線発信）.....	2-2
ハンドセットを取りあげて電話をかける.....	2-2
ハンドセットを置いたまま電話をかける （オンフックダイヤル）.....	2-4
電話番号を確認してから電話をかける （プリセットダイヤル）.....	2-5
電話帳を使って電話をかける（電話帳ダイヤル）.....	2-6
ワンタッチボタンで電話をかける.....	2-11
履歴を使って電話をかける （発信／着信履歴発信）.....	2-12

発信可能な外線を自動で選んで電話をかける （空き外線自動発信）.....	2-14
電話を受けるには（外線着信）.....	2-15
電話を受ける.....	2-15
内線でお話しするには（内線通話）.....	2-17
内線でお話しする（内線通話）.....	2-17
ハンズフリーで電話をかける・受けるには.....	2-19
ハンズフリーで電話をかける.....	2-19
ハンズフリーで電話を受ける.....	2-20
ハンドセットを置いたまま内線でお話しする.....	2-21
電話を保留するには.....	2-23
保留する（共通保留）.....	2-23
他の電話機で取れないように保留する （個別保留）.....	2-23
お話しを他の内線電話機に転送する.....	2-25
お話しを他の外線に転送する.....	2-27
電話帳を登録するには.....	2-28
電話帳を登録する.....	2-28
文字を入力する.....	2-32
着信を拒否するには.....	2-34
特定の電話番号からの着信を拒否する.....	2-34
通話中に相手の方の電話番号を登録する.....	2-34
お話しが終わってから着信履歴で登録する.....	2-34
電話を転送するには（外線へ転送）.....	2-36
転送電話の転送先リストを登録する.....	2-36
転送電話の対象とする回線を設定する.....	2-37
転送電話をセットする.....	2-37
その他の転送電話の活用.....	2-39
電話を転送するには（内線へ転送）.....	2-40
不在着信転送を登録する.....	2-40
不在着信転送を解除する.....	2-41
留守応答を利用するには.....	2-42
留守応答をセットする.....	2-42
留守応答を解除する.....	2-42
自動の留守応答.....	2-44
ご利用になれる各種ネットワークサービス.....	2-45
ひかり電話サービスの対応状況.....	2-45
ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を 利用する.....	2-47
ボイスワープを利用する.....	2-50

3 電話機能の設定

内線電話機を使って登録・設定をするには (メニュー設定).....	3-2
お客様設置	3-5
電話機毎設定	3-6
システム一括設定.....	3-19
電話機能の設定をするには (Web設定).....	3-30
便利な機能設定ウィザードー覧.....	3-30
よく利用する機能の設定	3-31

4 ルータ機能の設定

インターネット接続の設定をするには (Web設定)....	4-2
基本設定項目一覧.....	4-2
ルータの設定をするには (Web設定).....	4-4
ルータ設定項目一覧.....	4-4
よく利用する機能の設定	4-7

5 オプションを使う

ご利用になれるオプション装置	5-2
DECT方式DIVコードレス電話機(卓上含む)を 接続する	5-3

6 ご参考に

Q&A.....	6-2
登録・設定	6-2
電話帳.....	6-2
保留/内線通話/保留転送	6-3
通 話	6-3
表 示.....	6-4
その他.....	6-4
特番を使って操作するには	6-6
特番一覧	6-6
付属品等をご利用になるには	6-10
パソコンの設定	6-12
パソコンのネットワーク確認	6-12
Webブラウザの確認.....	6-12
JavaScriptの設定確認.....	6-13
メンテナンスをするには (Web設定).....	6-14
メンテナンス項目一覧.....	6-14
本商品の状態を確認するには (Web設定).....	6-20
情報一覧	6-20
本商品の電源を入れる/切るには.....	6-24
本商品の電源を入れる	6-24
本商品の電源を切る	6-24
こんな音がしたら.....	6-25
故障かな?と思ったら	6-26
用語の説明	6-28
索 引.....	6-33
仕 様.....	6-38
保守サービスのご案内.....	6-40

MEMO

お使いになる前に



バックアップについて	1-2
本商品でできること	1-4
特 長	1-5
セット内容を確認する	1-6
構成図	1-7
各部の名前	1-8
設置するには.....	1-15
接続するには.....	1-17
電話機を利用するには	1-20
音量を調節するには	1-28

■商品の自動更新およびデータバックアップ機能について

本商品は、プログラムの自動更新およびデータバックアップの機能を有しております。

本商品が NTT 東日本、NTT 西日本の「音声利用 IP 通信網サービス契約約款」で定める「音声利用 IP 通信網サービス」を利用している場合、お客様は、商品の提供機能の維持・追加および NTT 東日本、NTT 西日本のサービス提供に必要な設備の管理・改善のために、NTT 東日本、NTT 西日本から提供される更新プログラムが定期的に確認され自動的にダウンロードおよびインストールされること、本商品に保存されたデータが NTT 東日本、NTT 西日本のサーバーへバックアップされることに同意するものとします。

また、NTT 東日本、NTT 西日本のサーバーにバックアップされたデータのうち、本商品の設定内容に関する情報や商品に登録されている回線に関する情報については、NTT 東日本、NTT 西日本は、個人を特定しない統計情報として、電気通信サービス等の企画・開発等の業務の実施に必要な範囲内で利用します。

バックアップデータを復元する

ひかり電話をご使用の場合は、お客様固有の設定データ等を定期的に自動バックアップしています。必要に応じてバックアップデータを本商品に復元することができます。復元について詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

■ 電話機からの復元

本商品のデータを手動で復元するには、内線電話機で次のように操作します。

1 **機能** を押す。



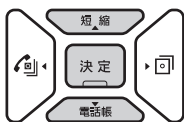
11月14日(木) 午後 3:05
10
機能

2 バックアップデータ復元の特番 (002) を押す。



復元
最新バックアップデータ
オフライン設定データ

3 上下ボタンで「最新バックアップデータ」を選択し、**決定** を押す。



復元開始
いいえ
はい

4 上下ボタンで「はい」を選択し、**決定** を押す。

11月14日(木) 午後 3:05
10
復元データウインド中
電源オフしないで下さい



11月14日(木) 午後 3:05
10
復元データウインド完了
電源オン/オフして下さい

5 本商品の電源を一度切ってから入れ直す。
(☞P6-24)

バックアップデータの復元が完了します。



ワンポイント

- バックアップデータの復元ができる電話機は「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機で操作可能です。本商品のお買い求め時は、全ての内線電話機で操作可能です。



お知らせ

- 復元すると、復元前のデータに戻すことはできません。

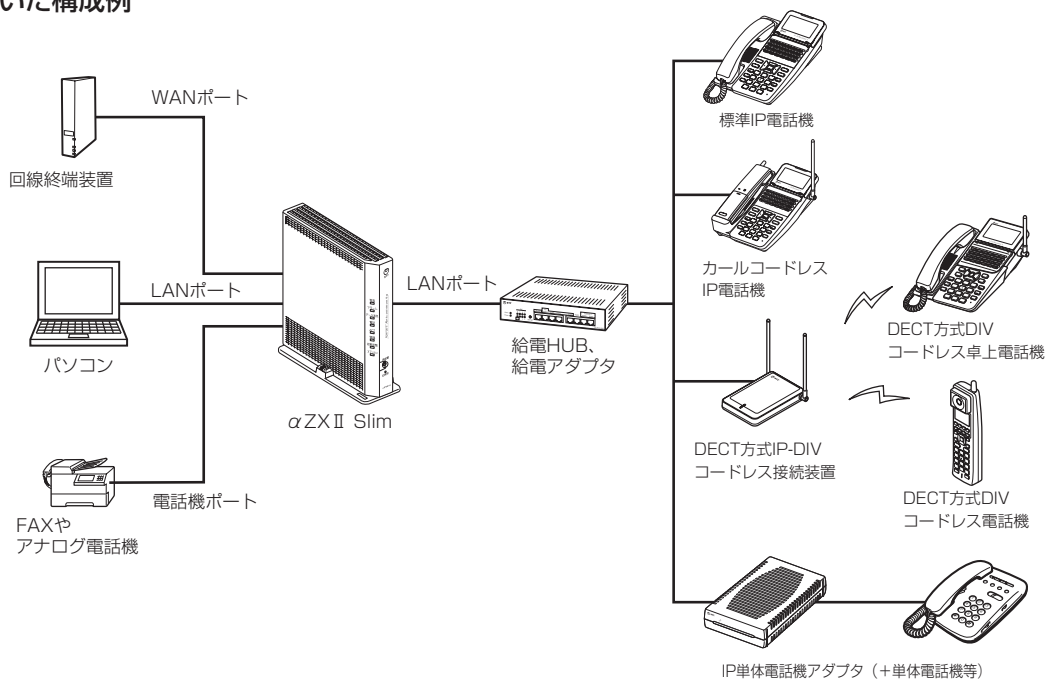
本商品でできること

本商品は、ひかり電話対応機器です。

ひかり電話をご利用の場合、本商品と本商品に対応した標準 IP 電話機、カールコードレス IP 電話機、DECT 方式 DIV コードレス電話機（卓上含む）および IP 単体電話機アダプタ（+単体電話機等）を用いて、ビジネスフォン機能が利用できます。標準 IP 電話機、カールコードレス IP 電話機、DECT 方式 DIV コードレス電話機（卓上含む）および IP 単体電話機アダプタ（+単体電話機等）は合わせて最大 40 台* 収容可能です。ビジネスフォン機能で収容した電話機の外線通話は同時に 12 チャンネル可能です。

*最大収容数は、ご利用になる電話機種別により異なります。

本商品を用いた構成例



ワンポイント

- **ブロードバンドルータ機能を使用するには**
本商品のブロードバンドルータ機能により、LANポート側に接続したパソコンをインターネットに接続することができます。

STOP お願い

- 本商品の LAN ポートに、DHCP サーバ機能を持った機器を接続しないでください。通信が正常にできない場合があります。



お知らせ

- インターネットに接続する場合は、別途プロバイダとの契約が必要です。
- ご利用のアクセス回線によりインターネットをご利用にならない場合があります。
- 本商品はギガビット Ethernet に対応しています。しかし、実際の使用環境によっては通信速度が低下する場合があります。

最大 12 チャンネルで 40 台までの電話機を接続可能

SmartNetcommunity αZX II Slimは、標準IP電話機等を用いてビジネスフォン機能が利用できます。ビジネスフォン機能では、最大40台の電話機を接続でき、外線通話の最大同時通話数は、12チャンネル（オプション）（☑P11）です。

ひかり電話に対応

本商品に接続した標準IP電話機等は、音声パケットを優先して扱うので、固定電話相当の音声品質で、ひかり電話を利用できます。また、緊急通報（110番、118番、119番）、災害用伝言ダイヤル171番が利用できます。

ブロードバンドルータ機能内蔵

本商品は、ブロードバンドルータ機能を内蔵していますので、本商品のLANポート下部に接続したパソコンからインターネットに接続できます。※インターネットに接続する場合は、別途プロバイダとの契約が必要です。

簡単に行えるメニュー設定

電話機のディスプレイに表示されるメニューを操作して、さまざまな登録や設定が行えます。



パソコンを使って行える Web 設定

LAN で本商品にネットワーク接続したパソコンを使って、個々の電話機やシステム共通の登録・設定が行えます。

データバックアップ・復元

必要なデータをバックアップしてのご利用になります。本商品の故障時や交換時にスムーズにお客様のデータを復元することができます。

便利に使える電話帳

内線電話機ごとに登録する個別電話帳と、複数の電話機で共有できる共通電話帳があります。電話帳を登録しておく、発信時に電話番号を入力する手間を省けるだけでなく、電話帳グループごとに着信先を変えたり異なる着信音を鳴らす等、いろいろな機能と組み合わせて便利にご利用いただけます。個別電話帳は最大 200 件、共通電話帳は最大 9800 件（工事者設定により）まで登録が可能です。

ナンバー・ディスプレイを利用した多彩な機能

ナンバー・ディスプレイをご利用になると、着信履歴の記録や、相手の方によって着信先や着信音を変えたり、共通電話帳の設定による着信拒否等、発信電話番号を利用したさまざまな機能を活用できます。サービスのご利用には、別途当社との利用契約が必要です。

迷惑電話・特定の国からの着信拒否設定

迷惑電話や特定の国からの着信を拒否することができます。ご利用には、ナンバー・ディスプレイの利用契約、さらに迷惑電話の着信拒否をご利用の場合には、迷惑電話ブロックライセンス（オプション）（☑P11）、が必要です。



留守応答機能

外出時や席を外しているときに、かかってきた電話に対して応答ガイダンスを自動的に流すことができます。

音声ガイダンス作成

留守応答等の応答ガイダンスをテキスト入力で作成することができます。ご利用には、音声合成ライセンス（オプション）（☑P11）が必要です。



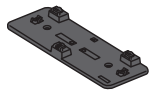
セット内容を確認する

■本体

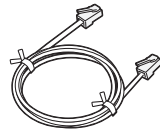


α ZX II Slim (1台)

■付属品



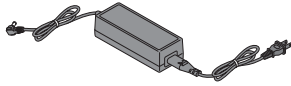
スタンド (1台)



LAN ケーブル
(1本/約2m)



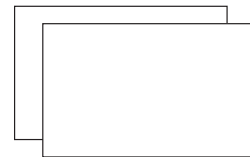
壁掛け設置用ネジ (2本)



電源アダプタ (1式)



保証書 (1枚)

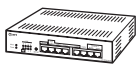


取扱説明書

- ・最初にお読みください (1枚)
- ・安全にお使いいただくために必ずお読みください (1枚)

- セットに足りないものがあつた場合等は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
- イラストの形状と異なる場合があります。

■お客様にご用意いただくもの (※)



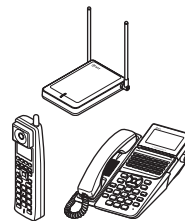
給電 HUB
(給電アダプタ)



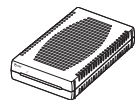
標準 IP 電話機



コールコードレス
IP 電話機



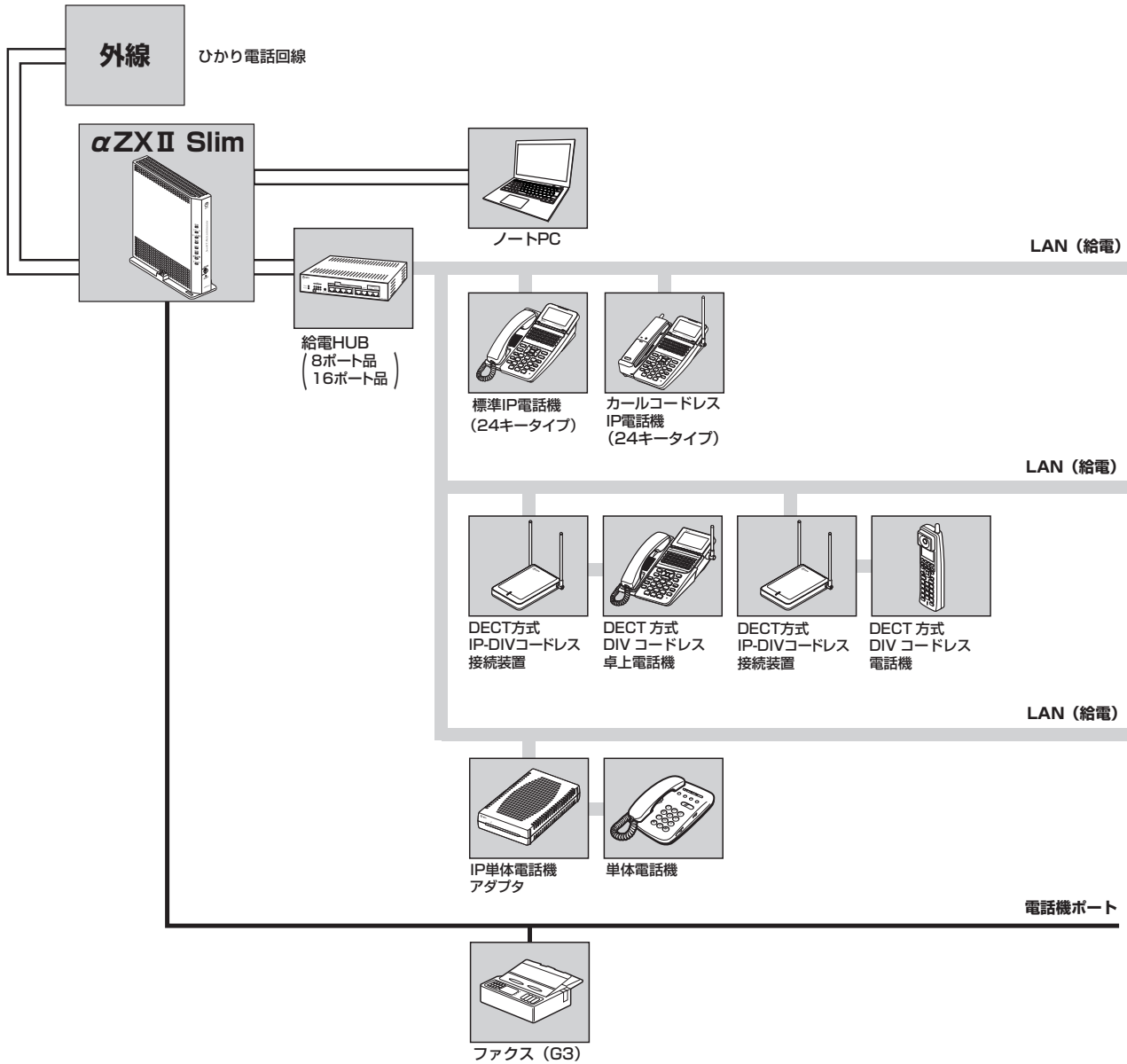
DECT 方式 DIV
コードレス電話機 (卓上等)



IP 単体電話機
アダプタ

- ※ 本商品で利用可能な機器については、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
その他、パソコン、LAN ケーブル (カテゴリ 5e 以上)、FAX 等必要に応じてご用意ください。

構成図

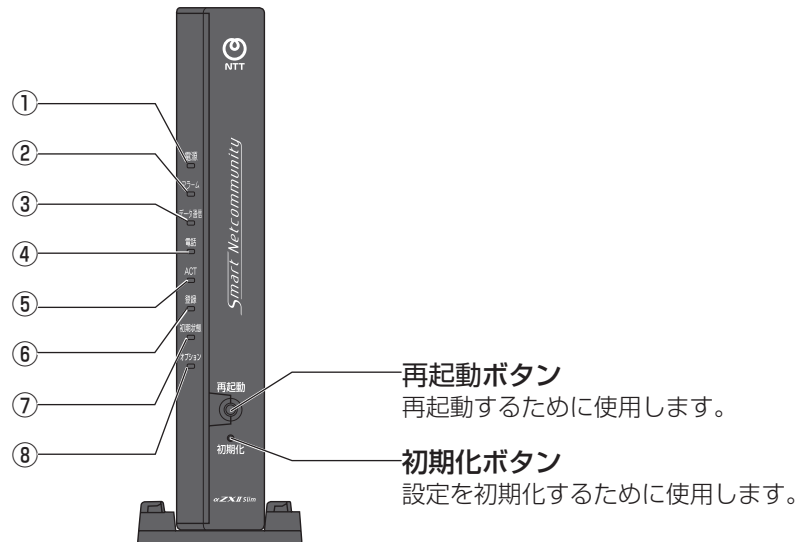


お知らせ

- お客様でご用意していただくオプション機器等で種類によっては接続できないものもございます。あらかじめ当社サービス取扱所へご相談ください。
- 給電 HUB は 1 ポートの給電アダプタもございます。その他接続できるオプション機器につきましては、当社サービス取扱所へご相談ください。

αZX II Slim

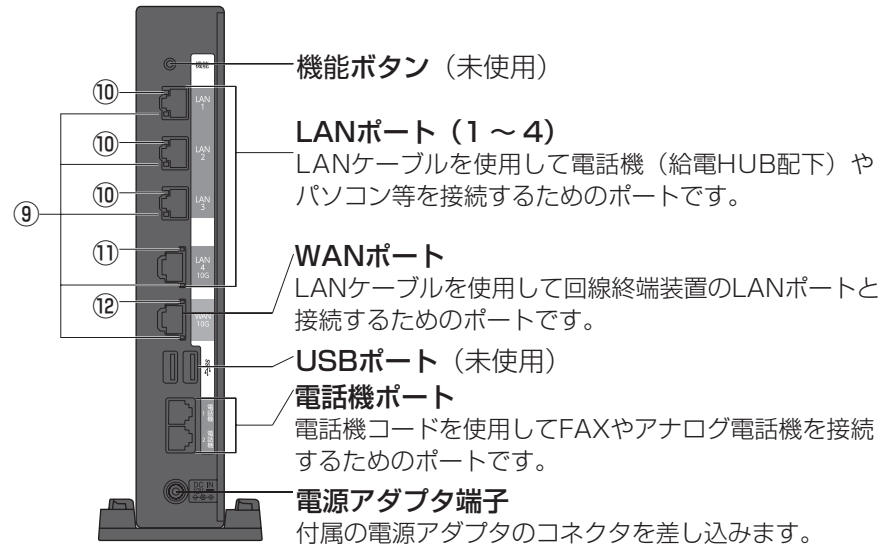
【前面】



■ ランプの表記について

ランプの名称	表示 (色)		状態
①電源ランプ	—	消灯	電源OFF
	緑	点灯	電源ON
②アラームランプ	—	消灯	正常状態
	赤	点灯	ファームウェア更新中 (「ファイル指定」、「手動アップデート」のみ) *1 / 障害発生 *2
③データ通信ランプ	—	消灯	オフライン状態
	青	点灯	DS-LiteまたはMAP-Eのインターネット利用可能
	緑	点灯	PPPインターネット利用可能：1セッション接続中
	橙	点灯	PPPインターネット利用可能：2セッション以上接続中
④電話ランプ	—	消灯	ひかり電話利用不可 *2
	緑	点灯	ひかり電話利用可能
		点滅	ひかり電話通話中／着信中／呼出中
⑤ACTランプ	—	消灯	回線終端装置に未接続 *2
	緑	点灯	回線終端装置に接続中
		点滅	回線終端装置とデータ通信中
⑥登録ランプ	—	消灯	ネットワークから設定情報未取得 *2
	緑	点灯	ひかり電話の設定完了
		点滅	ネットワークから設定情報取得中 *2
	橙	点灯	ひかり電話の設定完了
赤	点滅	ネットワークからの設定情報取得失敗 (その他エラー) *2	
⑦初期状態ランプ	—	消灯	通常状態
	橙	点灯	ファームウェア更新中 (「ファイル指定」、「手動アップデート」のみ) *1 / 工場出荷状態 (初期化状態) *3
		点滅	IPv4アドレス重複 *2
赤	点灯	障害発生 *2	
⑧オプションランプ	—	消灯	通常状態
	緑	点灯	ひかり電話機能/ルータ機能利用不可状態 *2

【背面】



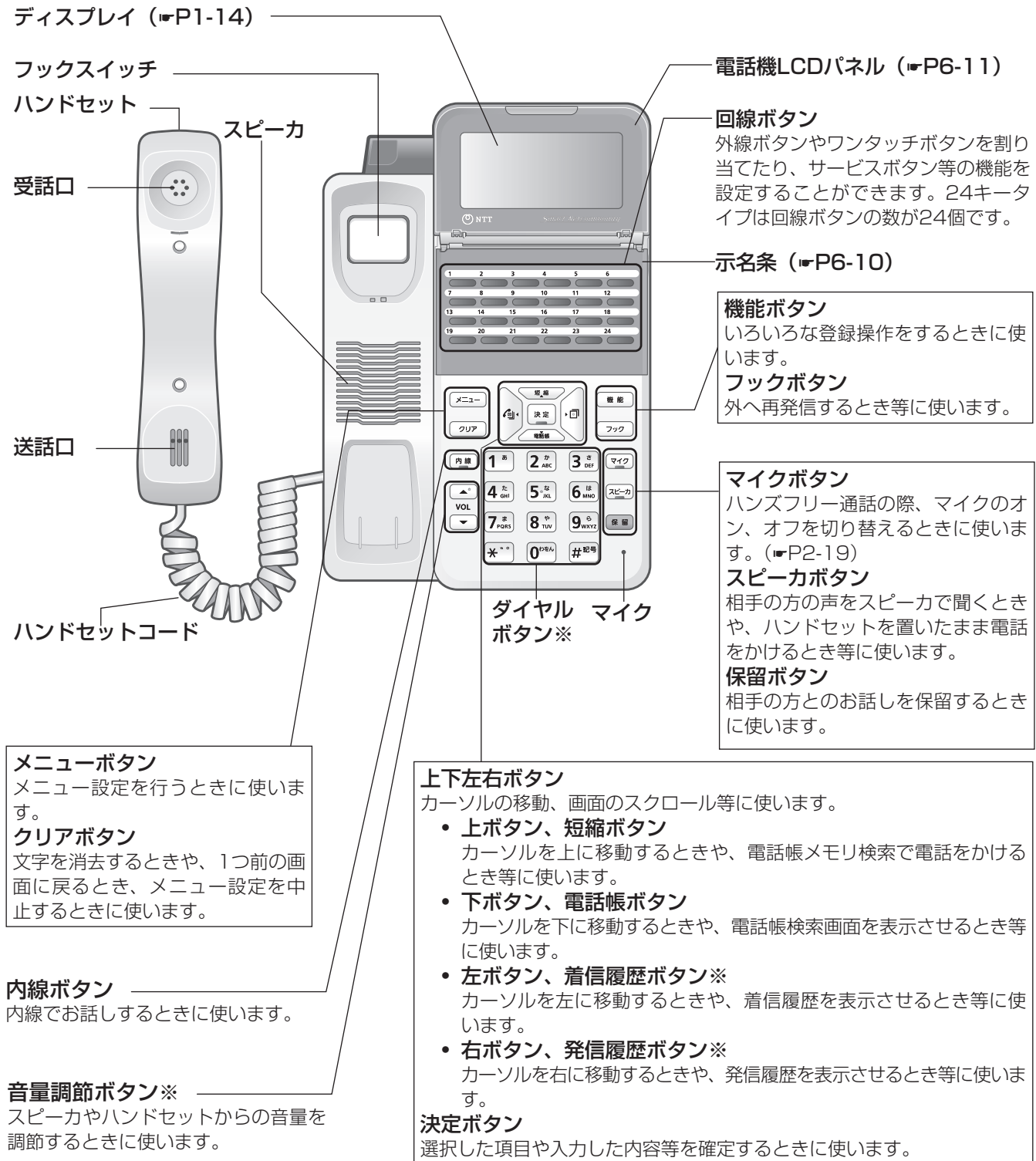
■ ランプの表記について



ポートの種類	表示		状態
⑨LINKランプ (5個)	—	消灯	リンク未確立
	緑	点灯	リンク確立中
		点滅	データ通信中
⑩LAN1 ~ 3ポート 状態表示ランプ (3個)	—	消灯	リンク未確立の場合、LAN利用不可 100Mbpsでデータ送受信可能
	橙	点灯	1Gbpsでデータ送受信可能
⑪LAN4ポート 状態表示ランプ (1個)	—	消灯	リンク未確立の場合、LAN利用不可 1G/100Mbpsでデータ送受信可能
	橙	点灯	10G/5G/2.5Gbpsでデータ送受信可能
⑫WANポート 状態表示ランプ (1個)	—	消灯	リンク未確立の場合、LAN利用不可 1G/100Mbpsでデータ送受信可能
	橙	点灯	10G/5G/2.5Gbpsでデータ送受信可能

- * 1 ファームウェアの更新中 (「ファイル指定」, 「手動アップデート」のみ) はアラームランプが赤点灯し、初期状態ランプが橙点灯します。
- * 2 故障かな?と思ったら (P6-26) をご確認ください。
- * 3 本商品が工場出荷状態 (初期状態ランプ橙点灯) でも、電源を入れた後、電話ランプが緑点灯すればひかり電話が利用できます。「Web設定」でサインインすると初期状態ランプは消灯します。
- ※ 本商品に電源を入れた際、全ランプが一度点灯します。
- ※ 節電機能動作時は、電源ランプ、ACTランプ以外のランプが消灯します。
- ※ 本商品の温度が高く、LAN4ポートのリンク速度が1Gbps制限中は、アラームランプ、初期状態ランプが赤点灯します。

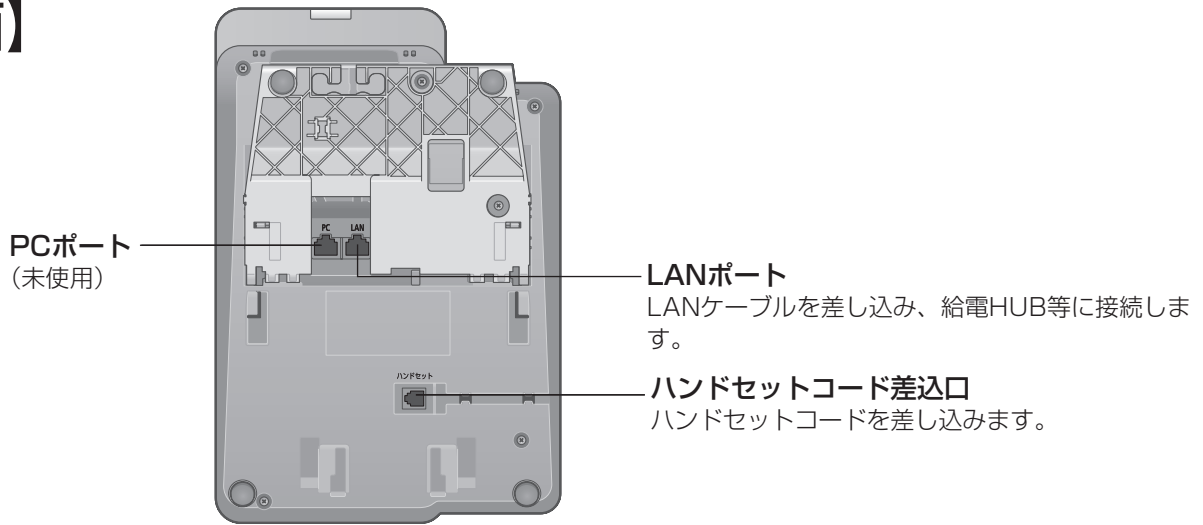
標準IP電話機（24キータイプ）

【前面】

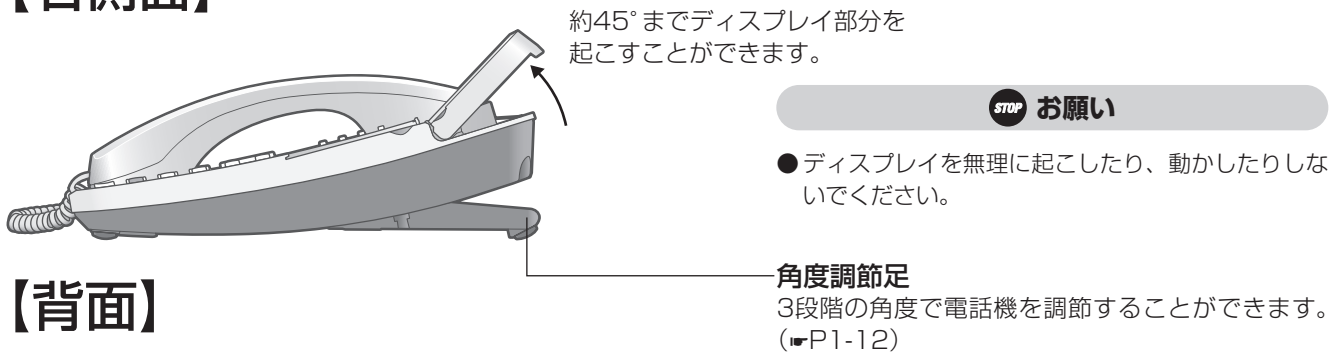


※：ダイヤルボタン 、音量調節ボタンの  の部分、左ボタン、右ボタンに突起が付いていますが、この突起は目のご不自由な方の操作を容易にするためのものです。

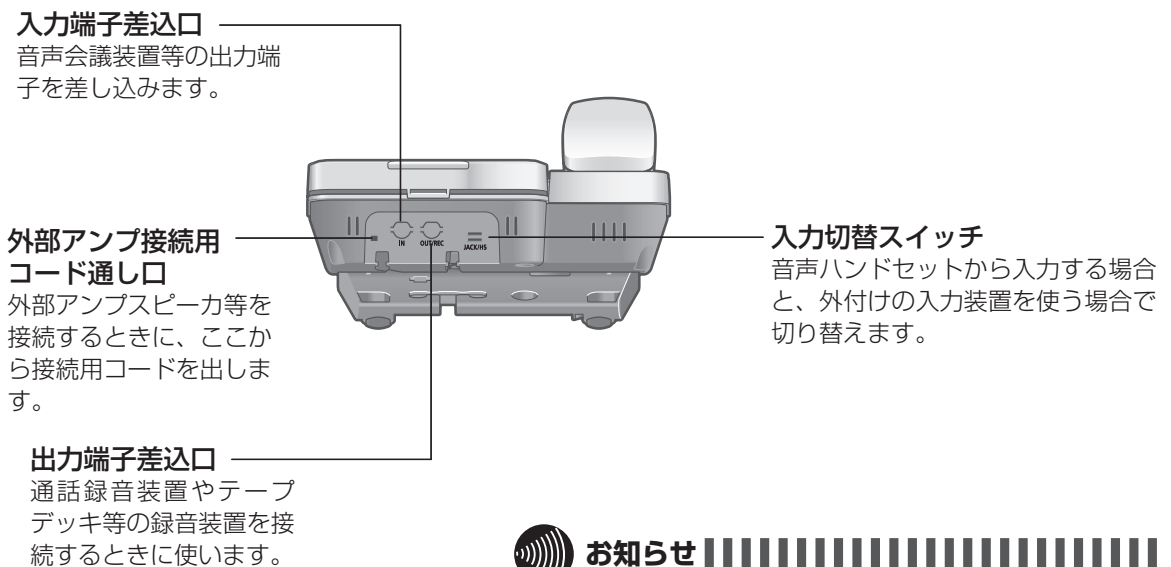
【底面】



【右側面】



【背面】

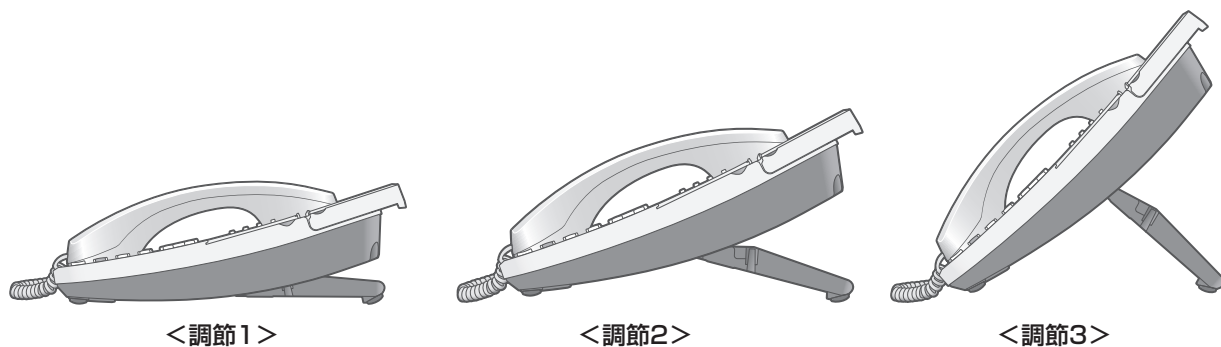


お知らせ

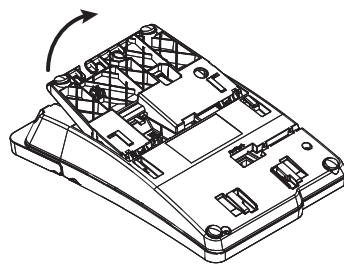
- 標準 IP 電話機の背面に接続できるオプション機器等については、当社サービス取扱所へご相談ください。

【角度調節足の設置方法】

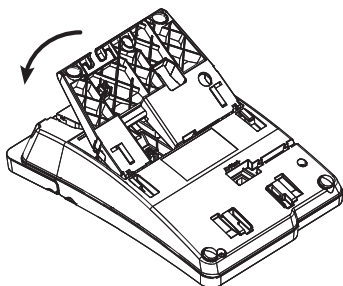
電話機の底面にある角度調節足で、3段階の角度で電話機を調節することができます。



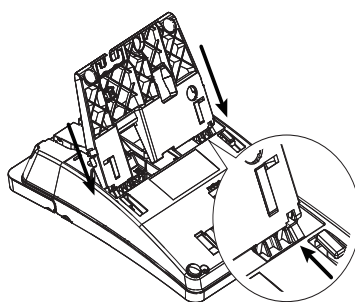
底面の角度調節足を持ち上げる。



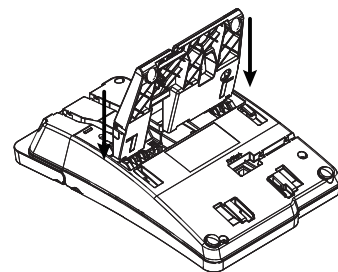
<調節1>
角度調節足を矢印の方に倒す。



<調節2>
角度調節足を矢印の方に差し込み、固定させる。



<調節3>
角度調節足を矢印の方に差し込み、固定させる。

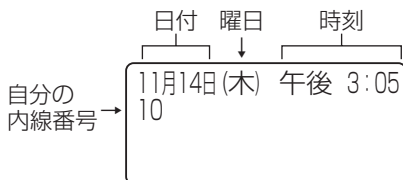


STOP お願い

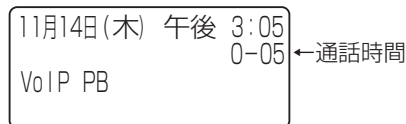
- 角度調節足が、固定されるまで電話機側に、しっかり差し込んでください。

【ディスプレイの見かた】

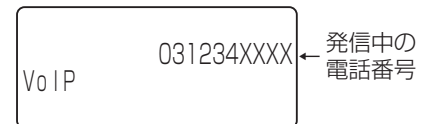
<時計・カレンダー表示例>



<通話時間表示例>



<ダイヤル発信中表示例>



■ ディスプレイの表示例

待機中	11月14日(木) 午後 3:05 10	待機中のときに表示されます。
外線発信	11月14日(木) 午後 3:05 外線 VoIP	ひかり電話で外に電話をかけるときに表示されます。
外線通話	11月14日(木) 午後 3:05 VoIP PB 0-05	ひかり電話で外の相手の方とお話し中のときに表示されます。



ワンポイント

- ディスプレイのバックライトを点灯させるには
ディスプレイの照明を点灯させて、より見やすくすることができます。ボタン操作したときに点灯させておくほか、常時点灯するように設定することもできます。
(P3-17)



<バックライト消灯>



<バックライト点灯>



お知らせ

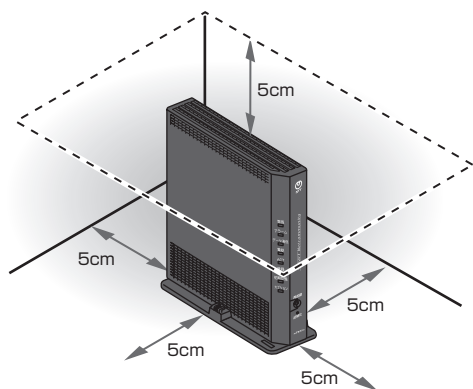
- 通話時間は、保留や転送を行っても、応答した内線電話機に保留した時間も含めて、表示されます。
- ☒を押した場合、ディスプレイには「*」と表示されます。

本商品を設置する

本商品は専用スタンドを取り付けて縦置きで設置する他に、壁に取り付けることができます。

■ 本商品を設置する

本商品は、前後左右5cm、上5cm以内に、パソコンや壁等のものがない場所に設置してください。
(壁掛けの場合は壁掛け面を除きます。)



警告

換気が悪くなると本商品の内部温度が上がり、正常に動作しない場合があります。また、故障の原因となります。

■ スタンドを付けて縦置きにする

イラストのように、本商品本体に付属品のスタンドを付けて縦置きでご使用ください。



警告

本商品は横置きでのご使用はできません。内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。

お願い

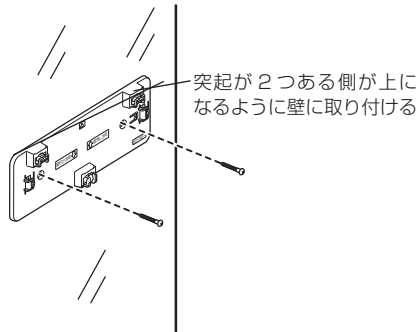
- 冷蔵庫やTV等、ノイズ源となる可能性のある機器の近くには設置しないでください。
- 本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

設置するには

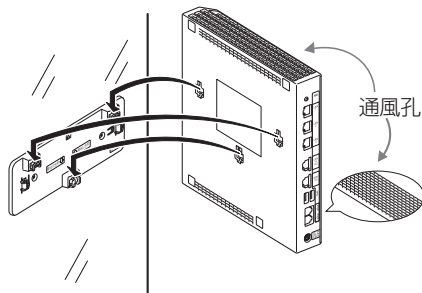
■ 壁掛けにする

本商品を壁に取り付けて使用することができます。付属品の壁掛け用ネジ（長さ16mm）2個を使って壁や柱等に取り付けてください。

- 1 専用スタンドを底面が壁側になるように、付属品の壁掛け用ネジで取り付ける。



- 2 本商品を壁に取り付けた専用スタンドに引っ掛ける。



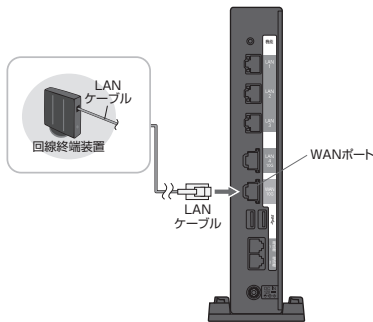
⚠ 注意

- 必ず専用スタンドを使用してください。
- ドアの近くやベニヤ板等の薄い板壁、ボード板（石膏板）等の壁に本商品を取り付けないでください。振動や自らの重みで落下して、けが・破損の原因になることがあります。

本商品を接続する

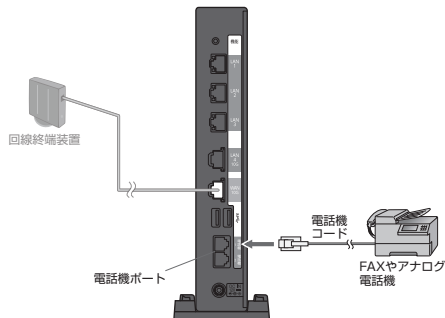
1 本商品を回線終端装置に接続する。

回線終端装置と、本商品のWANポートを付属品のLANケーブルで接続します。「カチッ」と音がするまで差し込みます。



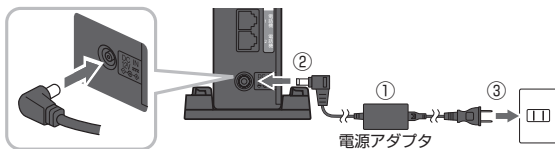
2 本商品をFAXやアナログ電話機と接続する。

FAXやアナログ電話機と、本商品の電話機ポートを電話機コードで接続します。「カチッ」と音がするまで差し込みます。



3 付属の電源アダプタを、本商品と電源コンセントに接続する。

- ①電源アダプタと電源コードを接続します。
- ②本商品に電源アダプタを差し込みます。
- ③電源プラグを電源コンセントに差し込みます。



警告

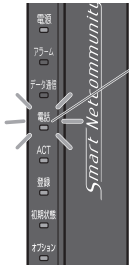
付属の電源アダプタ、および電源コード以外を使用しないでください。また、付属の電源アダプタ、電源コードを他の製品に使用しないでください。

STOP お願い

- 最新のファームウェアが公開されている場合は、本商品の電源を入れると自動的にバージョンアップを行います。バージョンアップ中は、本商品の電源を切らないでください。

接続するには

- 4 本商品正面の電話ランプが緑点灯していることを確認する。



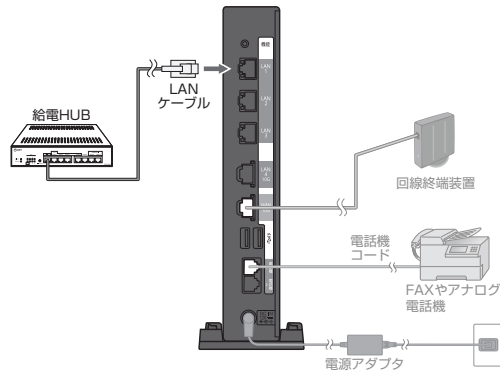
電話ランプ：緑点灯

※電話ランプが緑点灯していないときは、手順1～3をご覧くださいのうえ、接続を確認し、本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いた後、10秒以上あけてから差し込んでください。

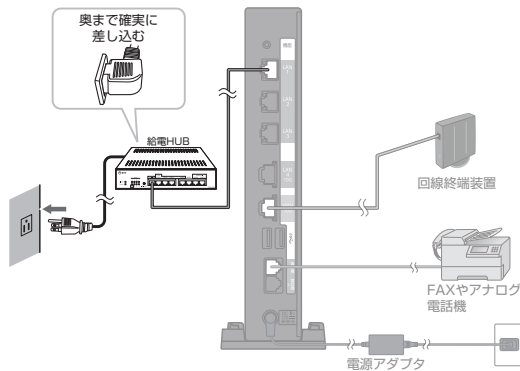
注意!

電源を入れた後、電話ランプが緑点灯するまで5分程度かかる場合があります。

- 5 本商品と当社が指定した給電HUB（8ポート品/16ポート品）または給電アダプタを接続する。
LANケーブルで本商品のLANポートと給電HUBのUP-LINKまたは、給電アダプタのHUBコネクタを接続します。「カチッ」と音がするまで差し込みます。詳細は、給電HUB、給電アダプタの取扱説明書をご確認ください。

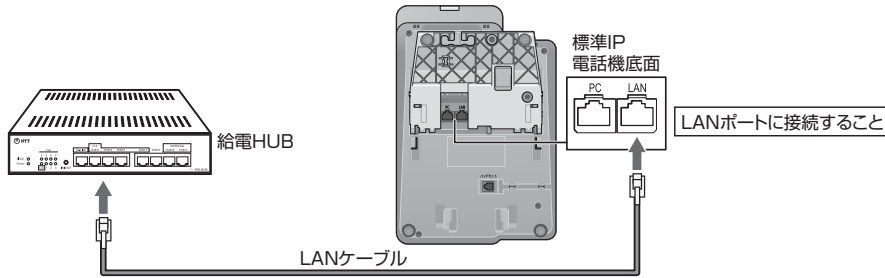


- 6 給電HUB（8ポート品/16ポート品）または給電アダプタの電源プラグを電源コンセントに差し込む。
給電HUBの背面にあるACケーブル接続ポートにACケーブルを接続し、電源プラグを電源コンセントに差し込みます。



7 給電HUB（8ポート品/16ポート品）または給電アダプタと標準IP電話機を接続する。

給電HUBのPORT1～7（8ポート品）/PORT1～15（16ポート品）、または給電アダプタのTELコネクタと標準IP電話機底面のLANポートにLANケーブルを接続します。「カチッ」と音がするまで差し込みます。ビジネスフォン機能の内線番号は本商品に登録（接続）した端末順に自動的に付与されますので、1台ずつ本商品に登録（接続）を行ってください。



※IP電話機の内線番号払い出し順については、下の表をご確認ください。

8 標準IP電話機のディスプレイを確認する。

標準IP電話機のディスプレイに日時と内線番号が表示されることを確認してください。



他にも電話機を利用する場合は手順7、8を繰り返してください。



お知らせ

- 電話機の種類によって自動付与される内線番号の払い出し順序が異なります。

電話機の種類	内線番号払い出し順序	
標準IP電話機	10、11、12…（昇順）	
コールコードレスIP電話機	10、11、12…（昇順）	
DECT方式DIV	コードレス電話機	49、48、47…（降順）
	コードレス卓上電話機	49、48、47…（降順）
IP単体電話機アダプタ	49、48、47…（降順）	

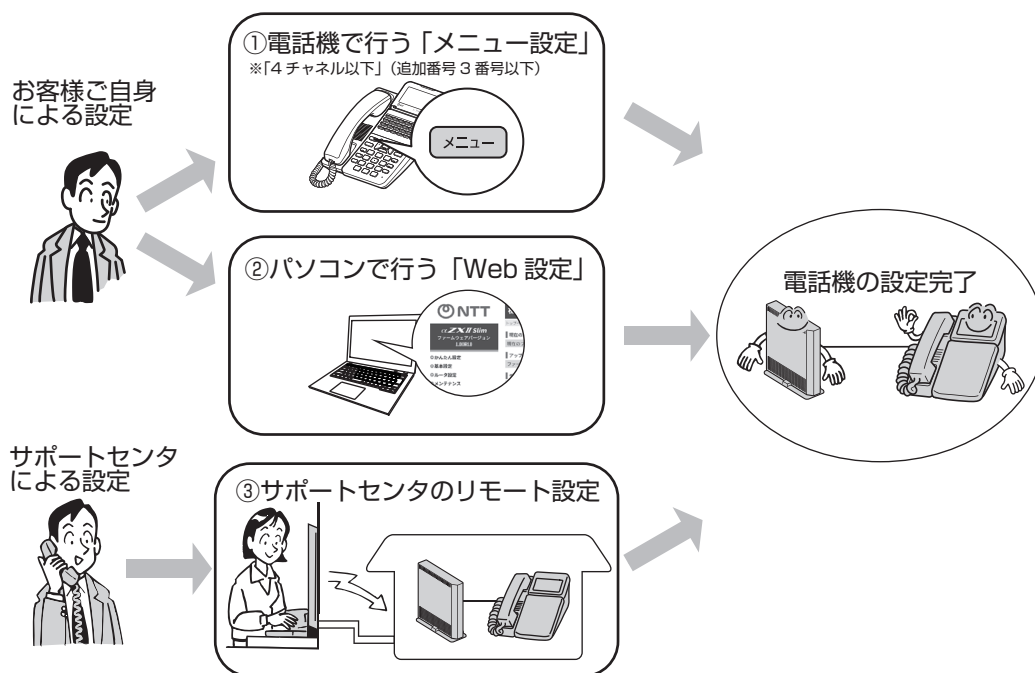
- <例>標準IP電話機（1台目）、DECT方式DIVコードレス電話機（2台目、3台目）、コールコードレスIP電話機（4台目）の順で登録した場合、内線番号は、それぞれ10、49、48、11と自動付与されます。

電話機を利用するには

■電話機を利用するための設定について

本商品の電話機を利用するには、電話機の接続後、チャンネル数(①)や回線ボタン(②)等の各種設定を行う必要があります。

サポートセンタによる設定(③)の他、お客様ご自身による設定の場合、ご契約のチャンネル数(同時通話数)・追加番号数によって設定方法が異なりますので、ご契約内容をご確認の上、以下のいずれかから選択して、設定を完了させてください。



①電話機で行う「メニュー設定」(お客様ご自身による設定)

※ご契約が「4チャンネル以下」(追加番号3番号以下)のお客様限定

▣ 次ページの「契約チャンネル数を設定する」をご参照ください。

(FAXを利用する場合は、「FAXの電話番号を設定する」もご参照ください。)

②パソコンで行う「Web設定」(お客様ご自身による設定)

▣ 1-26ページの「かんたん設定ウィザード」をご参照ください。

(本商品の「Web設定」をはじめて行う場合は、▣ 1-23ページの「本商品と接続する」をご参照ください。)

③サポートセンタのリモート設定(サポートセンタによる設定)

▣ 11ページの「サポートセンタのご案内」へご連絡ください。サポートセンタからリモートで設定を行います。

電話機の「メニュー設定」から契約のチャンネル数、FAX電話番号を設定することができます。


契約チャンネル数を設定する

1 **メニュー** を押す。



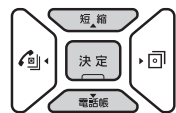
0:お客様設置
1:電話機毎設定
2:システム一括設定

2 **決定** を押す。
または **0** を押します。



1:契約チャネル数設定
2:FAX電話番号設定
3:お客様設定削除

3 上下ボタンで「1: 契約チャンネル数設定」を選択し、**決定** を押す。
または **1** を押します。



契約チャネル数設定
チャネル数(1-4)?

4 契約チャンネル数をダイヤルボタンで押す。


1	2	3
4	5	6
7	8	9
*	0	#

契約チャネル数設定
チャネル数(1-4)?

番号を押し間違えたときは、**クリア** を押します。

5 **決定** を押す。
「ピッピッ」という確認音が聞こえ、契約チャンネル数が登録されます。

6 **クリア** を長く押す。



11月14日(木) 午後 3:05
10




ワンポイント

○ 契約チャンネル数について
ご契約チャンネル数についてはお客様のご契約内容をご確認のうえ、登録してください。


FAXの電話番号を設定する

1 **メニュー** を押す。



0:お客様設置
1:電話機毎設定
2:システム一括設定

2 **決定** を押す。
または **0** を押します。



1:契約チャネル数設定
2:FAX電話番号設定
3:お客様設定削除

3 上下ボタンで「2: FAX電話番号設定」を選択し、**決定** を押す。
または **2** を押します。



FAX電話番号設定
1: FAX1
2: FAX2

4 上下ボタンで登録するFAXを選択し、**決定** を押す。
または **1** ~ **2** を押します。

電話番号入力: 1

5 FAXの電話番号をダイヤルボタンで押す。


1	2	3
4	5	6
7	8	9
*	0	#

電話番号入力: 1
031234XXXX

番号を押し間違えたときは、**クリア** を押します。

5 **決定** を押す。
「ピッピッ」という確認音が聞こえ、FAXの電話番号が設定されます。

6 **クリア** を長く押す。



11月14日(木) 午後 3:05
10

電話機を利用するには

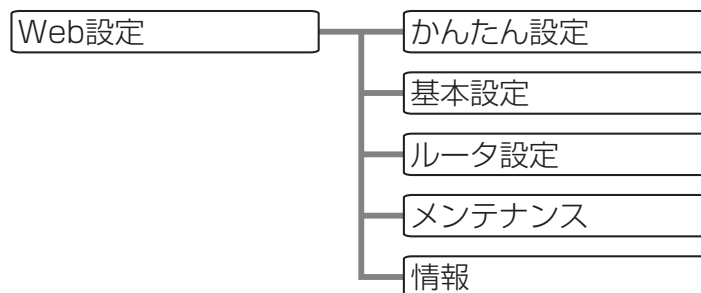
本商品にLAN接続したパソコンでWebブラウザを起動し、パソコンの画面を見ながらさまざまな項目を登録・設定する「Web設定」が行えます。
 「Web設定」の一部である「かんたん設定」によって最初に必要な設定を行うことができます。
 「Web設定」を行うパソコンは、次の条件を満たす必要があります。
 条件を満たしていない場合には、正しく動作しないことがありますのでご注意ください。

項目	条件
OS	Windows® 11
表示	Full HD (1920×1080ドット) 以上
ブラウザ	Microsoft Edge

Web設定の構成と項目

Web設定の構成とその大項目は以下の通りです。

■Web設定の構成



■Web設定項目（大項目）

大項目	設定内容	記載ページ
かんたん設定	プロバイダ設定やライセンス登録等、ご利用前に必要な初期設定（かんたん設定ウィザード）や、電話帳、留守応答、着信拒否等の電話機能（ビジネスフォン機能）に関する設定	■P1-26、P3-30
基本設定	接続先（IPv4やIPv6のPPPoE）に関する設定	■P4-2
ルータ設定	LANインタフェースやIPv4ルーティング、DNS等ルータ機能に関する設定	■P4-4
メンテナンス	ユーザのパスワード変更や設定の初期化、ファームウェア更新等メンテナンスに関する設定	■P6-14
情報	機器情報や状態、通話ログ等本商品の使用に関する情報の参照	■P6-20

本商品と接続する

パソコンでWebブラウザを起動し、ユーザー名とパスワードを入力してサインインします。

① 本商品とパソコン等使用する機器が接続されていることを確認する。

② パソコンでMicrosoft Edgeを起動する。

③ [アドレス] ボックスにURL等を入力し、[Enter] キーを押す。

お買い求め時のWeb設定用URLは「http://ntt.setup/」または、「http://192.168.1.1/」です。ログイン画面が表示されます。

④ ユーザー名とパスワードを入力する。
ユーザー名と設定したパスワードを入力します。

⑤ [サインイン] ボタンをクリックする。
サインイン後、TOP画面が表示されます。
初回サインイン時は、パスワードを初期値から変更する必要があります。(P1-24)

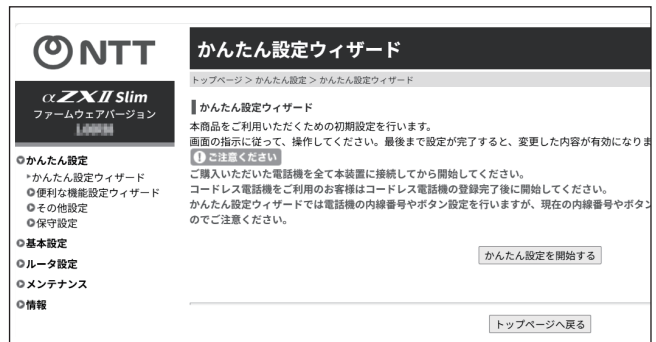
<TOP画面>



メニューツリー 設定画面

⑥ メニューツリー左側の「」をクリックする。
「」をクリックするとメニューツリーが展開し、設定区分の項目が表示されます。

⑦ 目的の設定メニューツリーを表示し、項目をクリックする。
クリックした項目の設定画面が表示されます。



⑧ 設定を行う。
設定操作については、各データ項目のページを参照してください。

お知らせ

- お買い求め時の本商品のIPアドレス、サブネットマスクは、下記のように設定されています。
IPアドレス : 192.168.1.1
サブネットマスク : 255.255.255.0
Web設定によりお客さまのネットワーク環境に合わせて変更することができます。
- ネットワークの状態等により、ページの読み込みがうまくいかない場合があります。その場合は、もう一度同じ操作をするか、再度ログインし直して作業を続けてください。
- IPアドレスはWeb設定によって変更できます。変更した場合は、以下に記入してください。

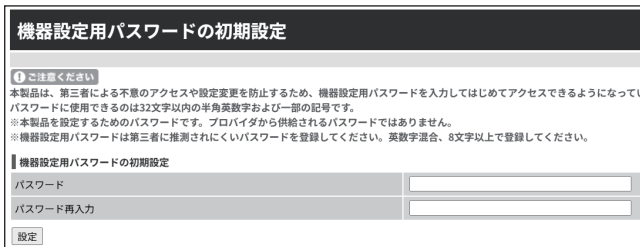
IPアドレス

初期パスワードを設定する

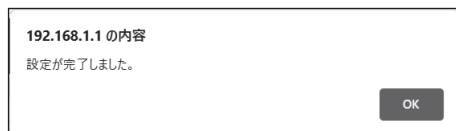
初めてWeb設定にサインインする場合は、必ずパスワードの設定を行います。設定したパスワードでサインインしてからWeb設定を行ってください。



- ① ユーザー名とパスワードを入力する。
初めてサインインする場合は、ユーザー名「user」、パスワードはなし（空欄）でサインインしてください。
- ② [サインイン] ボタンをクリックする。
サインイン後、パスワードの初期設定画面が表示されます。



- ③ [パスワード]、[パスワード再入力] を入力し、[設定] ボタンをクリックする。
以下の画面が表示されると、設定完了です。続けてWeb設定を行う場合は、[OK] ボタンをクリックし、再度サインインしてください。

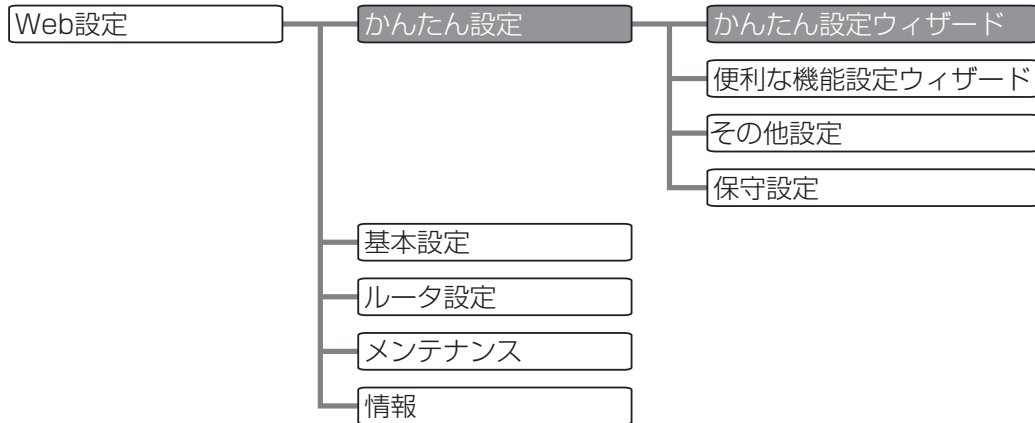



ワンポイント

- パスワードに使用できる文字は
半角数字、半角英字、半角記号「(スペース)、!、\$、%、&、'、(、)、*、+、- (ハイフン)、. (ピリオド)、/、: (コロン)、<、>、?、[、]、^、_ (アンダースコア)、` (バッククオート)、|、| (パイプライン)、|、~ (チルダ)」です。
- パスワードに必要な文字と文字数は
半角数字、半角英字をそれぞれ1文字以上使用し、8文字以上32文字以内で設定してください。

かんたん設定ウィザード項目一覧

かんたん設定ウィザードにより、ご利用前に必要な初期設定を行います。

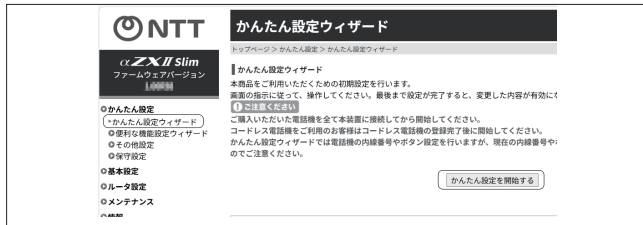


中項目	小項目	項目名	設定内容
かんたん設定 ウィザード	—	プロバイダ設定	インターネット接続（プロバイダ等）の設定
		チャンネル数設定	ご契約チャンネル数の設定
		ライセンス登録	ひかり電話ライセンス（ソフトウェアキーコード等）の登録設定
		FAX設定	FAXの電話番号設定（FAXをご利用になる場合）
		電話番号設定	電話番号毎に同時に使用するチャンネル数の設定
		電話機設定	接続されている電話機の内線番号の設定
		ボタン設定/ ボタン設定複写	よく使用する電話番号とその着信音の設定や、 ボタン設定を他の電話機へコピー（複写）

電話機を利用するには

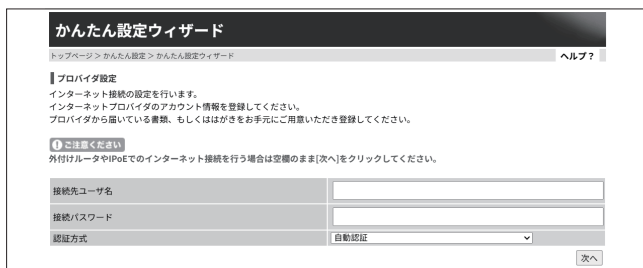
かんたん設定ウィザード

■ 設定メニューツリー



※ 設定中にダイアログが表示された場合は [OK] ボタンをクリックして進んでください。

■ 画面 1

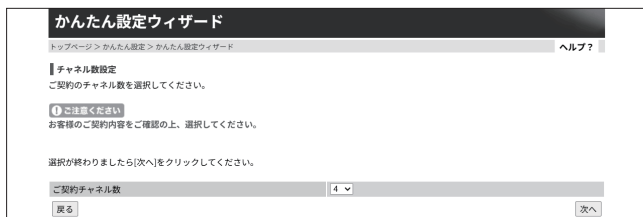


■ プロバイダ設定

① 画面 1 で接続先ユーザ名等を入力する。
画面 1 で（接続先ユーザ名・接続パスワード・認証方式）を入力・選択します。

② 画面 1 の [次へ] ボタンをクリックする。
画面 2 が表示されます。

■ 画面 2



■ チャネル数設定

③ 画面 2 でご契約チャネル数を設定する。
お客様のご契約内容をご確認の上、選択してください。

④ 画面 2 の [次へ] ボタンをクリックする。
画面 3 が表示されます。

■ 画面 3



■ ライセンス登録

⑤ 画面 3 でひかり電話ライセンスのソフトウェアキーコード等を入力する。
画面 3 で（ソフトウェアキーコード・認証コード・機能コード）を入力します。

⑥ 画面 3 の [登録] ボタンをクリックしてから、[次へ] ボタンをクリックする。
ひかり電話ライセンスが登録され、画面 4 が表示されます。

■ 画面 4



■ FAX設定

⑦ 画面 4 でFAXに使用する電話番号を設定する。
FAXに使用する電話番号や、ナンバー・ディスプレイを使用する場合は選択、またはチェックを入れます。

⑧ 画面 4 の [次へ] ボタンをクリックする。
画面 5 が表示されます。

画面5

電話番号設定

- ⑨ 画面5で利用チャネル数を設定する。
電話番号毎に使用するチャネル数を選択します。

- ⑩ 画面5の「次へ」ボタンをクリックする。
画面6が表示されます。

画面6

電話機設定

- ⑪ 画面6で内線番号を設定する。
接続されている内線電話機に、内線番号を入力します。
(電話機が接続されている場合、初期値は自動で設定されています。)

- ⑫ 画面6の「次へ」ボタンをクリックする。
画面7が表示されます。

画面7

ボタン設定

- ⑬ 画面7で回線ボタンに電話番号等を設定する。
回線ボタンに（電話番号・着信音）を設定します。

- ⑭ 画面7の「ボタン設定を保存」ボタンをクリックし、「かんたん設定を完了する」ボタンをクリックする。
画面8が表示されます。

画面8

かんたん設定ウィザード

かんたん設定ウィザードの内容がすべて設定されました。



お知らせ

- 手順⑭で、同一内容の回線ボタン設定を他の電話機にも設定する場合は、「ボタン設定を保存」ボタンの後に、「他の電話機に設定を複製」ボタンをクリックしてください。ボタン設定複製の画面が表示されます。

音量を調節するには

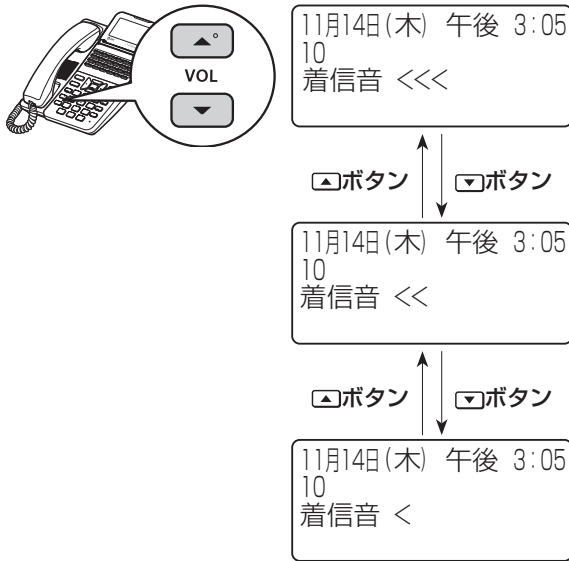
音量調整ボタンから音量調節を行うことができます。
ご使用の前に音量のレベルを確認してからご利用ください。

着信音量を調節する

内線電話機ごとに、外線や内線の着信音量を3段階に調節することができます。音量が変わると、ディスプレイに音量設定状態が約2秒間表示されます。

1 音量を大きくするときは▲ボタン、小さくするときは▼ボタンを押す。

着信音量の設定状態が表示されます。

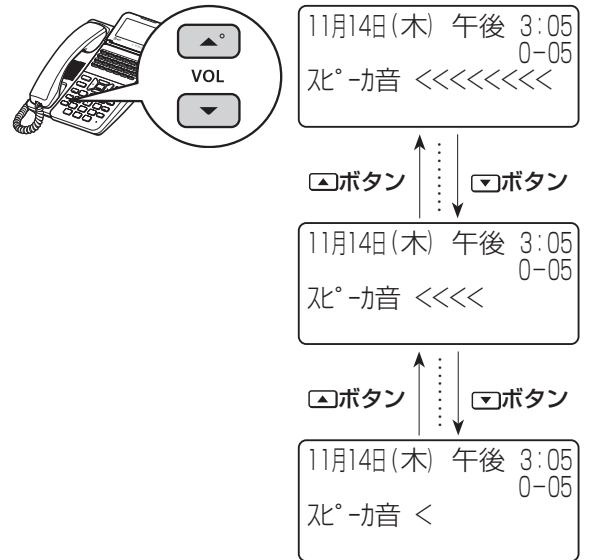


スピーカ音量を調節する

内線電話機ごとに、スピーカ受話中にスピーカ音量を8段階に調節することができます。音量が変わると、ディスプレイに音量設定状態が約2秒間表示されます。

1 スピーカ受話中に、音量を大きくするときは▲ボタン、小さくするときは▼ボタンを押す。

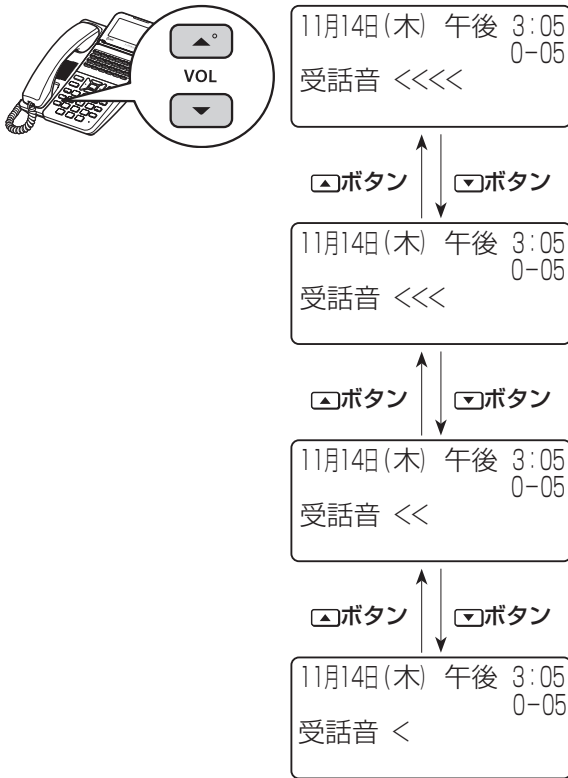
スピーカ音量の設定状態が表示されます。



ハンドセット受話音量を調節する

内線電話機ごとに、ハンドセットでお話し中に、相手の方の声を4段階に調節することができます。音量が変わると、ディスプレイに音量設定状態が約2秒間表示されます。

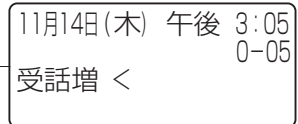
- 1** お話し中に、音量を大きくするときは▲ボタン、小さくするときは▼ボタンを押す。
受話音量の設定状態が表示されます。



ワンポイント

- **ハンドセット受話音量をさらに上げるには**
ハンドセットの受話音量をさらに大きくできる「明瞭モード」があります。明瞭モードは、相手の方の声を7段階に調節できます。
ハンドセットでお話し中に、▲ボタンを長く押しと明瞭モード、▼ボタンを長く押しと通常モードになります。

明瞭モードの「<」（通常モードの「<<<」に相当）に切り替わる



メニュー設定で受話増保持（P3-15）でも設定できます。

- **サービスボタンに「受話音量増大」の機能を割り当てると**
「Web設定」によって、回線ボタンにサービスボタン（受話音量増大）を割り当てると、サービスボタン（受話音量増大）を押すだけで、ハンドセット受話音量の明瞭モードと通常モードの切り替えができます。
サービスボタン（受話音量増大）を押して明瞭モードに切り替えると、サービスボタン（受話音量増大）ランプが赤く点灯し、再度サービスボタン（受話音量増大）を押して通常モードに切り替えるとランプが消えます。（P3-36）
- **音量が最大のときまたは最小のときは**
最大のときに音量調節ボタンの▲を、最小のときに音量調節ボタンの▼を押しても音量は変わりません。



お知らせ

- 明瞭モードに切り替えても、ハンドセットを置くか、スピーカ受話にすると通常モードに戻ります。
- 明瞭モードに切り替えると、通話中に「サー」という音が聞こえることがありますが、周囲の雑音も大きく聞こえるためです。故障ではありません。



注意

音量レベルを大きくしたまま使用すると、聴力障害の原因となることがあります。音量調節ボタンを使うときは、ハンドセットを耳から少し離し、必ずディスプレイで音量のレベルを確認してからご利用ください。

MEMO

電話機の 基本使用方法

2

電話をかけるには（外線発信）.....	2-2
電話を受けるには（外線着信）.....	2-15
内線でお話しするには（内線通話）.....	2-17
ハンズフリーで電話をかける・受けるには	2-19
電話を保留するには	2-23
電話帳を登録するには	2-28
着信を拒否するには	2-34
電話を転送するには（外線へ転送）.....	2-36
電話を転送するには（内線へ転送）.....	2-40
留守応答を利用するには	2-42
ご利用になれる各種ネットワークサービス	2-45

電話をかけるには（外線発信）

外線へ電話をかけるには次の方法があります。用途に合わせて電話のかけかたを選べます。

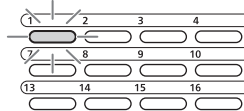
- ハンドセットを取りあげて電話をかける（☞P2-2）
- ハンドセットを置いたまま電話をかける（オンフックダイヤル）（☞P2-4）
- 電話番号を確認してから電話をかける（プリセットダイヤル）（☞P2-5）
- 電話帳を使って電話をかける（電話帳ダイヤル）（☞P2-6）

ハンドセットを取りあげて 電話をかける

1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

「ツーン」という発信音を確認してください。

緑・2回消灯



11月14日(木) 午後 3:05
外線
VoIP

2 ハンドセットを取りあげる。



11月14日(木) 午後 3:05
外線
VoIP

3 電話番号をダイヤルボタンで押す。

電話番号が表示されます。



VoIP 031234XXXX

4 相手の方が出たら、お話しする。

設定した時間経過後（お買い求め時：6秒）通話時間が表示されます。



11月14日(木) 午後 3:05
VoIP PB 0-15

5 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

- ワンタッチボタンで電話をかける（☞P2-11）
- 履歴を使って電話をかける（発信／着信履歴発信）（☞P2-12）
- 発信可能な外線を自動で選んで電話をかける（空き外線自動発信）（☞P2-14）
- ハンズフリーで電話をかける（☞P2-19）



ワンポイント

- **外線ランプが赤く点灯しているときは**
他の内線電話機が外の相手の方とお話中のため、その外線ボタンを押して電話をかけることはできません。
- **外線ボタンの回線名称を確認するには**
ハンドセットを置いたまま、**機能**、外線ボタンの順に押すと、その外線ボタンの回線名称が表示されます。外線ランプが点灯しているときでも操作できます。
- **ハンドセットを取りあげてから電話をかけるには**
ハンドセットを取りあげてから、外線ボタンを押しても電話をかけられます。
- **お話しをスピーカで聞くには（スピーカ受話）**
ハンドセットでお話中にスピーカボタンを押すと、スピーカから相手の方の声が聞こえます。こちらの声は、相手の方には聞こえません。また、スピーカ受話のときにハンドセットを置いてても電話は切れません。ハンドセットを取りあげると、ハンドセットでのお話に戻ります。
- **長時間通話を続けたときに警報音が鳴るようにするには**
通話時間が一定時間を越えたときに警報音でお知らせするように設定することができます。（☞P3-26）



お知らせ

- 通話時間は最大9時間59分59秒「9-59-59」まで表示されます。10時間以上になっても表示は変わりません。
 - 通話時間の表示は目安です。実際の通話時間とは異なる場合もありますので、目安としてご利用ください。
 - 外線への発信を規制することができます。（☞P3-21）
 - 手順3でディスプレイ2段目に表示される電話番号は20桁までです。21桁目を押すと1桁目が1段目に移動し、さらに1桁押すごとに2桁目以降が1段目に移動します。
 - ハンドセットを取りあげたとき、スピーカボタンを押したときには、オフック外線発信設定（☞P3-8）によって次のどちらかの状態になります。
 - 「ツーツー…」という内線発信音が聞こえ、内線の呼び出しができる（オフック内線捕捉）
 - 「ツー」という外線発信音が聞こえ、外線の発信ができる（オフック外線自動捕捉）
 - オフック外線自動捕捉を設定しているときは、外線ボタンを押す必要はありません。
 - 外線ボタンまたは内線ボタンを押した場合の動作は、ワンタッチ／プリセクション設定により異なります。
 - 外線ボタンまたは内線ボタンを押すだけで発信できる（ワンタッチ捕捉）
 - 外線ボタンまたは内線ボタンに続きスピーカボタンを押して発信できる（プリセクション）
- この取扱説明書では、オフック内線捕捉および、ワンタッチ捕捉の状態の説明をしています。



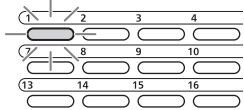
- ▶ **一時的にこちらの音声相手に聞こえないようにするには？（送話カット）**（☞P6-3）

ハンドセットを置いたまま 電話をかける（オンフックダイヤル）

1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

「ツーン」という発信音を確認してください。

緑・2回消灯



11月14日(木) 午後 3:05
外線
VoIP

2 電話番号をダイヤルボタンで押す。

電話番号が表示されます。



VoIP 031234XXXX

3 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。

設定した時間経過後（お買い求め時：6秒）通話時間が表示されます。



11月14日(木) 午後 3:05
VoIP PB 0-15

4 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。



ワンポイント

○外線ボタンを押したときの設定を変更するには（ワンタッチ／プリセクション）

空いている外線ボタンを押したあと、スピーカボタンを押して外線を捕捉するプリセクションサービスを利用するように設定を変更することができます。（▶P3-8）

●ハンドセットを置いたままで電話を切るには

時報（117）、プッシュホンサービス等は、オンフックダイヤルで電話をかけたあと、ハンドセットを取りあげずにそのままお聞きになれます。電話を切るときはスピーカボタンを押します。



お知らせ

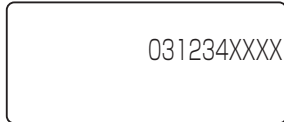
- 手順1で、プリセクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- オンフックダイヤルの場合、外の相手の方が出たあと、ハンドセットを取りあげてお話ししないと、こちらの声は相手の方に聞こえません。



▶一時的にこちらの音声相手に聞こえないようにするには？（送話カット）（▶P6-3）

電話番号を確認してから 電話をかける（プリセットダイヤル）

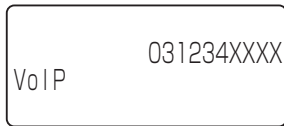
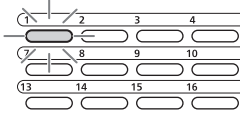
- 1** 電話番号をダイヤルボタンで押す。
電話番号が表示されます。



- 2** 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

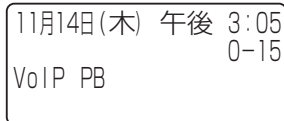
表示されている電話番号がダイヤルされます。

緑・2回消灯



- 3** 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。

設定した時間経過後（お買い求め時：6秒）通話時間が表示されます。



- 4** お話しが終わったら、ハンドセットを置く。



ワンポイント

- 番号を間違えて入力したときや、発信を中止するときは
電話番号を入力したあとで **[クリア]** を押すと、最後に入力したダイヤルが1文字ずつ削除されます。また、**[クリア]** を長く押すと、全桁削除されます。または、入力した文字がない状態では、発信が中止されます。
- 電話番号を押したままのときは
手順1のあと手順2を行わず、「プリセット読出タイマ」（☞P3-26）で設定されている時間が経過すると、時計・カレンダー表示に戻り、プリセットダイヤルが解除されます。
- 電話番号が表示されている秒数を変更するには
お買い求め時は、15秒間に設定されています。1～30秒の間で設定を変えることができます。（☞P3-26）



お知らせ

- 手順2で、プリセクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- 手順1の電話番号は32桁まで入力できます。それ以上の入力は無視されます。
- プリセットダイヤルを利用されている場合でも、プリセクションサービスをご利用いただけます。



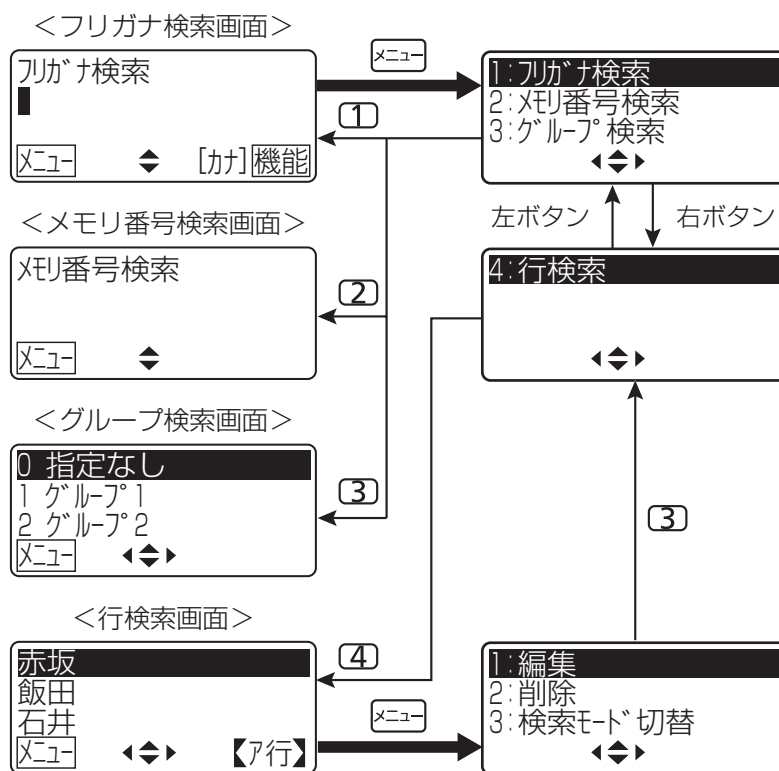
- ▶ 一時的にこちらの音声相手が聞こえないようにするには？（送話カット）（☞P6-3）

電話帳を使って電話をかける（電話帳ダイヤル）

よくかける相手の方の電話番号を電話帳に登録しておくと、簡単にダイヤルすることができます。電話帳の登録は「電話帳に登録するには」（P2-28）を参照して行ってください。検索は、フリガナ、メモリ番号、グループ、行のいずれかを使って行います。

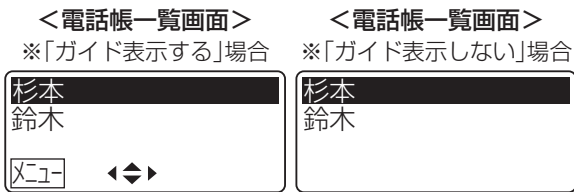
■ 検索画面を表示する

- 1 電話帳ボタンを押す。
前回検索したときの検索画面が表示されます。
- 2 必要に応じて検索画面を切り替える。
【フリガナ検索、メモリ番号検索、グループ検索の各画面から】
 - ① **メニュー** を押す
 - ② 検索方法をダイヤルボタンで選択するか、上下ボタンで選択して **決定** を押す
 【行検索画面から】
 - ① **メニュー** を押す
 - ② 上下ボタンで「3：検索モード切替」を選択するか、**3** を押す
 - ③ 検索方法をダイヤルボタンで選択するか、上下ボタンで選択して **決定** を押す



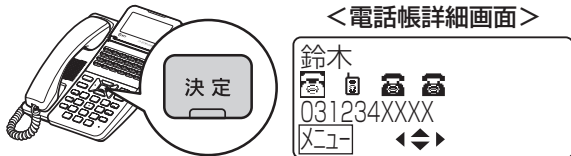
■フリガナで検索する

- フリガナ検索画面を表示する。（☞P2-6）
- 電話帳に登録したフリガナを入力し、上下ボタンを押す。
- 上下左右ボタンで目的の電話帳を選択する。



電話帳に1つの電話番号のみを登録している場合、または第1番号に発信する場合は、手順6に進みます。

- 決定を押す。



- 左右ボタンでかけたい電話番号を選択する。



- 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

発信されます。

手順3で電話帳を選択したあと、すぐに手順6を行うと、1つの電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、第1番号で発信されます。



- 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。

ワンポイント

- 電話帳ガイド表示について
電話帳画面の最下行に操作ガイドを表示させるかどうかを設定できます。（☞P3-20）

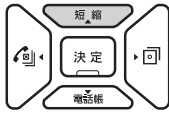


- フリガナ検索するときには
フリガナすべてを入力せず、先頭の何文字かを入力するだけで検索できます。
- 電話帳の詳細を確認するには
電話帳一覧画面で「決定」を押すと、選択されている電話帳の詳細が表示されます。「クリア」を長く押すか、電話帳詳細読出タイム（☞P3-26）で設定されている秒数（お買い求め時：30秒）が経過すると、元の画面に戻ります。
- 外線通話中に電話帳の内容を確認するには
電話帳検索（☞P2-6）フリガナ検索等の手順1～5の操作を行うか、メニュー設定で電話帳検索（☞P3-6）を行います。
- 「184」や「186」を付加してダイヤルするには
電話帳に登録されている電話番号の前に、「184（電話番号を通知しない）」または「186（電話番号を通知する）」を付加してダイヤルするには、次のように操作します。
 - 電話帳を検索し、電話帳詳細画面を表示する
 - Xニューを押す
 - 上下ボタンで「1：184付与」または「2：186付与」を選択し、「決定」または①か②を押す
 - 外線ボタンを押す

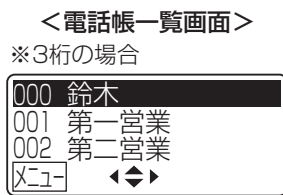
電話をかけるには（外線発信）

■メモリ番号で検索する

1 短縮ボタンを押す。

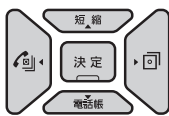


2 メモリ番号をダイヤルボタンで押す。

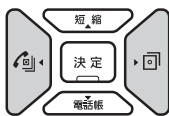


3 上下左右ボタンでかけたい電話帳を選択し、**決定** を押す。

電話帳に1つの電話番号のみを登録している場合、または第1番号に発信する場合は、**決定** を押さずに手順5に進みます。



4 左右ボタンでかけたい電話番号を選択する。

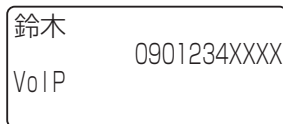
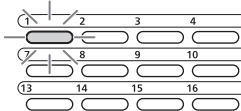


5 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

発信されます。

手順3で電話帳を選択したあと、**決定** を押さずに手順5を行うと、1つの電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、第1番号で発信されます。

緑:2回消灯



6 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。



お知らせ

- 外線通話中は、電話帳の内容の確認のみ行えます。電話帳を使って電話をかけることはできません。
- 通話料無料（フリーダイヤル、116、113等）の相手との通話中には、電話帳の内容を確認できない場合があります。
- 電話帳一覧画面では、名称を登録していない場合はフリガナが、名称とフリガナを登録していない場合は電話番号が表示されます。
- サービスロックにより電話帳が規制されているときは、電話帳の画面が表示されません。



- ▶ 一時的にこちらの音声相手に聞こえないようにするには？（送話カット）（P6-3）
- ▶ 電話帳ダイヤルのあとに続けてダイヤルするには？（追加ダイヤル）（P6-4）



ワンポイント

○電話帳のメモリ番号は

桁数※	共通電話帳		個別電話帳	
	件数	メモリ番号	件数	メモリ番号
2桁	80	00～79	20	80～99
3桁	800	000～799	200	800～999
4桁	9800	0000～ 9799	200	9800～ 9999

※桁数を変更する場合は、当社サービス取扱所へご連絡ください。お買い求め時は3桁になっています。

●メモリ番号を全桁入力しないで検索すると

メモリ番号「999」まで使用できる場合（お買い求め時）、1桁（例：「1」）だけ入力し、下ボタンか「決定」ボタンを押下すると、その数字を百の位とするメモリ番号（例：「100」）の電話帳が検索できます。

●電話帳ボタンを使ってメモリ番号検索をするには

- ①電話帳ボタンを押して検索画面を表示する（P2-6）
- ②手順2以降の操作を行う

●外線ボタンを押してから電話帳をメモリ番号で検索するには

- ①外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す
- ②短縮ボタンを押す
- ③メモリ番号をダイヤルボタンで押す

●検索方式の記憶機能を利用するには

電話帳検索には、電話帳ボタンを押して開始する方法や、短縮ボタンから開始するメモリ番号検索のほかに、**メニュー**から開始する方法（P3-6）があります。このうち、電話帳ボタンまたは**メニュー**から開始した検索で使用した検索方式は、個々の電話機に記憶されます。前回と同じ方式を使用するには、電話帳ボタンを押して検索を開始します。前回と同じ検索画面が表示され、検索方式を選択し直す手間が省けます。

○電話帳ガイド表示について

電話帳画面の最下行に操作ガイドを表示させるかどうかを設定できます。（P3-20）

●電話帳の詳細を確認するには（P2-7）

●外線通話中に電話帳の内容を確認するには（P2-7）

●「184」や「186」を付加してダイヤルするには（P2-7）

電話をかけるには（外線発信）

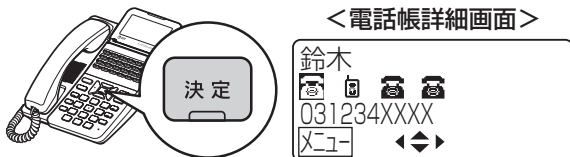
■グループで検索する

- 1 グループ検索画面を表示する。(P2-6)
- 2 検索するグループの番号をダイヤルボタンで押す。
- 3 上下左右ボタンで目的の電話帳を選択する。



電話帳に1つの電話番号のみを登録している場合、または第1番号に発信する場合は、手順6に進みます。

- 4 **決定** を押す。



- 5 左右ボタンでかけたい電話番号を選択する。



- 6 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

発信されます。

手順3で電話帳を選択したあと、すぐに手順6を行うと、1つの電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、第1番号で発信されます。



- 7 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。

■行で検索する

名称の先頭文字の行（ア行～）から、目的の電話帳を検索します。

- 1 行検索画面を表示する。(P2-6)
- 2 左右ボタンで行を切り替える。



- 3 上下左右ボタンでかけたい電話帳を選択し、**決定** を押す。

電話帳に1つの電話番号のみを登録している場合、または第1番号に発信する場合は、**決定** を押さずに手順5に進みます。



- 4 左右ボタンでかけたい電話番号を選択する。



- 5 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

発信されます。

手順3で電話帳を選択したあと、**決定** を押さずに手順5を行うと、1つの電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、第1番号で発信されます。



- 6 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。

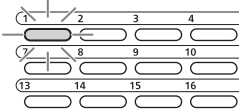
ワンタッチボタンで電話をかける

ワンタッチボタンが割り当てられているボタンに、よくかける相手の電話番号を登録しておくことで、簡単に電話をかけられます。ワンタッチボタンへの電話番号の登録は「ワンタッチボタンに登録する」(P3-12)を参照して行ってください。

1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

「ツー」という発信音を確認してください。

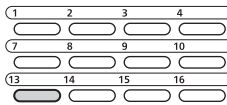
緑:2回消灯



11月14日(木) 午後 3:05
外線
VoIP

2 ワンタッチボタンを押す。

登録されている電話番号が表示されます。



VoIP 031234XXXX

3 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。

設定した時間経過後（お買い求め時：6秒）通話時間が表示されます。



11月14日(木) 午後 3:05
VoIP PB 0-15

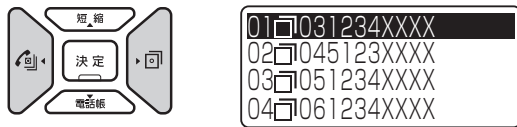


- ▶ 一時的にこちらの音声相手が聞こえないようにするには？（送話カット）(P6-3)
- ▶ ワンタッチダイヤルのあとに続けてダイヤルするには？（追加ダイヤル）(P6-4)

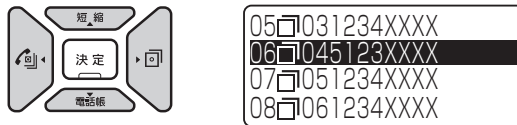
履歴を使って電話をかける (発信/着信履歴発信)

かけた電話番号やかけてきた方の電話番号等は、発信/着信履歴としてそれぞれ最新の52件分が保存されています。これらの電話番号を使って、簡単に電話をかけることができます。

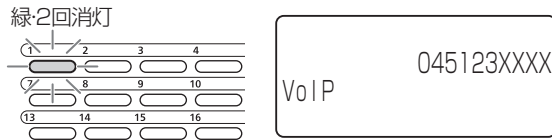
- 1** 発信履歴ボタンまたは着信履歴ボタンを押し、発信/着信履歴の一覧画面を表示する。



- 2** 上下左右ボタンで目的の履歴を選択する。

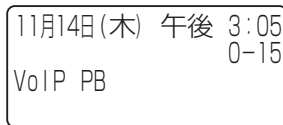


- 3** 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。



- 4** 相手の方の声がスピーカーから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。

設定した時間経過後（お買い求め時：6秒）通話時間が表示されます。



ワンポイント

- 着信履歴ランプを点滅させるには
かかってきた電話に出なかったときに、着信履歴ランプの点滅（周期的に2回点灯）でお知らせすることができます。（P3-17）
- 着信履歴ランプが点灯しているときは
着信履歴を表示している間は点灯します。
- 一覧画面に表示される情報は

<発信履歴一覧画面>

発信履歴番号:最新の履歴から順に「01」～「52」

発信先の情報:電話番号(最大16桁)、名称(名称が登録されている電話帳を使って電話をかけた場合)



<着信履歴一覧画面>

着信履歴番号:最新の履歴から順に「01」～「52」

着信状態:「応(応答した)」、「不(応答しなかった)」、「他(他の内線電話機で応答した)」

発信者の情報:発信者の電話番号(最大16桁) / 内線番号、名称(電話帳に登録されている名称)





ワンポイント

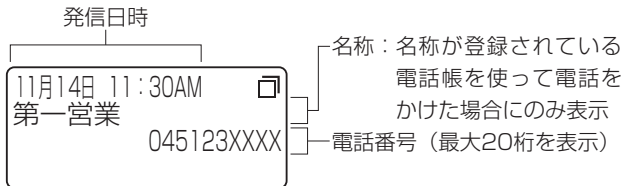
- 相手の方の電話番号が通知されない理由を表示するには
着信履歴に相手の方の電話番号が通知されない理由を次のように表示することができます。

ディスプレイ	理由
公衆電話	公衆電話から電話がかかってきたときに表示します。
非通知	かけてきた相手の方が、電話番号を表示しない操作または表示しない契約になっているときに表示します。
表示圏外	「ナンバー・ディスプレイ」や「発信者番号表示」を提供していないエリアから電話がかかってきたとき、またはサービスが競合しているため、電話番号を通知できない場合に表示します。

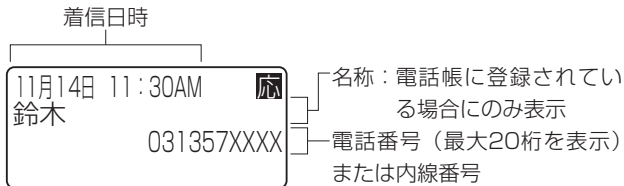
- 発信／着信履歴の詳細を確認するには

一覧画面で **決定** を押すと、選択されている履歴の詳細が表示されます。一覧画面に戻るときは、**クリア** を押します。

<発信履歴詳細画面>



<着信履歴詳細画面>



- 履歴メニューを利用するには

発信／着信履歴の電話番号を電話帳に登録したり履歴を消去するには、履歴メニューを利用します。また着信拒否のグループに登録するにも履歴メニューを利用します。発信／着信履歴の一覧画面または詳細画面で **メニュー** を押すと、次のような履歴メニューが表示されます。

<発信履歴の履歴メニュー>

- 1: 電話帳登録
- 2: 1件削除
- 3: 全件削除

<着信履歴の履歴メニュー>

- 1: 電話帳登録
- 2: 1件削除
- 3: 全件削除
- 4: 着信拒否グループ登録

目的の項目をダイヤルボタンで選択するか、上下ボタンで選択して **決定** を押します。

履歴メニューから一覧／詳細画面に戻るときは、**クリア** を押します。

時計・カレンダー表示に戻るときは、**クリア** を長く押します。



お知らせ

- 他の内線電話の発信／着信履歴を使って電話をかけることはできません。
- すでに発信／着信履歴が52件記録されているときに新たに発信／着信があると、最も古い発信／着信履歴から自動的に消去されます。
- 着信履歴を表示中にかかってきた電話は、着信履歴に記録されません。
- 他の内線電話機で保留または保留転送された電話に回答した場合は、相手先（かかってきた電話）の情報が着信履歴に記録されます。
- 着信履歴の番号を表示するには、ナンバー・ディスプレイ（P2-45）の契約が必要です。

発信可能な外線を自動で選んで電話をかける（空き外線自動発信）

- 1** 内線ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。



11月14日(木) 午後 3:05
内線

- 2** 外線発信番号（☎ []）をダイヤルボタンで押す。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



11月14日(木) 午後 3:05
外線
VoIP

- 3** ハンドセットを取りあげる。



11月14日(木) 午後 3:05
外線
VoIP

- 4** 電話番号をダイヤルボタンで押す。

VoIP 031234XXXX

- 5** 相手の方が出たら、お話しする。

お知らせ

- オンフックダイヤル、プリセットダイヤルで電話をかけることもできます。
- 手順1で、プリセクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- 手順2で「ブーブー」と話中音が聞こえるときには、空いている外線がありません。

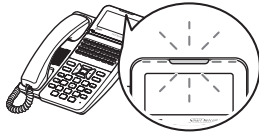
電話を受けるには（外線着信）

外線から電話を受けるには次の方法があります。外から電話がかかってくると、電話機から着信音が聞こえ、着信ランプと外線ランプが点滅します。

- 電話を受ける（☞P2-15）
- ハンズフリーで電話を受ける（☞P2-20）

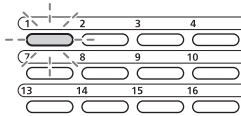
電話を受ける

1 着信音が鳴り、着信ランプと外線ランプが点滅する。



11月14日(木) 午後 3:05

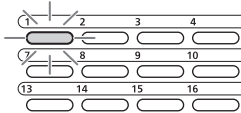
赤



電話帳グループごとに着信ランプの点滅色を変えるには
（☞P3-7）

2 ランプが点滅している外線ボタンを押す。

緑・2回消灯



11月14日(木) 午後 3:05

VoIP PB

3 ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話する。
通話時間が表示されます。



11月14日(木) 午後 3:05
0-15

VoIP PB

4 お話が終わったら、ハンドセットを置く。



お知らせ

- 着信メロディをお使いのときでも信号音で鳴る場合があります。
- 外の相手の方とお話中に、保留・転送する場合は、他の外線ボタンを押す前に、**保留**を押し、お話し中の電話が切れないようにご注意ください。
- 電話機ごとの設定により、着信音が鳴らず、着信ランプも点滅しないようにすることができます。（☞P3-10）
- 他の人が先に応答したときは、「プープー…」という話中音が聞こえ、外線ランプが赤く点灯したままになります。



- ▶ 一時的にこちらの音声相手に聞こえないようにするには？（送話カット）（☞P6-3）
- ▶ 迷惑電話を着信拒否するには（☞P6-5）



ワンポイント

- **着信ランプとは**
着信音が鳴り、呼び出されていることを点滅してお知らせするランプです。
- **一定時間内に応答しなかったときは（着信未応答警報）**
一定時間内に応答しなかったときは、着信音が警報音に切り替わるように設定できます。（☞P3-22）
- **外線または内線でお話中に電話がかかってきたときは（通話中着信）**
スピーカから通常より小さな音で着信音が聞こえます。
- **電話機ごとに着信音の音色を切り替えるには**
電話機ごとに外線の着信音、内線の着信音の音色を切り替えることができます。（☞P3-9）
- **電話帳グループごとに着信音を変えるには**
電話帳グループによって異なる着信音が鳴るように設定することができます。（☞P3-7）
- **ハンドセットを取りあげてから応答するには**
ハンドセットを取りあげてから、外線ボタンを押しても応答できます。
- **続けてかかってきた電話に応答するには**
ハンドセットを取りあげたまま、ランプが点滅している外線ボタンを押すと応答できます。
- **着信音が鳴る状態になっているかどうかを確認するには**
外線着信音は、システムモードや外線着信鳴動設定（☞P3-9）、曜日毎鳴動モード設定（☞P3-10）等により、時間帯によっては鳴らないように設定されていることがあります。
現在、外線着信音が鳴る状態になっているかどうかは、内線電話機ごとに確認できます。ハンドセットを置いたまま、**機能**、外線ボタンの順に押し、「ピッピッ」という確認音が聞こえたときは、外線着信音が鳴ります。ただし、着信中および通話中のときは、確認音が聞こえない場合があります。

内線でお話するには（内線通話）

他の内線電話機を内線番号で呼び出してお話することができます。内線通話には次の方法があります。

- ・内線でお話する（内線通話）（☞P2-17）
- ・ハンドセットを置いたまま内線でお話する（☞P2-21）

内線でお話する（内線通話）

呼び出す方

- 1 ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。



11月14日(木) 午後 3:05
内線

- 2 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す。



11月14日(木) 午後 3:05
10

- 3 呼び出された方が応答したら、ハンドセットを取りあげてお話しする。



11月14日(木) 午後 3:05
10

- 4 お話が終わったら、ハンドセットを置く。

呼び出される方



- 1 呼び出されると、着信音が鳴り、着信ランプと内線ランプが点滅する。



- 2 ハンドセットを取りあげて、お話しする。



11月14日(木) 午後 3:05
11

- 3 お話が終わったら、ハンドセットを置く。

内線でお話するには（内線通話）
電話を受けるには（外線着信）



お知らせ

- 「ブーブー…」という話中音が聞こえるときは、相手の方がお話し中です。しばらくしてからかけ直してください。
- 「呼び出す方」の手順1で、プリセクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。



ワンポイント

- **着信ランプとは**
着信音が鳴り、呼び出されていることを点滅してお知らせするランプです。
- **内線の呼び出し方法を変えるには**
内線で呼び出し中に **[0]** を押すと、呼び出し方法をトーン（信号音）から音声、または音声からトーン（信号音）に切り替えることができます。
- **音声呼び出しのときは**
呼び出される方の手順1で、着信ランプは点滅しません。
- **お話し中の方を呼び出すには**
相手の方がお話し中のときに、**[*]** を押します。
相手の方には通常より小さな音で着信音が聞こえます。
- **ハンドセットを取りあげずに応答するには（内線ハンズフリー応答）（P2-21）**
- **グループの他の電話機を呼び出すには（ステップコール）**
内線呼び出しをしたとき、相手の方がお話し中または応答しないときは、呼び出し中に **[#]** を押すと、グループの他の電話機を呼び出すことができます。
- **別の電話機で応答するには（代理応答）**
内線ボタンに続けて、**[#][0][0]** の順に押し、ハンドセットを取りあげるとグループに属する電話機にかかってきた電話に応答できます。

ハンズフリーで電話をかける・受けるには

ハンドセットを置いたまま（ハンズフリー）電話をかけたり、受けたり、内線通話することができます。

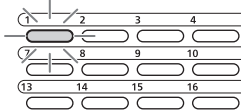
ハンズフリーで電話をかける

ハンドセットを置いたまま電話をかけることができます。

1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

「ツー」という発信音を確認してください。

緑2回消灯



11月14日(木) 午後 3:05
外線
VoIP

2 マイクボタンを押す。



11月14日(木) 午後 3:05
外線
VoIP

3 電話番号をダイヤルボタンで押す。



VoIP 031234XXXX

4 相手の方の声が聞こえたら、電話機のマイクに向かってお話しする。



5 お話が終わったら、スピーカボタンを押す。
マイクランプ、スピーカランプ、外線ランプが消えます。



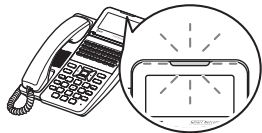
11月14日(木) 午後 3:05
10

お知らせ

- 通話の状態により、相手の方の声が一時途切れることがありますが、故障ではありません。
- 手順1で、プリセクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。

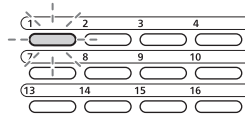
ハンズフリーで電話を受ける

1 着信音が鳴り、着信ランプと外線ランプが点滅する。



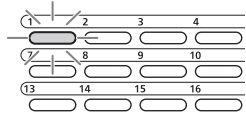
11月14日(木) 午後 3:05

赤



2 ランプが点滅している外線ボタンを押す。

緑・2回消灯



11月14日(木) 午後 3:05

VoIP PB

3 マイクボタンを押す。



11月14日(木) 午後 3:05
0-15

VoIP PB

4 電話機のマイクに向かってお話しする。



5 お話しが終わったら、スピーカボタンを押す。
マイクランプ、スピーカランプ、外線ランプが消えます。



11月14日(木) 午後 3:05
11



ワンポイント

- 着信ランプとは
着信音が鳴り、呼び出されていることを点滅してお知らせするランプです。
- ハンズフリーで内線通話するには (P2-21)
- ハンズフリー通話中に、ハンドセットでお話しするには
ハンドセットを取りあげると、ハンドセットでお話しできます。
- ハンドセットでお話し中に、ハンズフリー通話するには
お話し中にスピーカボタン、マイクボタンの順に押しします。ハンドセットを置くと、ハンズフリー通話ができます。



お知らせ

- 通話の状態により、相手の方の声が一時途切れることがありますが、故障ではありません。
- ハンズフリーで電話を受ける場合は、手順どおり、外線ボタンの後にマイクボタンを押してからお話しください。ハンズフリーは、自動応答ではありません。

ハンドセットを置いたまま 内線でお話する

呼び出す方

- 1 ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。



11月14日(木) 午後 3:05
内線

- 2 マイクボタンを押す。



11月14日(木) 午後 3:05
内線

- 3 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押し、内線呼び出しになったら **0** を押す。



11月14日(木) 午後 3:05
10

- 4 相手の方が応答したら、電話機のマイクに向かってお話しする。

呼び出される方 (内線ハンズフリー応答)



- 1 音声呼び出しされると、確認音が鳴り、内線ランプが赤く点滅する。



- 2 マイクボタンを押す。



11月14日(木) 午後 3:05
11

- 3 電話機のマイクに向かってお話しする。
ハンドセットを取りあげると、ハンドセットでお話できます。





ワンポイント

●自動的に内線ハンズフリー応答するには

あらかじめマイクボタンを押して（マイクランプ点灯）おくと、音声呼び出されたらスピーカから相手の方の声が聞こえます。そのまま電話機のマイクに向かってお話しください。



お知らせ

- 通話の状態により、相手の方の声が一時途切れることがありますが、故障ではありません。
- ハンズフリーで電話を受ける場合は、手順どおり、マイクボタンを押してからお話しください。ハンズフリーは、自動応答ではありません。

電話を保留するには

お話しを一時中断して、相手の方に待っていただくときは保留にします。相手の方へは保留メロディが流れます。保留には、他の内線電話機でも電話に出ることができる共通保留と、他の電話機では出られない個別保留があります。また、保留した電話を、他の内線電話機や他の外線に取りつぐことができます。

保留する (共通保留)

- 1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝える。

お待ちください。



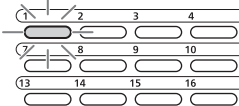
- 2 **保留** を押して、ハンドセットを置く。
相手の方には保留メロディが流れます。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。



11月14日(木) 午後 3:05
10

- 3 もう一度お話しするときは、保留中の外線ボタンを押す。

緑:2回消灯



- 4 ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話する。



11月14日(木) 午後 3:05
VoIP PB
1-00

他の電話機で取れないように 保留する(個別保留)

- 1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝える。

お待ちください。



- 2 **機能** を押す。



11月14日(木) 午後 3:05
0-05
機能

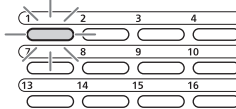
- 3 **保留** を押して、ハンドセットを置く。
相手の方には保留メロディが流れます。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。
他の電話機では、外線ランプが赤く点灯します。



11月14日(木) 午後 3:05
10

- 4 もう一度お話しするときは、保留中の外線ボタンを押す。

緑:2回消灯



- 5 ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話する。



11月14日(木) 午後 3:05
1-00
VoIP PB



ワンポイント

- 保留忘れを防止するために
保留状態が一定時間続いたときに、電話機のスピーカから保留警報音が鳴るように設定することができます。
(P3-23)
- 個別保留の操作
機能、保留 を順に押す代わりに、内線ボタンを押して個別保留にすることもできます。

お話しを他の内線電話機に 転送する

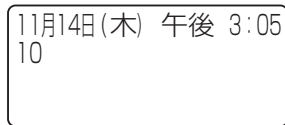
外の相手の方とお話しや内線通話を、他の内線電話機に取りつぎます。

呼び出す方

- 1 お話中に、相手の方に待っていただくように伝え、**保留**を押す。
相手の方には保留メロディが流れます。
「ツツツ…」という音を確認してください。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



- 2 取りつぐ内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す。



- 3 呼び出された方が応答したら、電話を取りつぐことを伝え、ハンドセットを置く。
または **決定** を押して転送することもできます。

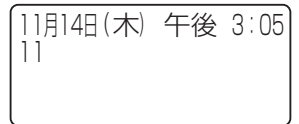
呼び出される方



- 1 呼び出されると、着信音が鳴り、着信ランプと内線ランプが点滅する。



- 2 ハンドセットを取りあげて、お話しする。



- 3 呼び出した方がハンドセットを置くと、外からの電話がつながるので、相手の方とお話しする。

お知らせ

- 「ブーブー…」という話中音が聞こえるときは、相手の方がお話し中です。しばらくしてからかけ直してください。
- 転送先が保留転送制限されているときは、呼び出す方の手順3で決定ランプが点灯し、転送できないことがあります。



ワンポイント

●着信ランプとは

着信音が鳴り、呼び出されていることを点滅してお知らせするランプです。

●呼び出される方が近くにいるときは（口頭転送）

共通保留（P2-23）の操作のあと、口頭で連絡してください。同じ外線ボタンを設定した電話機なら、ハンドセットを取りあげて外線ボタンを押すと、電話に出ることができます。

●自グループ内の他の電話機を呼び出すには（ステップコール）

内線個別呼び出しをしたとき、相手の方がお話し中または応答しないときは、**(F)** を押し、自グループ内の他の電話機を呼び出すことができます。

●別の電話機で応答するには（代理応答）

外線ボタンに続けて、**(F)** **(O)** **(O)** の順に押し、ハンドセットを取りあげるとグループに属する電話機にかかってきた電話に応答できます。

●呼び出された方が応答する前に転送するには（呼出状態転送）

呼び出す方の手順3で、呼び出された方が応答する前にハンドセットを置くか、**[決定]** を押して、転送することもできます。呼び出された方は外線ランプが緑色で点滅して着信音が変わりますので、外線ボタンを押し、ハンドセットを取りあげてお話しください。

●呼び出される方が話し中か、または応答しないときは

外線ボタンを押すと、再び元の相手の方とお話しすることができます。

○内線の呼び出し方法を変えるには

内線で呼び出し中に **(O)** を押し、呼び出し方法をトーン（信号音）から音声、または音声からトーン（信号音）に切り替えることができます。

●音声呼び出しのときは

呼び出される方の手順1で、着信ランプは点滅しません。

お話しを他の外線に転送する

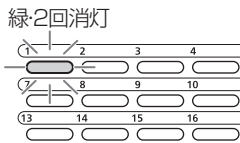
外の相手の方とのお話しや内線電話を、他の外線に転送することができます。

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝え、**保留**を押す。

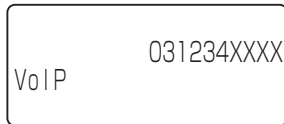
相手の方には保留メロディが流れます。
「ツツツ…」という音を確認してください。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



2 空いている外線ボタンを押す。 「ツ」 という発信音を確認してください。



3 転送先の電話番号をダイヤルボタンで押す。 電話番号が表示されます。



4 相手の方が応答したら、電話を取りつぐことを伝え、**決定**を押す。

転送が完了します。
手順2で押した外線ボタンのランプが周期的に緑で2回点灯します。



5 ハンドセットを置く。



ワンポイント

- 相手の方が応答しないまたはお話し中の場合は
保留中の外線ボタンを押すと、元の相手の方とのお話しに戻ります。別の転送先に転送するには、手順1から操作をやり直してください。



お知らせ

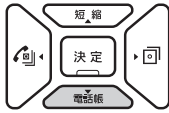
- 転送先へ保留転送規制されているときは、決定ランプが点灯し、転送できないことがあります。また、最初にお話ししていた通話を保留したあとで外線の着信に応答したとき等には、決定ランプが点灯し、転送が行えません。

電話帳を登録するには

よくかける相手の方の電話番号を電話帳に登録しておく、簡単にダイヤルすることができます。個々の内線電話機ごとに登録できる個別電話帳の他に、すべての内線電話機で利用できる共通電話帳があります。また、電話帳1件につき、最大4つの電話番号を登録できます。登録は、外線通話中にも行えます。

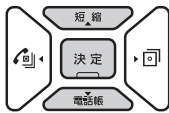
電話帳を登録する

1 電話帳ボタンを長く（2～3秒）押す。



2 上下ボタンで「1：個別電話帳登録」または「2：共通電話帳登録」を選択し、「決定」を押す。

または ① か ② を押します。



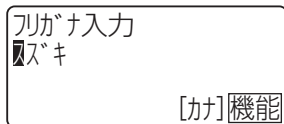
3 名称を入力する。

「文字を入力する」(P2-32)を参照して名称を入力してください。



4 「決定」を押す。

漢字・かなモードで名称を入力した場合は、入力した文字が、そのままフリガナとして表示されます。

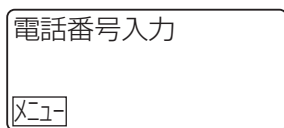


フリガナを変更する場合は、「文字を入力する」(P2-32)を参照して修正してください。

5 「決定」を押す。



6 「決定」を押す。



ワンポイント

○電話帳の登録件数

桁数*	共通電話帳	個別電話帳
2桁	80	20 (×40台)
3桁	800	200 (×40台)
4桁	9800	200 (×40台)

*桁数を変更する場合は、当社サービス取扱所へご連絡ください。お買い求め時は3桁になっています。

●電話帳に登録できる内容は

項目	登録内容
名称	全角最大10文字。漢字／ひらがな（全角）、カナ／英字／数字（半角）が使用できる
フリガナ	半角最大12文字。カナ／英字／数字（半角）が使用できる
電話番号	最大32桁。ダイヤル（0～9、*、#）およびポーズを登録できる。最大4番号を登録できる
グループ	10のグループに分類できる
アイコン	8種類のアイコンから選択できる
メモリ番号	共通電話帳 2桁：00～79 3桁：000～799 4桁：0000～9799
	個別電話帳 2桁：80～99 3桁：800～999 4桁：9800～9999

○電話帳ガイド表示について

電話帳画面の最下行に操作ガイドを表示させるかどうかを設定できます。(P3-20)

●登録中に前の画面に戻るには

フリガナ、電話番号、グループ、アイコンの各登録画面から前の画面に戻るには、「クリア」を押します。ただし、文字や数字の入力中は、入力文字を全て削除してから、「クリア」を押します。

●登録を中止するには

「クリア」を長く押すと、時計・カレンダー表示に戻ります。ただし、文字や数字の入力中は、入力文字を全て削除し、前の画面(手順5、9)に戻してから、「クリア」を長く押します。



お知らせ

●手順4のフリガナ入力、履歴からの電話帳登録時に自動入力されません。

7 電話番号をダイヤルボタンで押す。

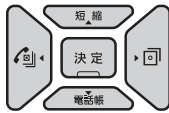


8 [決定] を押す。



9 上下左右ボタンで登録したいアイコンを選択し、[決定] を押す。

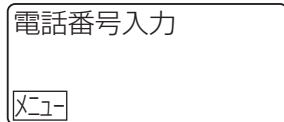
または [1] ~ [8] を押します。



※「選択できるアイコンは」(ワンポイント)

10 複数の電話番号を登録する場合は、上下左右ボタンで「(未登録)」を選択し、[決定] を押す。

電話番号の登録を終了する場合は、手順12に進みます。



11 手順7 ~ 9を行う。

12 上下左右ボタンで「GR 指定なし」を選択し、[決定] を押す。



13 上下左右ボタンで登録先のグループを選択し、[決定] を押す。

または [0] ~ [9] を押します。



(次ページへつづく)



ワンポイント

● 選択できるアイコンは

番号	アイコン	番号	アイコン
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	

○ グループ名を登録するには

「指定なし」、「グループ1」～「グループ8」、「着信拒否」を、お好みの名称に変更できます。(※P3-19)



- ▶ 電話番号にポーズ(待ち時間)を入れて登録するには? (※P6-2)
- ▶ 電話帳が登録できないときは? (※P6-2)

電話帳を登録するには

14 [保留] を押す。

空いている一番若いメモリ番号が3行目に表示されます。
メモリ番号を指定する場合は、メモリ番号をダイヤルボ
タンで押します。



※3桁・共通電話帳の場合

XFJ番号入力
000～799で指定 000

15 [決定] を押す。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、手順14で指定した
メモリ番号に登録されます。続けて登録するときは、手
順16へ進みます。

※3桁・共通電話帳の場合

XFJ番号 000
に登録されました
決定ボタンで
連続登録できます

16 [決定] を押す。

手順2の画面に戻ります。手順3～15を繰り返すと、
電話帳を続けて登録できます。

名称入力
■
[漢] 機能

6秒以内に操作を行わなかったときは、待機状態に戻ります。



ワンポイント

○既存のメモリ番号に上書き登録するには

- ①手順14で上書きしたいメモリ番号をダイヤルボタンで押し、**決定** を押す
- ②上下ボタンで「1：はい」を選択し、**決定** を押す

○個別電話帳を全件削除するには (P3-6)

○共通電話帳を全件削除するには (P3-20)

共通電話帳の全件削除は、「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機でのみ行えます。

●登録されている電話帳を確認するには

- ①電話帳を検索して、電話帳の一覧画面を表示する (P2-6 ~)
- ②上下ボタンで確認したい電話帳を選択し、**決定** を押す
- ③電話帳の詳細画面で内容を確認する

●登録されている電話帳を編集／削除するには

電話帳の一覧画面または詳細画面から操作します。ただし、共通電話帳の編集／削除は、「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機でのみ行えます。

<電話帳の一覧画面から編集／削除する>

- ①電話帳を検索して、電話帳の一覧画面を表示する (P2-6 ~)
- ②上下左右ボタンで確認したい電話帳を選択する
- ③**メニュー** を押す
- ④上下ボタンで「1：編集」または「2：削除」を選択し、**決定** を押す
または ① か ② を押します。
- ⑤編集する場合は、「電話帳を登録する」(P2-28)と同様の操作で内容を登録し直します。
- ⑥削除する場合は、上下ボタンで「1：はい」を選択し、**決定** を押します。

<電話帳の詳細画面から編集／削除する>

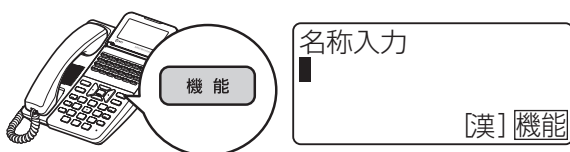
- ①電話帳を検索して、電話帳の一覧画面を表示する (P2-6 ~)
- ②上下左右ボタンで確認したい電話帳を選択し、**決定** を押す
- ③**メニュー** を押す
- ④上下ボタンで「3：編集」または「4：削除」を選択し、**決定** を押す
または ③ か ④ を押します。
- ⑤編集する場合は、「電話帳を登録する」(P2-28)と同様の操作で内容を登録し直します。
- ⑥削除する場合は、上下ボタンで「1：はい」を選択し、**決定** を押します。

文字を入力する

<例>電話帳の名称登録画面で「鈴木」と入力する場合

1 文字が入力できる画面で、**機能** を押して入力モードを切り替える。

ここでは「漢」と表示される漢字・かなモードで入力を行います。



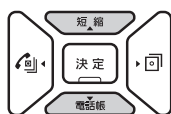
2 入力したい文字が割り当てられているボタンを押す。 「文字と機能の割り当て一覧表」を参照してください。 (P2-33)

ここでは次のように押します。

- ①「す」：**3** を3回押す
- ②カーソルを右に移動：右ボタンを1回押す
- ③「す」：**3** を3回押す
- ④「」：**✕** を1回押す
- ⑤「き」：**2** を2回押す



3 上下ボタンを押す。 変換候補が表示されます。



変換候補が複数あるときは、上下ボタンを押すごとに次の候補が表示されます。また、「す」や「すす」だけの変換候補を表示させたいときは、左右ボタンで変換候補を指定し、再度上下ボタンを押します。

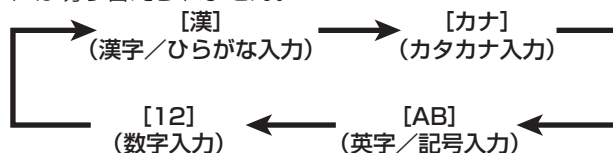
4 **決定** を押す。 漢字が確定されます。



ワンポイント

●入力モードを切り替えるには

文字入力中に **機能** を押すと、入力モードが切り替わります。ただし、フリガナ入力の場合は漢字・かなモードには切り替えられません。



●続けて同じダイヤルボタンの文字を入力するには 右ボタンを押してカーソルを右に移動します。

●入力した文字を消去するには

左右ボタンで消去する文字にカーソルを移動し、**クリア** を押します。カーソル位置に文字がないときは、カーソルの左側の文字が消去されます。

●全角カタカナを入力するには

漢字・かなモードでひらがなを入力して上下ボタンを押し、全角カタカナに変換します。



ワンポイント

●文字と機能の割り当て一覧表

1つのボタンに複数の文字や機能が割り当てられています。ボタンを繰り返し押すと文字が切り替わります。

ボタン	入力モード			
	漢字・かな（全角）	カナ	英字	数字
1 ¹	あいうえおあいうえお	アウエオアウエオ	操作無効	1
2 ²	かきくけこ	カキクコ	ABCabc	2
3 ³	さしすせそ	サシセソ	DEFdef	3
4 ⁴	たちつてとっ	チツテトツ	GHIghi	4
5 ⁵	なにぬねの	ナニヌノ	JKLjkl	5
6 ⁶	はひふへほ	ヒフヘホ	MNOmno	6
7 ⁷	まみむめも	マミムエ	PQRSpqrs	7
8 ⁸	やゆよやゆよ	ヤヨヤユ	TUVtuv	8
9 ⁹	らりるれろ	ラリルロ	WXYZwxyz	9
0 ⁰	わをんー	ワン-	操作無効	0
* [*]	入力行※1	°°	°°	*
# [#]	ー、。・！？@&#／：¥	@-#*	._()-#*	#
上下ボタン	入力中の文字に対する漢字変換候補を表示	操作無効		
左ボタン	入力行※1	変換範囲指定（左移動）	操作無効	
	決定行※2	カーソルを左に移動		
右ボタン	入力行※1	・変換範囲指定（右移動） ・未決定文字の確定	カーソルを右に移動 入力中は確定となる	
	決定行※2	カーソルを右に移動		
決定	選択された漢字変換候補を決定	決定		
クリア	1文字消去または漢字変換キャンセル	1文字消去		
	文字が1つもないときは、前の画面に戻る			

※1：ディスプレイの3行目。漢字・かなモードで入力中の文字や変換中の文字が表示されます。

※2：ディスプレイの2行目。確定された文字が表示されます。

着信を拒否するには

着信拒否は、以下の4種類があり、それぞれ用途に合わせて着信拒否の設定を選べます。

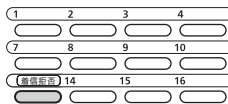
- 特定の電話番号からの着信を拒否する (▼下記)
電話番号が通知されている場合は、電話番号を共通電話帳の着信拒否が設定されているグループに登録して着信を拒否することができます。
- 非通知着信を拒否する (▼P3-33)
- 迷惑電話の着信を拒否する (オプション) (▼P3-31)
- 特定の国からの着信を拒否する (▼P3-32)

特定の電話番号からの着信を拒否する

通話中に相手の方の電話番号を登録する

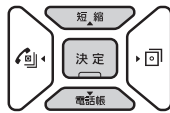
着信拒否を設定するには、あらかじめ「Web設定」でサービスボタン（着信拒否）を設定しておく必要があります。

- 1 外の方とお話中にサービスボタン（着信拒否）を押す。



着信拒否に登録しますか？
0:いいえ
1:はい

- 2 上下ボタンで「1:はい」を選択し、**決定**を押す。または **1** を押します。



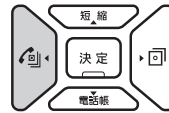
※3桁の場合

着信拒否
X呼び番号799
に登録しました

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、空いている一番大きいメモリ番号に、相手の方の電話番号が着信拒否登録されます。

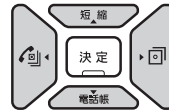
お話しが終わってから着信履歴で登録する

- 1 着信履歴ボタンを押し、着信履歴の一覧画面を表示する。



01 応通機営業
02 不031234XXXX
03 他11
04 NTT太郎

- 2 上下左右ボタンで目的の履歴を選択する。



01 応通機営業
02 不031234XXXX
03 他11
04 NTT太郎

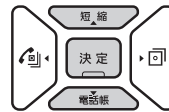
- 3 **メニュー**を押す。



1:電話帳登録
2:1件削除
3:全件削除
4:着信拒否グループ登録

- 4 上下ボタンで「4:着信拒否グループ登録」を選択し、**決定**を押す。

または **4** を押します。



着信拒否に登録しますか？
0:いいえ
1:はい

- 5 上下ボタンで「1:はい」を選択し、**決定**を押す。または **1** を押します。

※3桁の場合

着信拒否
X呼び番号799
に登録しました

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、空いている一番大きいメモリ番号に、相手の方の電話番号が着信拒否登録されます。



ワンポイント

●着信拒否登録を削除するには

電話帳の一覧画面または詳細画面から操作します。着信拒否は共通電話帳に登録されていますので着信拒否の登録削除は、「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機でのみ行えます。

<電話帳の一覧画面から削除する>

- ① 電話帳を検索して、電話帳の一覧画面を表示する
(P2-6 ~)
- ② 上下左右ボタンで確認したい電話帳を選択する
- ③ **メニュー** を押す
- ④ 上下ボタンで「2：削除」を選択し、**決定** を押す
または **2** を押します。

<電話帳の詳細画面から削除する>

- ① 電話帳を検索して、電話帳の一覧画面を表示する
(P2-6 ~)
- ② 上下左右ボタンで確認したい電話帳を選択し、**決定** を押す
- ③ **メニュー** を押す
- ④ 上下ボタンで「4：削除」を選択し、**決定** を押す
または **4** を押します。

●着信履歴から着信拒否の登録ができる電話機は

「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機で操作可能です。本商品のお買い求め時は、全ての内線電話機で操作可能です。

●通話中に相手の方の電話番号を表示させるには
(P2-48)

お知らせ

- 「お話しが終わってから、着信履歴で登録する」手順3でサービスボタン（着信拒否）を押しても登録できません。
- 着信拒否グループに登録した電話番号がすでに共通電話帳の他グループに登録されていた場合、着信拒否が動作しない場合がありますので、すでに登録済みの電話番号を削除してください。
- 以下の場合は、通話中にサービスボタン（着信拒否）を押しても登録できません。
 - ・ 電話をかけた場合
 - ・ 保留中
 - ・ 電話帳アクセス
 - ・ 留守応答の利用中
- 使用できる電話帳のメモリ番号は、工事者設定によって異なります。(P2-9)

電話を転送するには（外線へ転送）

内線電話機ごとに転送先電話番号を登録しておき、かかってきた電話を自動的に転送させることができます（電話機起動転送）。電話機起動転送をセット／解除するには、あらかじめ「Web設定」でサービスボタン（転送電話）を設定しておく必要があります。

転送電話の転送先リストを登録する

転送先電話番号を3か所まで登録できます。登録は、内線電話機ごとにメニュー設定で行えます。

1 **メニュー** を押す。



0:お客様設置
1:電話機毎設定
2:システム一括設定

2 下ボタンで「1:電話機毎設定」を選択し、**決定** を押す。

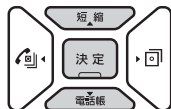
または **1** を押します。



1:電話帳
2:外線発信
3:外線着信
4:留守/転送

3 上下ボタンで「4:留守/転送」を選択し、**決定** を押す。

または **4** を押します。



1:転送先リスト登録
2:留守が「オン」設定
3:圏外時サービス設定

4 **決定** を押す。

または **1** を押します。

転送先電話番号登録
1:電話番号1
2:電話番号2
3:電話番号3

5 上下ボタンで登録先を選択し、**決定** を押す。

または **1** ~ **3** を押します。

電話番号入力:1

6 転送先の電話番号をダイヤルボタンで押す。



電話番号入力:1
031234XXXX

電話番号を押し間違えたときは、**クリア** を押します。

7 **決定** を押す。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、転送先電話番号が登録されます。続けて登録が行えます。

8 **クリア** を長く押す。



11月14日(木) 午後 3:05
10



ワンポイント

- 転送先リストの登録内容を消去するには
手順5で内容を消去する転送先を表示させ、**クリア** を押し
て電話番号を消去して **決定** を押します。
- 転送電話機能の設定を変更するには (P2-38)



お知らせ

- 転送先で電話に出たときに、一定時間無音の状態が続く場合は、電話が切れることがあります。

転送電話の対象とする回線を設定する

電話がかかってきたときに転送電話を起動させる回線を設定します。

1 内線ボタンを押す。

「ツーツー…」という音を確認してください。



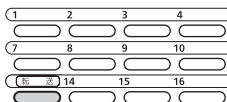
11月14日(木) 午後 3:05
内線

2 決定を押す。

「ツツツ…」という音を確認してください。



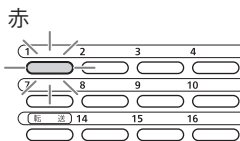
3 サービスボタン（転送）を押す。



転送電話回線設定

4 転送電話の対象とする外線ボタンを押す。

外線ランプが点灯します。設定を解除するときは、もう一度外線ボタンを押して外線ランプを消灯させます。複数の回線を設定するときは、続けて外線ボタンを押します。



5 決定を押す。

「ピーピー」という確認音が聞こえ、転送電話対象回線が設定されます。

6 スピーカボタンを押す。



11月14日(木) 午後 3:05
10

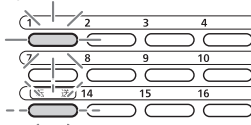
転送電話をセットする

外出時や退社時に内線電話機で転送をセットします。

1 サービスボタン（転送）を押す。

転送電話がセットされます。

赤・2回消灯
(転送電話対象回線の外線ランプ)



赤(例：サービスボタン(転送))

2 電話機の基本使用方法

電話を転送するには(外線へ転送)



ワンポイント

● 転送を解除するには

セット時と同様に、サービスボタン（転送）を押します。転送が解除され、サービスボタン（転送）ランプと転送電話対象回線ランプが消灯します。

○ 転送電話機能の設定を変更するには (P2-38)



お知らせ

● 手順4で、すでに留守応答の対象回線に設定されている外線ボタンを押しても、転送電話対象回線になりません。



▶ 転送電話ができないときは? (P6-4)

■ 転送電話機能の設定を変更する

必要に応じて、転送電話に関するさまざまな設定を変更することができます。設定は、メニュー設定の「システム一括設定」で行います。

概要	ご利用のヒント	参照ページ
転送開始のタイミングの設定 着信から転送開始するまでの秒数を設定します。	0～255秒の間で設定できます。 お買い求め時は、「5秒」（約5秒間着信音を鳴らし、その間に応答しなかった場合にのみ転送電話を開始する「未応答転送」）に設定されています。「0秒」に設定すると、着信音を鳴らさず、着信と同時に転送を開始します（無条件転送）。	留守／転送開始タイム (P3-28)
転送先へ転送方式の設定 転送先リストに登録されている電話番号（最大3か所）への発信を同時に行うか、リストの登録順に順次行うかを設定します。	お買い求め時は、「順次転送」に設定されています。 「同時転送」が行われると、一度に複数の回線を使用することになります。たとえば、転送先リストに3か所登録されている場合には、3chを同時に使用します。回線数をご確認の上ご使用ください。	外線転送方式設定 (P3-28)
順次転送の時間設定 応答しなかった場合、次の転送先に転送開始するまでの秒数を設定します。	6～100秒で設定できます。 お買い求め時は、30秒で次の転送先を呼び出すように設定されています。	外線転送先呼出タイム (P3-28)
転送元の呼び出しの設定 転送後の、転送元の呼び出しについて設定します。	お買い求め時は、「設定しない」に設定されています。転送電話の起動と同時に転送元の呼び出しを停止します。 「設定する」に変更すると、転送先で応答するか、電話をかけてきた方が呼び出しをやめるまで転送元への呼び出しが継続します。	転送元呼出継続設定 (P3-29)

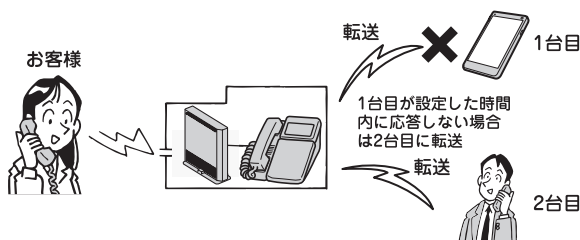


ワンポイント

● 順次転送と同時転送の違いは

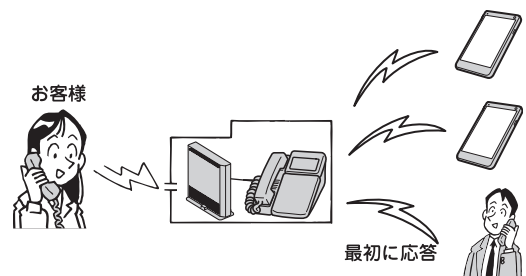
< 順次転送 >

かかってきた電話を、携帯電話等の電話に順次転送します。1台目の電話が設定した時間内に応答しなかった場合は、2台目の電話に自動的に転送します。



< 同時転送 >

かかってきた電話を、携帯電話等の電話に同時に最大3台まで転送します。最初に応答した電話につながります。



その他の転送電話の活用

P2-36～P2-38で説明した転送電話の他に、「電話帳グループ転送」の転送機能が用意されています。転送機能を利用する場合は、使い勝手に合わせた詳細設定の変更が行えます。

■ 特定の相手先からの電話を転送する（電話帳グループ転送）

特定の電話帳グループに登録されている相手からの電話だけを転送することができます。次のような準備が必要です。

- ① 転送する電話番号を転送先リストに登録する
「転送先リスト登録」(P3-28)
- ② 転送用のグループに登録し、①で設定した電話番号に転送用のグループを設定する
「グループ着信先設定」(P3-19)
- ③ 必要に応じて転送電話の設定を変更する
「転送電話機能の設定を変更する」(P2-38)



ワンポイント

- 転送先リストに登録できる件数は
電話機ごとの転送先リスト (P3-11) は最大3件、共通の電話帳グループ転送の転送先リスト (P3-28) は20個のリストにそれぞれ最大3件登録できます。



お知らせ

- 回線の空き状況により転送できない場合があります。
- かかってきた電話が携帯電話に転送された場合、圏外やドライブモード中だった場合でも、かけてきた方にその旨をお知らせするガイダンスは流れないことがあります。

電話を転送するには（内線へ転送）

離席中等不在にしているとき、自分にかかってきた電話を、一時的に他の内線電話機に転送できます。不在着信転送を取りやめるときは、解除の操作を行います。

不在着信転送を登録する

1 **メニュー** を押す。



0:お客様設置
1:電話機毎設定
2:システム一括設定

2 下ボタンで「1:電話機毎設定」を選択し、**決定** を押す。

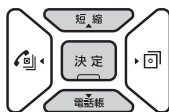
または **1** を押します。



1:電話帳
2:外線発信
3:外線着信
4:留守/転送

3 上下ボタンで「7:内線」を選択し、**決定** を押す。

または **7** を押します。



1:内線ダイヤル設定
2:内線呼出音設定
3:不在着信転送設定
4:内線グループ一斉鳴動

4 上下ボタンで「3:不在着信転送設定」を選択し、**決定** を押す。

または **3** を押します。

不在着信転送設定
転送先内線番号?

5 転送先の内線番号をダイヤルボタンで押す。



不在着信転送設定
転送先内線番号?

11

内線番号を押し間違えたときは、**クリア** を押します。

6 **決定** を押す。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、不在着信転送が登録されます。

7 **クリア** を長く押す。



11月14日(木) 午後 3:05
10
不在着信転送

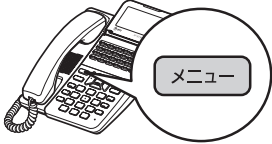


お知らせ

- 外線着信はダイヤルイン（個別着信）のみ転送することができます。
- ダイヤルイングループボタン（NK/NKG）へかかってきた電話を、不在着信転送することはできません。

不在着信転送を解除する

1 **メニュー** を押す。



0:お客様設置
1:電話機毎設定
2:システム一括設定

2 下ボタンで「1:電話機毎設定」を選択し、**決定** を押す。

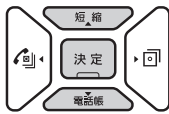
または **1** を押します。



1:電話帳
2:外線発信
3:外線着信
4:留守/転送

3 上下ボタンで「7:内線」を選択し、**決定** を押す。

または **7** を押します。



1:内線コントロール設定
2:内線呼出音設定
3:不在着信転送設定
4:内線グループ一斉鳴動

4 上下ボタンで「3:不在着信転送設定」を選択し、**決定** を押す。

または **3** を押します。

不在着信転送設定
転送先内線番号? 11

5 **クリア** を押す。



不在着信転送設定
転送先内線番号?

6 **決定** を押す。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、不在着信転送が解除されます。

7 **クリア** を長く押す。

11月14日(木) 午後 3:05
10



ワンポイント

●不在時の表示について

不在着信転送で着信したときは、呼び出した方と、転送元の内線番号が同時に表示されます。

例：内線12 → 内線10 → 内線11
 || ||

(呼び出し) (不在着信転送)

<内線12での表示>

(呼び出した方)

11月14日(木) 午後 3:05
11
転送元
10

<内線11での表示>

(転送先)

11月14日(木) 午後 3:05
12
転送元
10



お知らせ

●留守応答または転送電話が設定されている場合は、不在着信転送は行われません。

留守応答を利用するには

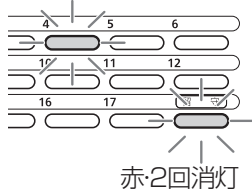
外出しているときや席を外しているときにかかってきた電話に対して応答ガイダンスを自動的に流すことができます。お買い求め時、留守応答のサービスボタンが回線ボタンの18に設定されています。

留守応答をセットする

外出時や退社時に留守応答をセットします。

- 1 サービスボタン（留守）を押す。
留守応答がセットされます。

赤・2回消灯(例：留守応答
対象回線の外線ランプ)

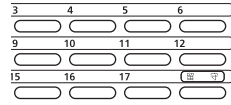


11月14日(木) 午後 3:05
10
留守設定中

留守応答を解除する

留守応答を解除します。

- 1 留守応答が設定されている電話機で、サービスボタン（留守）を押す。
留守応答が解除されます。



11月14日(木) 午後 3:05
10



ワンポイント

- サービスボタン（留守）について
留守応答のサービスボタンは、お買い求め時に回線ボタンの18に設定されています。



お知らせ

- 留守応答の対象となる回線に着信しているときにサービスボタン（留守）を押すと、留守応答します。

■留守応答機能の設定を変更する

必要に応じて、留守応答に関するさまざまな設定を変更することができます。設定は、メニュー設定やWeb設定で行います。

概要	ご利用のヒント	参照ページ
留守応答開始のタイミングの設定 着信から留守応答開始までの秒数を設定します。	0～255秒の間で設定できます。 お買い求め時は、「5秒」（約5秒間着信音を鳴らし、その間に応答しなかった場合にのみ留守応答を開始する）に設定されています。「0秒」に設定すると、着信音を鳴らさず、着信と同時に留守応答します。	留守／転送開始タイム (P3-28)
留守ガイダンスの設定 留守応答のガイダンスを設定します。	留守ガイダンスは、「出荷時設定」または「ユーザガイダンス」を選択できます。内容は以下のとおりで、応答ガイダンスを流したあと、電話を切ります。 <出荷時設定> 「ただいま留守しております。 恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。」 <ユーザガイダンス> Web設定によって、自分で作成した応答ガイダンスを流すことができます。	留守ガイダンス設定 (P3-11、P6-9)

自動の留守応答

■ システムモードに応じて自動的にシステム留守応答を利用する

システムモード（昼／夜／休憩／休日）に応じて、「Web設定」でシステム留守応答を利用することができます。
（☞P3-29、P6-9）

システム留守ガイダンスの設定により、「出荷時設定」と「ユーザガイダンス」が選択でき、応答ガイダンスを流したあと、電話を切ります。

システムモードの種類	「出荷時設定」の応答ガイダンス （お買い求め時）	「ユーザガイダンス」の応答ガイダンス
昼・休憩モード	☞ ただいま席を外しております。 恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。	Web設定によってシステムモード（昼・休憩／夜／休日）ごとに、自分で作成した応答ガイダンスを流すことができます。
夜モード	☞ 本日の業務は終了しました。 恐れ入りますが、改めておかけ直してください。	
休日モード	☞ 本日は定休日です。 恐れ入りますが、改めておかけ直してください。	

ひかり電話サービスの対応状況

フレッツ光ネクストをお使いの場合、SmartNetcommunityαZXII Slimに接続された内線電話機では、ひかり電話／ひかり電話A（エース）／ひかり電話オフィスタ입／ひかり電話オフィスA（エース）を活用したさまざまな機能をご利用いただくことができます。また、付加サービスをご利用になるには、当社との利用契約が必要な場合があります。

■ ひかり電話／ひかり電話A（エース）／ひかり電話オフィスタ입／ひかり電話オフィスA（エース）のサービスを利用した機能（2026年2月現在）

サービス名	機能	利用の可／否	参照先
複数チャンネル	ひかり電話／ひかり電話A（エース）1契約で同時に2chの通話ができるサービスです。 ひかり電話オフィスタ입は、同時に最大8ch（基本契約3ch+追加5ch）、ひかり電話オフィスA（エース）は、同時に最大300ch（基本契約1ch+追加299ch）の通話が可能です。	○※1	—
追加番号	ひかり電話／ひかり電話A（エース）1契約で最大5電話番号（契約者番号1番号+追加番号4番号）の利用が可能となるサービスです。 ひかり電話オフィスタ입は、最大32電話番号（契約番号1番号+追加番号31番号）、ひかり電話オフィスA（エース）は、最大7000番号までの電話番号（契約番号1番号+追加番号6999番号）の利用が可能です。	○	—
ナンバー・ディスプレイ	電話をかけてきた相手の方の電話番号がディスプレイに表示されます。	○	■P2-47
ナンバー・リクエスト	電話番号を「通知しない」でかけてきた相手の方に、電話番号を通知してかけ直してくださるよう、音声で伝えます。	○	—
ボイスワープ	かかってきた電話を別の電話に転送するだけでなく、外から転送の開始／停止を設定したり、転送先を変更することができます。	○	■P2-50
迷惑電話おことわりサービス	迷惑電話がかかってきた直後に、電話機からの登録操作を行うことにより、以降、同じ番号からの着信に対してメッセージで自動応答するサービスです。	○	—
FAXお知らせメール	ファクスがあったことを、あらかじめ指定したパソコンや携帯電話のメールへお知らせし、パソコンからファクス内容を確認することができるサービスです。	○※2	—
着信お知らせメール	電話があったことを、あらかじめ指定したパソコンや携帯電話のメールで確認することができるサービスです。	○	—
フリーアクセス・ひかりワイド	「0120」または「0800」で始まる電話番号にかかってきた通話料を、着信側でご負担いただけるサービスです。	○	—
特定番号通知サービス	ナンバー・ディスプレイをご利用の方に対して、ひかり電話オフィスタ입／ひかり電話オフィスA（エース）の電話番号ではなく、ご契約のフリーアクセス・ひかりワイド番号を通知するサービスです。	○	—
テレビ電話	ひかり電話ご契約者間でテレビ電話ができる機能です。	×	—
一括転送	利用中の電話番号を一括で登録済みの転送先へ着信させることができるサービスです。	○※3	—

サービス名	機能	利用の可／否	参照先
故障回復通知機能	一括転送機能のオプションとして、災害や故障等による異常の発生および回復を自動的に検知し、メールにて通知および自動的に一括転送機能を起動することができるサービスです。	○※3	—
グループダイヤリング	事業所番号と内線番号をダイヤルすることで、立地の異なる事業所間での内線通話をご利用になれます。	×	—

※1 ひかり電話オフィスA（エース）をご契約された場合でも、ご利用いただける回線数は、αZX II Slimでは12chまでです

※2 ひかり電話／ひかり電話A（エース）／ひかり電話オフィスタイプのみ対応

※3 ひかり電話オフィスA（エース）のみ対応

ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用する

ナンバー・ディスプレイ（発信電話番号表示サービス）とは、かけてきた相手の方の電話番号を、応答する前に電話機等のディスプレイに表示するサービスです。

■ ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用した便利な機能

ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用すると、さまざまな機能を活用できます。

かけてきた方にこちらからかけ直す (着信履歴発信)

電話をかけてきた相手の方の電話番号（最大 32 桁）が、着信した内線電話機ごとに最新の 52 件分が保存されます（着信履歴）。応答しなかったときでも着信履歴は記録され、この電話番号を使って簡単な操作で電話をかけ直すことができます。（P2-12）

かけてきた方の電話番号を電話帳に登録する (着信履歴)

着信履歴として記録されている電話番号を、電話帳に登録することができます。（P2-13）

かけてきた方の電話番号によって着信を拒否する (着信拒否)

「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機で、かけてきた方の電話番号により着信を拒否する発信者着信拒否機能が利用できます。発信者着信拒否は、かけてきた電話番号が共通電話帳と一致したときに有効となるので、メニュー設定または Web 設定により、次の設定を行ってください。

相手の方の電話番号を共通電話帳の着信拒否グループ（お買い求め時はグループ (9: 着信拒否) に着信拒否が設定されています。）に登録する（P2-28、P3-19）

登録は、通話中に相手の方の電話番号を登録する、またはお話しが終わってから、その着信履歴を登録することができます。（P2-34）

非通知の方の着信を拒否する (非通知着信拒否) (P3-33) 迷惑電話の着信を拒否する (P3-31) 特定の国からの着信を拒否する (P3-32)

かけてきた方の電話番号によって着信先 や着信方法を変える (発番号ダイヤルイン)

かけてきた方の電話番号により特定の内線電話機に着信したり、他の電話機に転送する等の発番号ダイヤルイン機能が利用できます。発番号ダイヤルインは、かけてきた方の電話番号が共通電話帳と一致したときに有効となるので、メニュー設定または Web 設定により、次の設定を行ってください。

- ①「グループ着信先設定」(P3-19) を行ってグループごとの着信先や着信方法を設定する
- ②相手の方の電話番号を共通電話帳に登録する際に、目的のグループに登録する（P2-28、P3-19）

かけてきた方の電話番号によって着信音 を変える (電話帳鳴り分け)

着信音を聞くだけで、どの電話帳グループに登録されている方からかかってきたのかを識別できます。着信音で識別できるようにするには、あらかじめ相手の方の電話番号を「グループ毎鳴動設定」(P3-7) した電話帳グループに登録しておく必要があります。

かけてきた方の電話番号によって着信ランプの点滅色を変える

着信ランプの点滅色で、どの電話帳グループに登録されている方からかかってきたのかを識別できます。着信ランプで識別できるようにするには、あらかじめ相手の方の電話番号を「グループ着信ランプ設定」(P3-7) した電話帳グループに登録しておく必要があります。

■ 相手の方の電話番号を確認する

着信中に相手の方の電話番号を表示させる

機能ボタンと着信中の外線ボタンを押すと、相手の方の電話番号がディスプレイに表示されます。電話帳に登録されている電話番号からの着信時には、電話帳に登録されている名称も表示されます。

電話帳に登録されている名称



11月14日(木) 午後 3:05
031234XXXX

通機営業 031234XXXX

通話中に相手の方の電話番号を表示させる

通話中に **クリア** を押すと、相手の方の電話番号が表示されます。電話帳に登録されている電話番号からの着信時には、電話帳に登録されている名称も表示されます。通話中表示に戻るときは、再度 **クリア** を押します。



ワンポイント

● 相手の方の電話番号が表示される条件と契約について

着信側が利用している回線の種類や契約内容によって、相手の方の電話番号が表示されるかどうかが決まります。ひかり電話オフィスタイプをお使いの場合は、当社とのナンバー・ディスプレイの利用契約が必要です。ひかり電話オフィスA（エース）をお使いの場合は、基本サービスにより相手の方の電話番号の表示が可能です。



ワンポイント

●相手の方の電話番号が表示されないときは

相手の方の操作や契約等によって電話番号が表示されない場合には、その理由ごとに次のように表示します。

ディスプレイ	理由
公衆電話	公衆電話から電話がかかってきたときに表示します。
非通知	かけてきた相手の方が、電話番号を表示しない操作または表示しない契約になっているときに表示します。
表示圏外	「ナンバー・ディスプレイ」や「発信者番号表示」を提供していないエリアから電話がかかってきたとき、またはサービスが競合しているため、電話番号を通知できない場合に表示します。

●発信者番号通知サービスを利用すると

自分の電話番号を相手の方に通知することができます。発信者番号通知サービスの契約種別には、「通常通知」、「通常非通知」があります。

●自分の電話番号の通知する／通知しないを指定するには

電話番号の前に「184（通知しない）」または「186（通知する）」を付加してダイヤルすると、自分の電話番号を通知する／通知しないを指定することができます。

発信者番号通知サービスのご契約の内容により、電話をかけるときの操作は以下のように異なります。

		自分の電話番号を通知するとき	自分の電話番号を通知しないとき
契約内容	通常通知 (通話ごと非通知)	相手の方の電話番号	① ⑧ ④ + 相手の方の電話番号
	通常非通知 (回線ごと非通知)	① ⑧ ⑥ + 相手の方の電話番号	相手の方の電話番号



お知らせ

- 同時に複数の着信があると、ディスプレイで確認した電話番号と異なる相手に応答することがあります。
- ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示をご利用中は、着信音が聞こえるまでに時間がかかることがあります。

ボイスワープを利用する

ボイスワープは、かかってきた電話をあらかじめ登録した電話番号に転送するサービスです。設定により、次のような転送が行えます。

- 転送元の電話を呼び出さずに即時に転送する（無条件転送）
- 転送元を呼び出し、応答しないときにだけ転送する（無応答時転送）
- お話し中のときにだけ転送する（話中時転送）

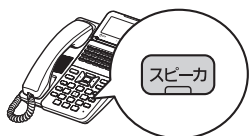
ボイスワープサービスは、ひかり電話でご利用になれます。このサービスを利用するためには、別途当社との利用契約が必要です。ボイスワープの詳細については、局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

ここでは、転送先電話番号の登録操作と、転送の開始／停止操作について説明します。

■ 転送先電話番号を登録する

転送先電話番号を1つだけ登録するときは、次のように操作します。（ボイスワープをご契約いただいている電話番号を通知番号に設定している場合）

- 1 外線ランプが消えていることを確認して外線ボタンを押し、**①** **④** **②** をダイヤルする。
以降は、ガイダンスに従って操作してください。
- 2 **②** をダイヤルする。
- 3 転送先電話番号に続けて **⑤** をダイヤルする。
- 4 入力した電話番号を確認して **①** をダイヤルする。
- 5 スピーカボタンを押す。
スピーカランプ、外線ランプが消えます。



■ ボイスワープの転送を開始／停止する

サービス番号をダイヤルボタンで押して、転送を開始／停止します。開始のサービス番号は、設定したい転送方法によって異なります。（ボイスワープをご契約いただいている電話番号を通知番号に設定している場合）

- 1 外線ランプが消えていることを確認して外線ボタンを押し、**①** **④** **②** をダイヤルする。
以降は、ガイダンスに従って操作してください。
- 2 次の番号をダイヤルする。
転送を開始する： **①**（続けて手順3の操作を行います）
転送を解除する： **④**（手順4に進みます）
- 3 転送条件を、次のうちから選んでダイヤルする。
無条件転送を設定する： **①**
無応答時転送を設定する： **②**
話中時転送を設定する： **③**
無応答時と話中時転送を設定する： **④**
- 4 スピーカボタンを押す。
スピーカランプ、外線ランプが消えます。



お知らせ

- お客様のご利用状況により、ガイダンス・操作が異なる場合があります。詳しくは、当社の営業所等にお問い合わせください。
- ボイスワープの設定は、設定完了したことをガイダンス内でお知らせします。必ず設定が完了したことを確認の上、通話をお切りください。ガイダンス聴取前に切断すると、設定が完了しない場合があります。
- 手順1で、プリセクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- 転送先電話番号は、交換センタに登録されるので、転送サービスをセット中に停電になっても、電話は転送されます。

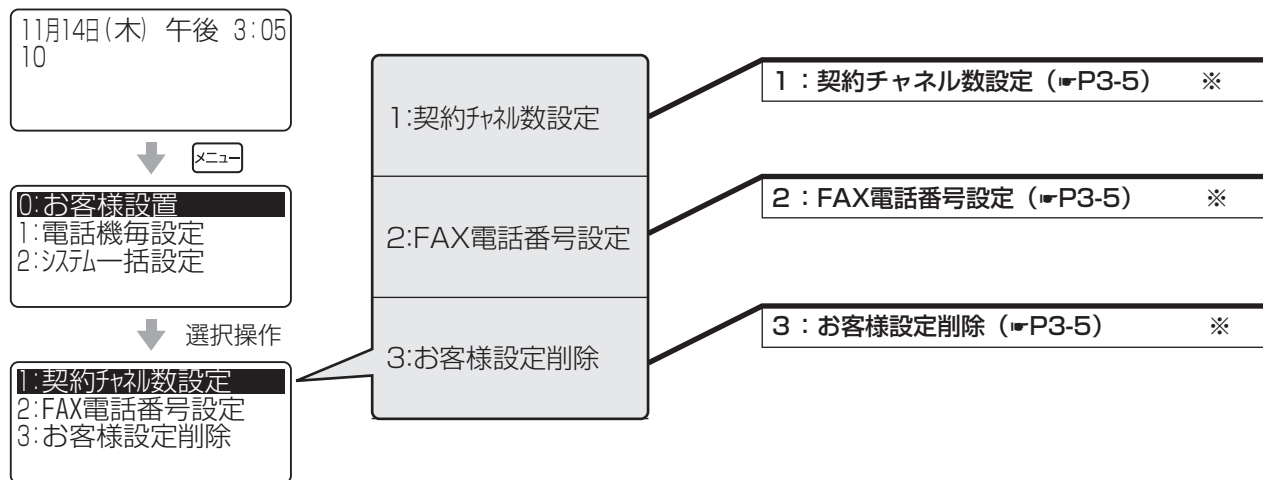
電話機能の設定

3

内線電話機を使って登録・設定するには (メニュー設定)	3-2
電話機能の設定をするには (Web設定)	3-30

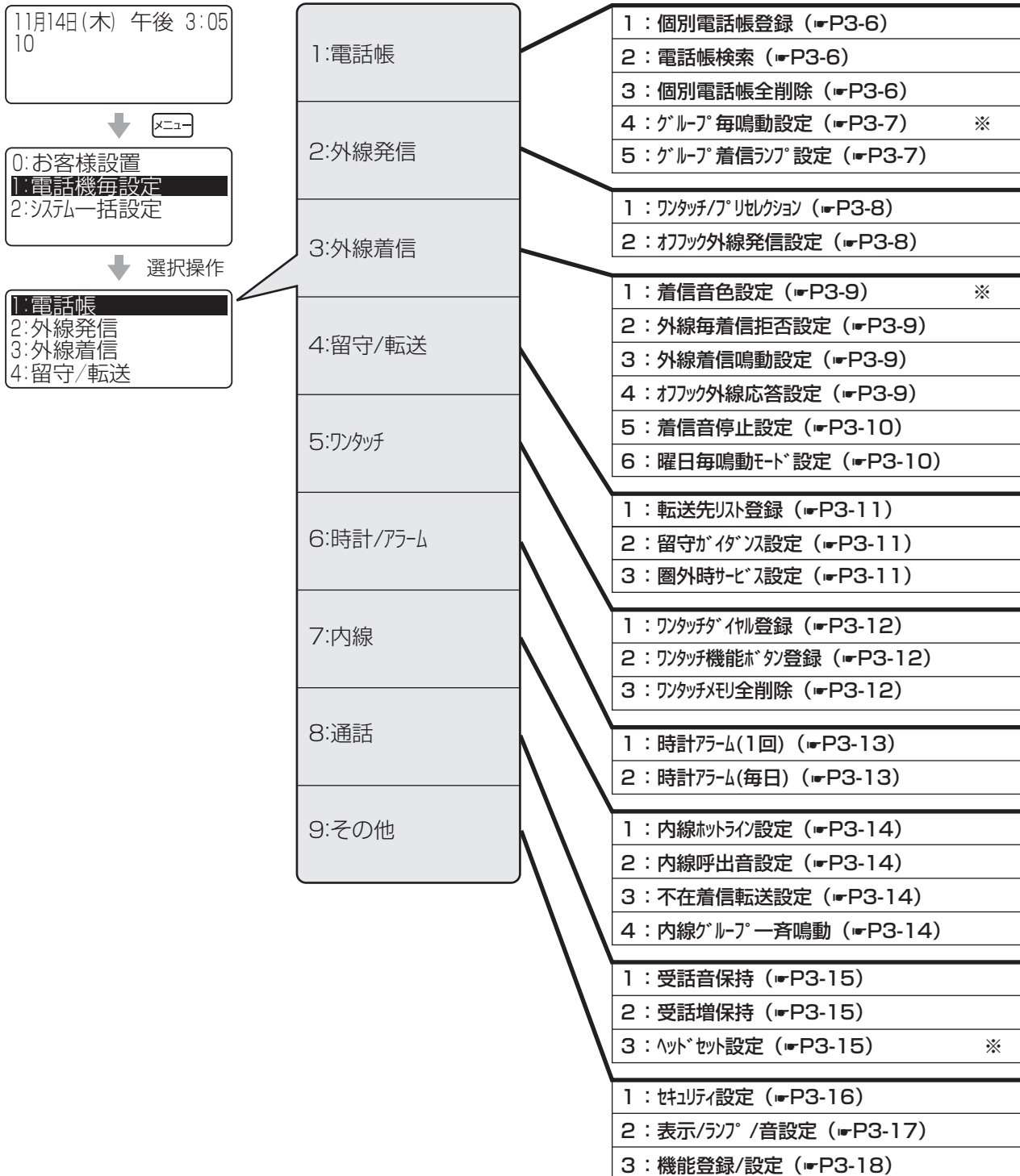
内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

「0：お客様設置」は、ご利用の前に設定する項目です。（☞P3-5）



※ 外線通話中は登録・設定が行えません。

「1：電話機毎設定」から分岐するメニューは、内線電話機ごとの項目です。



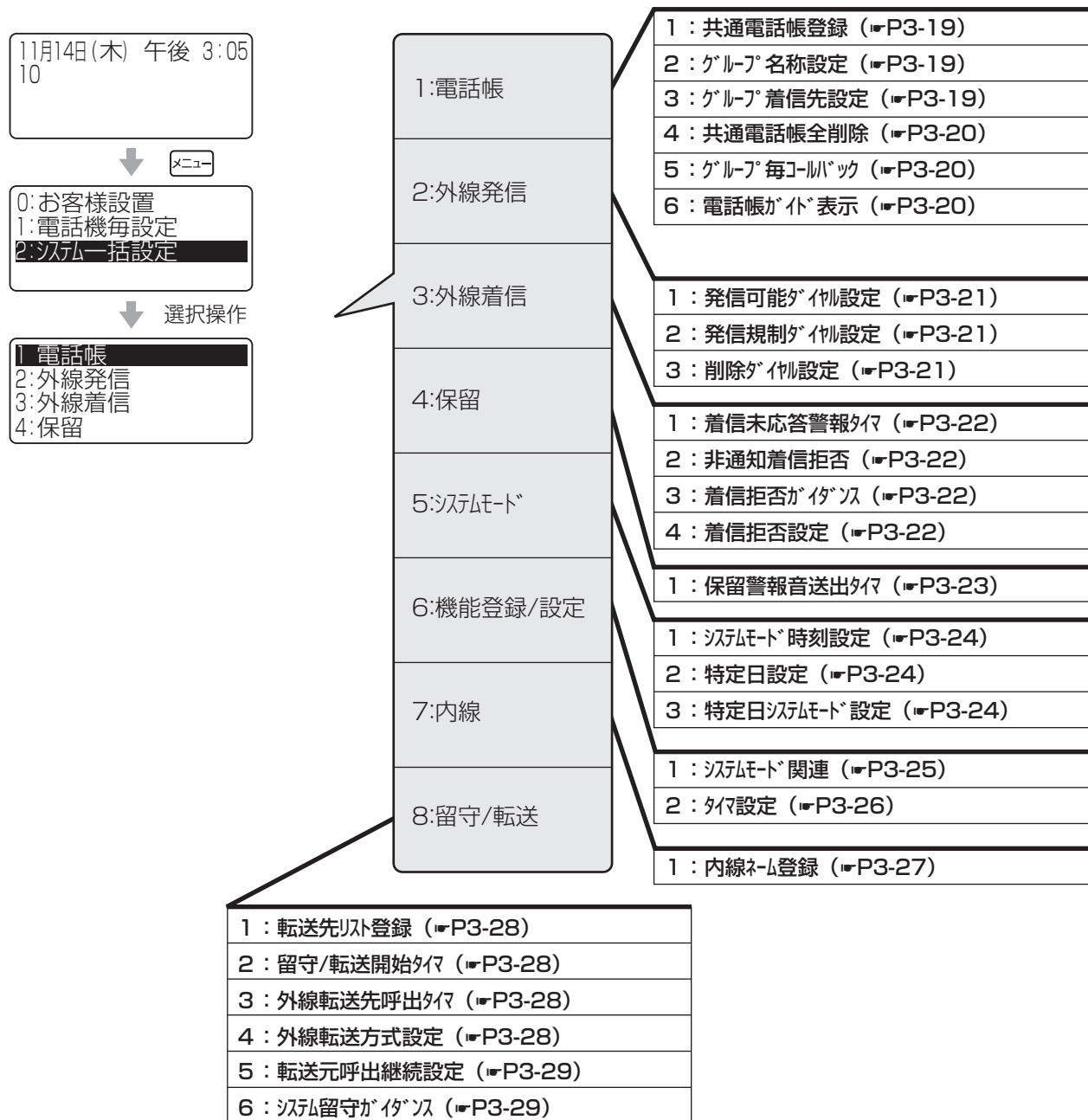
3 電話機能の設定

内線電話機を使って登録・設定をするには(メニュー設定)

※ 外線通話中は登録・設定が行えません。

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

「2：システム一括設定」から分岐するメニューは、システム全体に関する項目です。
「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機でのみ行えるメニュー設定です。



お客様設置

最初にお客様が行うメニュー設定（自動設定）です。
項目を選択して目的のメニュー項目画面を表示させます。



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
契約チャネル数設定 (01) 契約チャネル数設定 チャネル数(1-4)?	契約チャネル数を設定する。	①契約チャネルの数を入力する ② 決定 を押す
FAX電話番号設定 (02) FAX電話番号設定 1: FAX1 2: FAX2	電話機ポートに接続しているFAXの電話番号を設定する。	①FAX (1、2) を選択する ②FAXの電話番号を入力する ③ 決定 を押す
お客様設定削除 (03) お客様設定削除 削除しない 削除する	お客様設置の設定情報をすべて削除する。	①「削除する」を選択し、 決定 を押す ② 決定 を押す ③10秒後に再起動する ※本商品前面の再起動ボタン（P1-8）を押して、再起動してください。

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

電話機毎設定

内線電話機ごとに行うメニュー設定です。項目を選択して目的のメニュー項目画面を表示させます。メニューの流れについては、内線電話機メニュー（P3-3）を参照してください。



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
個別電話帳登録 (① ① ①) 名称入力 [漢] 機能	内線電話機ごとに使用する電話帳を登録する。	①名称を入力し、 決定 を押す ②必要に応じてフリガナを変更し、 決定 を押す ③「(未登録)」を選択し、 決定 を押す ④電話番号を入力し、 決定 を押す ⑤アイコンを選択し、 決定 を押す ⑥複数の電話番号を登録する場合は「(未登録)」を選択し、 決定 を押す（登録しない場合は手順⑧に進む） ⑦手順④～⑤を行う ⑧「GR 指定なし」を選択し、 決定 を押す ⑨グループを選択し、 決定 を押す ⑩ 保留 を押す ⑪必要に応じてメモリ番号を入力し、 決定 を押す ※電話番号登録の詳細（P2-28）
電話帳検索 (① ① ②) 電話帳検索 1: フリガナ検索 2: XEJ番号検索 3: グループ検索	検索方法を選択して、電話帳を検索する。	<フリガナ検索する場合> ①検索方法（「1: フリガナ検索」）を選択し、 決定 を押す ②フリガナを入力し、上下ボタンを押す ③上下左右ボタンで目的の電話帳を選択し、 決定 を押す ④左右ボタンで電話番号を選択する ※電話帳検索の詳細（P2-6～）
個別電話帳全削除 (① ① ③) 個別電話帳全削除 削除しない 削除する	操作中の内線電話機の個別電話帳をすべて削除する。	①「削除する」を選択し、 決定 を押す ② 決定 を押す

：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
グループ毎鳴動設定 (①①④) グループ毎鳴動設定 0 指定なし 1 グループ1 2 グループ2	トーンまたはメロディは、8種類から選択できる。	<特定の音色を設定しない場合> ①グループ（または「0 指定なし」）を選択する ②「0：設定しない」を選択する <トーンを設定する場合> ①グループ（または「0 指定なし」）を選択する ②「1：トーン」を選択する ③音色（1～8）を選択する <メロディを設定する場合> ①グループ（または「0 指定なし」）を選択する ②「2：メロディ」を選択する ③メロディを選択する
グループ着信ランプ設定 (①①⑤) グループ着信ランプ設定 0 指定なし 1 グループ1 2 グループ2	電話帳グループ（およびグループ分けしない「指定なし」の電話帳）ごとに着信ランプの点滅色を設定する。7種類の色、または7色に点滅する「レインボー」から選択できる。	①グループ（または「0 指定なし」）を選択する ②点滅色（赤色）を選択する



ワンポイント

- 内蔵メロディは
「グリーンスリープス」、「峠の我が家」、「カノン」、「春の歌」、「主よ人の望みの喜びよ」、「メヌエット」、「華麗なる大円舞曲」、「ハンガリア舞曲第5番」の8種類です。
- メロディの選択操作時には
上下ボタンで曲を選択するごとにメロディがスピーカから流れます。

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
ワンタッチ/プリセクション (① ② ①) ワンタッチ/プリセクション選択 0:プリセクション捕捉 1:ワンタッチ捕捉	外線/内線ボタンを押すだけで回線を捕捉するワンタッチ捕捉、または外線/内線ボタンのあとオフックが必要なプリセクション捕捉のどちらにするかを設定する。	①番号を選択する ② …プリセクション捕捉 ① …ワンタッチ捕捉
オフック外線発信設定 (① ② ②) オフック外線発信設定 0:設定しない 1:設定する	オフックで、使用可能な外線を空いている一番大きい番号から捕捉する、または設定しない（内線捕捉）のどちらにするかを設定する。	①番号を選択する ② …設定しない ① …設定する

0:お客様設置
 1:電話機毎設定
 2:システム一括設定

1:電話帳
 2:外線発信
 3:外線着信
 4:留守/転送

1:着信音色設定
 2:外線毎着信拒否設定
 3:外線着信鳴動設定
 4:オフック外線応答設定
 5:着信音停止設定
 6:曜日毎鳴動モード設定

：お買い求め時の設定

メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
着信音色設定 (① ③ ①) 着信音色設定 内/外線ボタンを押下してください	外線/内線の着信音を設定する。トーンは、8種類から選択できる。メロディを設定する場合は、8種類の内蔵メロディ (P3-7) から選択できる。	<トーンを設定する場合> ①外線/内線ボタンを押す ②「1:トーン」を選択する ③音色 (外線: トーン1、内線: トーン2) を選択する <メロディを設定する場合> ①外線/内線ボタンを押す ②「2:メロディ」を選択する ③メロディを選択する
外線毎着信拒否設定 (① ③ ②) 外線毎着信拒否設定 外線ボタンを押下してください	ダイヤルイングループボタン (NK/NKG) を、一時的に着信拒否する。	①外線ボタンを押す ②番号を選択する ① …設定しない ① …設定する
外線着信鳴動設定 (① ③ ③) 外線着信鳴動設定 0:昼モード 1:夜モード 2:休憩モード	システムモード「昼」/「夜」/「休憩」/「休日」別に、外線着信音を鳴らすかどうかを設定する。	①設定するモードを選択する ②外線ボタンを押す ③番号を選択する ① …鳴動しない ① …鳴動する ※電話機が接続されている場合は、「1:鳴動する」に自動で設定されます。
オフック外線応答設定 (① ③ ④) オフック外線応答設定 0:設定しない 1:設定する	ハンドセットを取りあげるかスピーカボタンを押すだけで外線に応答する機能の利用を設定する。	①番号を選択する ① …設定しない ① …設定する ※電話機が接続されている場合は、「1:設定する」に自動で設定されます。

(次ページへつづく)



ワンポイント

●メロディの選択操作時には (P3-7)

内線電話機を使って登録・設定するには（メニュー設定）

：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
着信音停止設定 (①③⑤) 着信音停止設定 0:内線着信音停止 1:外線着信音停止	外線／内線の着信音を鳴らさないようにする。 ※外線個別着信は対象外です。	①設定する項目を選択する ②番号を選択する ① …設定しない ① …設定する
曜日毎鳴動モード設定 (①③⑥) 曜日毎鳴動モード設定 0:毎日 1:月曜 2:火曜	曜日別に鳴動動作のタイムテーブル（最大8つ）を設定する。 ※鳴動動作は外線着信鳴動設定に従います。たとえば「昼モード」が「鳴動しない」の場合、本設定で「昼」を設定した時間帯は外線着信音が鳴りません。	①設定する曜日を選択する （「0：毎日」を選択した場合は、このあと 決定 を押す） ②時間帯の登録先（1～8）を入力する ③時刻（24時間制）を入力する ④鳴動モードを選択する ① …昼 ① …夜 ② …休憩 ③ …休日 ⑤ 決定 を押す



ワンポイント

- **着信音停止設定を「設定する」にすると**
 着信ランプも点滅しなくなります。ただし、外線／内線ランプの点滅によって着信を確認して電話に応答することができます。
- **曜日毎鳴動モード設定の利用方法について**
 通常、内線電話機の鳴動動作は、システムモードに従って切り替わります。曜日毎鳴動モード設定を利用すると、システムモードより優先される鳴動動作を、電話機ごとに設定できます。登録は、曜日単位で行います。たとえば、システムモード時刻設定（P3-24）と外線着信鳴動設定（P3-9）により、次のように設定されています。
 - ・ 毎日10：00→すべての内線電話機が昼モード（鳴動する）に切り替わる
 - ・ 毎日19：00→すべての内線電話機が夜モード（鳴動しない）に切り替わる
 このとき、1台の内線電話機のみ、月曜日の12：00～13：00に着信音が鳴らないように設定したい場合は、曜日毎鳴動モード設定で「1：月曜」にタイムテーブルを以下のとおりに登録します。
 - ①12：00→「夜（鳴動しない）」
 - ②13：00→「昼（鳴動する）」
 - ③19：00→「夜（鳴動しない）」
 この場合に③の登録を行わないと、13：00からの「鳴動する」の状態が0：00（曜日が火曜日になる時刻）まで継続してしまいます。設定を行うときは、必ず翌日0：00までを含むタイムテーブルを登録するようご注意ください。

- **曜日毎鳴動モード設定の設定操作について**
 「毎日」のタイムテーブルは、指定外のすべての曜日に適用されます。たとえば土日以外（平日）に同じタイムテーブルを適用したいときは、「毎日」にタイムテーブル（平日用）を登録してから、「土曜」と「日曜」のタイムテーブルを変更してください。誤って「土曜」と「日曜」の登録のあと「毎日」の登録を行うと、「土曜」と「日曜」の登録内容が消去され、すべての曜日に「毎日」のタイムテーブルが適用されてしまいますのでご注意ください。また、手順①で「0：毎日」を選択して **決定** を押すと、それ以前に特定の曜日に登録していたタイムテーブルがあった場合、登録内容はすべて消去されます。



お知らせ

- 曜日毎鳴動モード設定は、ご利用のしかたによってはどの内線電話機も外線着信音が鳴らない時間帯が生じてしまう可能性がありますのでご注意ください。

0:お客様設置
 1:電話機毎設定
 2:システム一括設定

1:電話帳
 2:外線発信
 3:外線着信
 4:留守/転送

1:転送先リスト登録
 2:留守ガイダンス設定
 3:圏外時サービス設定

：お買い求め時の設定

メニュー項目(メニュー番号)	概要	登録・設定操作
転送先リスト登録 (① ④ ①) 転送先電話番号登録 1:電話番号1 2:電話番号2 3:電話番号3	転送電話を利用したときの、転送先電話番号を登録する。(P2-36)	①登録先を選択する ②転送先の電話番号を入力する ③ 決定 を押す
留守ガイダンス設定 (① ④ ②) 留守ガイダンス設定 0:出荷時設定 1:ユーザガイダンス	留守応答で使用する音声ガイダンス(出荷時設定/ユーザガイダンス)を選択する。(P2-43)	①ガイダンスの番号を選択する ① …出荷時設定 ② …ユーザガイダンス
圏外時サービス設定 (① ④ ③) 圏外時サービス設定 0:設定しない 1:転送電話 2:留守応答	内線電話機が圏外になったときの動作を設定する。	①番号を選択する ① …設定しない ② …転送電話 ③ …留守応答

3 電話機能の設定

内線電話機を使って登録・設定するには(メニュー設定)



ワンポイント

●転送先リストの登録内容を消去するには(P2-36)

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
ワンタッチダイヤル登録 (① ⑤ ①) ワンタッチダイヤル登録 ワンタッチボタンを押下して ください	ワンタッチボタンにワンタッチダイヤルを登録する。	①登録するワンタッチボタンを押す ②登録する電話番号を入力する ③手順①で押したワンタッチボタンを押す
ワンタッチ機能ボタンの登録 (① ⑤ ②) ワンタッチ機能ボタンの登録 サービスボタンを押下して ください	サービスボタンに登録する機能を選択する。	①登録するサービスボタンを押す ②登録する機能を選択する
ワンタッチメモリ全削除 (① ⑤ ③) ワンタッチメモリ全削除 削除しない 削除する	ワンタッチボタンに登録されている機能をすべて削除する。	①「削除する」を選択し、 決定 を押す ② 決定 を押す



メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
時計アラーム (1回) (① ⑥ ①) 時計アラーム (1回) ■ :	電話機のアラーム (1回のみ) をセットする。	①時刻 (24時間制) を入力する ② 決定 を押す
時計アラーム (毎日) (① ⑥ ②) 時計アラーム (毎日) ■ :	電話機のアラーム (毎日同時刻に繰り返す) をセットする。	①時刻 (24時間制) を入力する ② 決定 を押す



ワンポイント

- **アラームを止めるには**
アラームが鳴っているときに **クリア** またはスピーカボタンを押します。ハンドセットを取りあげても止めることができます。通話中にアラームが鳴ったときは、**クリア** を押してください。
- **アラームを解除するには**
メニュー項目を選択してアラームの設定内容を表示させ、**クリア** を長く押し、続けて **決定** を押します。

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
内線ホットライン設定 (① ⑦ ①) 内線ホットライン設定 内線番号?	ハンドセットを取りあげるだけで呼び出せる内線電話機を設定する。	<設定する場合> ①内線番号を入力する ② 決定 を押す <設定を解除する場合> ① クリア を押して内線番号を消去する ② 決定 を押す
内線呼出音設定 (① ⑦ ②) 内線呼出音設定 ① トーン ② 音声	トーン（信号音）／音声のどちらで内線着信するかを設定する。	①番号を選択する ① トーン ② 音声
不在着信転送設定 (① ⑦ ③) 不在着信転送設定 転送先内線番号?	不在着信のときの転送先内線番号を設定する。	<設定する場合> ①転送先の内線番号を入力する ② 決定 を押す <設定を解除する場合> ① クリア を押して内線番号を消去する ② 決定 を押す
内線グループ一斉鳴動 (① ⑦ ④) 内線グループ一斉鳴動 ① 昼モード ② 夜モード ③ 休憩モード	システムモード「昼」／「夜」／「休憩」／「休日」別に、内線代表一斉呼出時、着信音を鳴らすかどうかを設定する。	①設定するモードを選択する ②番号を選択する ① …鳴動しない ② …鳴動する



お知らせ

- オフフック外線発信設定 (P3-8) を「設定する」にしていると、内線ホットラインはご利用できません。

0:お客様設置
1:電話機毎設定
 2:システム一括設定



5:ワタチ
 6:時計/アラーム
 7:内線
8:通話

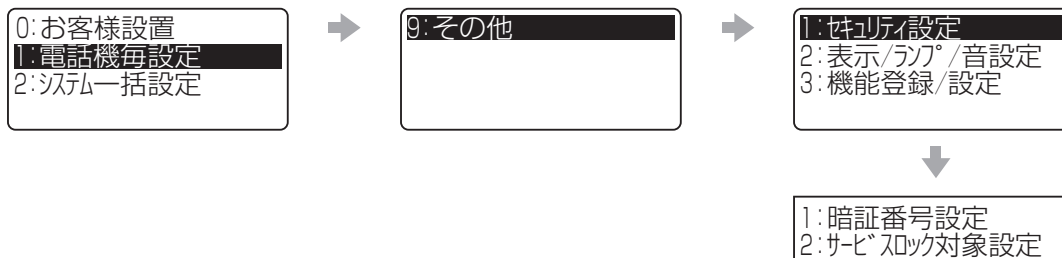


1:受話音保持
 2:受話増保持
 3:ヘッドセット設定

：お買い求め時の設定

メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
受話音保持 (① ⑧ ①) 受話音保持 0:設定しない 1:設定する	受話音量調節後の音量設定状態を、通話終了後も保持するかどうかを設定する。	①番号を選択する <input type="radio"/> …設定しない (保持しない) <input checked="" type="radio"/> …設定する (保持する)
受話増保持 (① ⑧ ②) 受話増保持 0:設定しない 1:設定する	明瞭モード中の音量設定状態を、通話終了後も保持するかどうかを設定する。	①番号を選択する <input type="radio"/> …設定しない (保持しない) <input checked="" type="radio"/> …設定する (保持する)
ヘッドセット設定 (① ⑧ ③) ヘッドセット設定 0:設定しない 1:設定する	ハンドセットの代わりにヘッドセットを使用するかどうかを設定する。	①番号を選択する <input type="radio"/> …設定しない (使用しない) <input checked="" type="radio"/> …設定する (使用する)

内線電話機を使って登録・設定するには（メニュー設定）

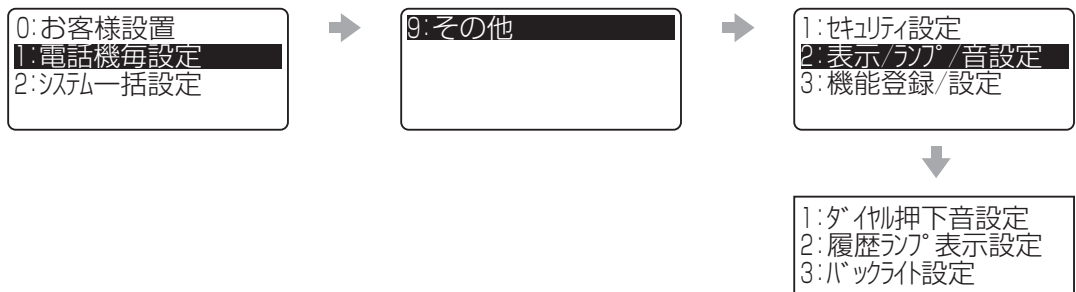


■ : お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
暗証番号設定 (① ⑨ ① ①) 暗証番号設定 旧暗証番号?	サービスロックを利用するときの、電話機ごとの暗証番号を登録する。(1桁以上、4桁以内の数字)	①現在の暗証番号（「0000」）を入力する ② 決定 を押す ③新しい暗証番号を入力する ④ 決定 を押す ⑤再度新しい暗証番号を入力する ⑥ 決定 を押す
サービスロック対象設定 (① ⑨ ① ②) サービスロック対象設定 暗証番号?	サービスロックの対象となる機能を設定する。	①電話機ごとの暗証番号を入力する ② 決定 を押す ③機能を選択する ④番号を選択する ① …対象にしない ② …対象にする



●暗証番号は「なし」に設定できません。



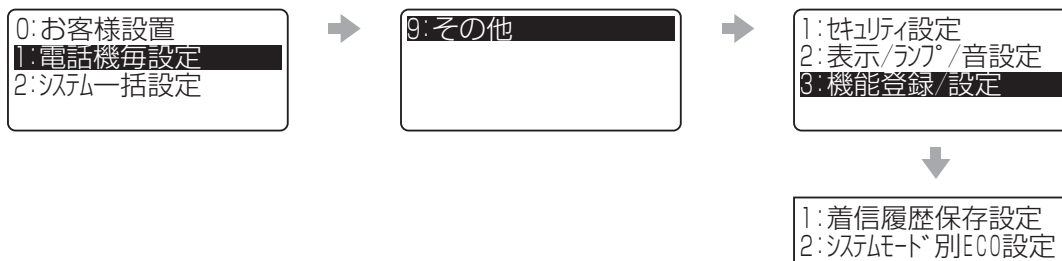
：お買い求め時の設定

メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
ダイヤル押下音設定 (① ⑨ ② ①) ダイヤル押下音設定 0:設定しない 1:設定する	ダイヤル押下音を鳴らすかどうかを設定する。	①番号を選択する ① …設定しない (鳴らない) ② …設定する (鳴る)
履歴ランプ表示設定 (① ⑨ ② ②) 履歴ランプ表示設定 0:表示しない 1:表示する	かかってきた電話に出なかったときに、着信履歴ランプを点滅 (周期的に2回点灯) 表示させてお知らせするかどうかを設定する。	①番号を選択する ① …表示しない ② …表示する
バックライト設定 (① ⑨ ② ③) バックライト設定 0:常時消灯 1:常時点灯 2:動作時点灯	ディスプレイの照明を点灯させるかどうかを設定する。操作時のみ点灯させる場合には、最後にボタンを押してから何秒後に消灯するかを設定する。	<常に点灯/消灯させる場合> ①「0:常時消灯」または「1:常時点灯」を選択する <操作時のみ点灯させる場合> ①「2:動作時点灯」を選択する ②秒数 (1 ~ 99) (15秒) を入力する ③ 決定 を押す

3 電話機能の設定

内線電話機を使って登録・設定するには (メニュー設定)

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

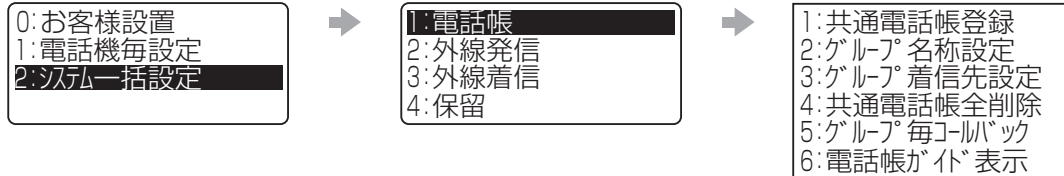


■ : お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
着信履歴保存設定 (① ⑨ ③ ①) 着信履歴保存設定 内/外線ボタンを押下し てください	かけてきた方の電話番号や 着信日時等の情報を保存す るかどうかを設定する。	①外線/内線ボタンを押す ②番号を選択する ① …保存しない ① …保存する
システムモード別ECO設定 (① ⑨ ③ ②) システムモード別ECOモード ①: 昼 1: 夜 2: 休憩	システムモード（昼/夜/ 休憩/休日)別に、ecoモー ドを設定する。	①システムモードを選択する ②番号を選択する ① …解除 ① …起動

システム一括設定

「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機でのみ行えるメニュー設定です。項目を選択して目的のメニュー項目画面を表示させます。メニューの流れについては、システム一括設定メニュー（P3-4）を参照してください。



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
共通電話帳登録 (② ① ①) 名称入力 [漢] [機能]	すべての内線電話機で使用 する電話帳を登録する。 (P2-28)	※操作手順は個別電話帳登録（P3-6）と同様です。また、 詳細は「電話帳を登録する」（P2-28）を参照してください。
グループ名称設定 (② ① ②) グループ名称設定 ① 指定なし ② グループ1 ③ グループ2	電話帳グループに名称を設定する。	①名称設定するグループ（または「0 指定なし」、「9 着信拒否」） を選択する ②名称を入力し、 [決定] を押す
グループ着信先設定 (② ① ③) グループ着信先設定 ① 指定なし ② グループ1 ③ グループ2	電話帳グループ（およびグループ分けしない「指定なし」の電話帳）ごとに、着信先や応答方法を設定する。	<特に設定をしない場合> ①着信先を設定するグループ（または「0 指定なし」、「9 着信拒否」）を選択する ②「0：設定しない」を選択する <特定の内線電話を呼び出す場合> ①着信先を設定するグループ（または「0 指定なし」、「9 着信拒否」）を選択する ②「1：指定内線」を選択する ③内線番号を入力し、 [決定] を押す <モード指定着信を設定する場合> ①着信先を設定するグループ（または「0 指定なし」、「9 着信拒否」）を選択する ②「2：モード指定着信」を選択する ③モードを選択する <他の電話番号へ転送を設定する場合> ①着信先を設定するグループ（または「0 指定なし」、「9 着信拒否」）を選択する ②「3：転送電話」を選択する ③転送先リストのリスト番号を入力し、 [決定] を押す <着信拒否を設定する場合> ①着信先を設定するグループ（または「0 指定なし」、「9 着信拒否」）を選択する ②「4：着信拒否」を選択する ※お買い求め時はグループ（9:着信拒否）に「4：着信拒否」が設定されています。

(次ページへつづく)

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
共通電話帳全削除 (② ① ④) 共通電話帳全削除 ① 削除しない ② 削除する	登録されている共通電話帳をすべて削除する。	①「削除する」を選択し、 決定 を押す ② 決定 を押す
グループ毎コールバック (② ① ⑤) グループ毎コールバック ① 指定なし ② グループ1 ③ グループ2	電話帳グループ（およびグループ分けしない「指定なし」の電話帳）ごとに、コールバック着信時の動作を設定する。	①コールバックを設定するグループ（または「0 指定なし」）を選択する ②番号を選択する ① …設定しない ② …システム内線着信（発信元に自動コールバックして通話する）
電話帳ガイド表示 (② ① ⑥) 電話帳ガイド表示 ① ガイド表示しない ② ガイド表示する	内線電話機で電話帳を利用するときに、画面にガイドを表示するかどうかを設定する。	①番号を選択する ① …ガイド表示しない ② …ガイド表示する

0:お客様設置
1:電話機毎設定
2:システム一括設定



1:電話帳
2:外線発信
3:外線着信
4:保留



1:発信可能ダイヤル設定
2:発信規制ダイヤル設定
3:削除ダイヤル設定

：お買い求め時の設定

メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
発信可能ダイヤル設定 (② ② ①) 発信可能ダイヤル設定 電話番号 (01-40)?	発信を許可する電話番号 (最大10桁)を設定する。 ダイヤルした電話番号に、 登録されている番号と一致 する部分がないと発信でき ない。	①登録番号 (01 ~ 40) を入力する ② 決定 を押す ③電話番号を入力する ④ 決定 を押す
発信規制ダイヤル設定 (② ② ②) 発信規制ダイヤル設定 電話番号 (01-40)?	発信を禁止する電話番号 (最大10桁)を設定する。 ダイヤルした電話番号に、 登録されている番号と一致 する部分があると発信でき ない。	①登録番号 (01 ~ 40) を入力する ② 決定 を押す ③電話番号を入力する ④ 決定 を押す
削除ダイヤル設定 (② ② ③) 削除ダイヤル設定 電話番号 (01-20)?	発信規制のチェック対象か ら除外する番号 (最大6桁) を登録する。	①登録番号 (01 ~ 20) を入力する ② 決定 を押す ③電話番号を入力する ④ 決定 を押す

内線電話機を使って登録・設定するには（メニュー設定）

0:お客様設置
1:電話機毎設定
2:システム一括設定



1:電話帳
2:外線発信
3:外線着信
4:保留



1:着信未応答警報タイマ
2:非通知着信拒否
3:着信拒否がイダンス
4:着信拒否設定

：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
着信未応答警報タイマ (② ③ ①) 着信未応答警報タイマ (0-255) × 10秒? 0: 警報なし	外線着信に対して一定の時間内に応答しなかったときに、着信音が警報音に切り替わるように設定する。	① 時間 (0 (警報なし) ~ 255 [単位: × 10秒]) を入力する ② 決定 を押す
非通知着信拒否 (② ③ ②) 非通知着信拒否 0: 非通知 1: 公衆電話 2: 表示圏外	電話番号非通知の着信、公衆電話からの着信、表示圏外からの着信を拒否するかどうかを設定する。 (P3-33)	① 非通知着信拒否する項目を選択する ② 番号を選択する ① 0 …拒否しない ① 1 …拒否する
着信拒否ガイダンス (② ③ ③) 着信拒否がイダンス 1: 非通知着信拒否 2: 発番号着信拒否	着信を拒否する相手に対して、音声ガイダンスを送出するかどうかを設定する。	① ガイダンスを設定する項目を選択する ② 番号を選択する ① 0 …ガイダンス送出不しい ① 1 …ガイダンス送出的る
着信拒否設定 (② ③ ④) 着信拒否設定 1: 迷惑電話ブロック 2: 国番号識別ブロック	迷惑電話からの着信、設定した着信拒否番号（国番号識別ブロック）からの着信を拒否するかどうかを設定する。	<迷惑電話を設定する場合> ① 「1: 迷惑電話ブロック」を選択し、 決定 を押す ② 「1: 迷惑電話ブロック設定」を選択し、 決定 を押す ③ 「1: 設定する」を選択し、 決定 を押す <迷惑電話ブロックライセンスの期限を確認する場合> ① 「1: 迷惑電話ブロック」を選択し、 決定 を押す ② 「2: ライセンス期限」を選択し、 決定 を押す <国番号識別ブロックを設定する場合> ① 「2: 国番号識別ブロック」を選択し、 決定 を押す ② テーブル番号 (1 ~ 40) を入力し、 決定 を押す ③ 国番号を入力し、 決定 を押す



ワンポイント

- **国番号を登録するには**
 国番号は、「010（国際プレフィックス番号）＋国番号」で登録してください。着信履歴を確認して登録する場合も、先頭から国際プレフィックス番号を含めて登録してください。
- **国番号の着信拒否を解除するには**
 解除するには、対象とする国番号が全桁削除されていることを確認して、手順どおり設定してください。



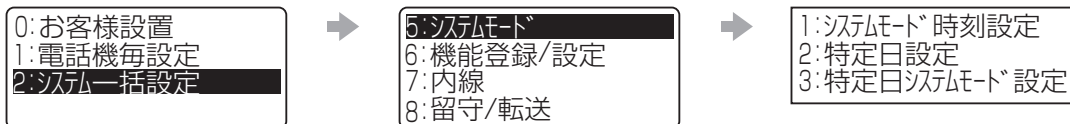
：お買い求め時の設定

メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
保留警報音送出タイマ (2) (4) (1) 保留警報音送出タイマ タイマ (0-255) × 10秒? 0: 警報なし	保留状態が続いていることを知らせる警報音を鳴らすまでの時間を設定する。	① 時間 (0 (警報なし) ~ 255 [単位: × 10秒]) を入力する ② 決定 を押す

3 電話機能の設定

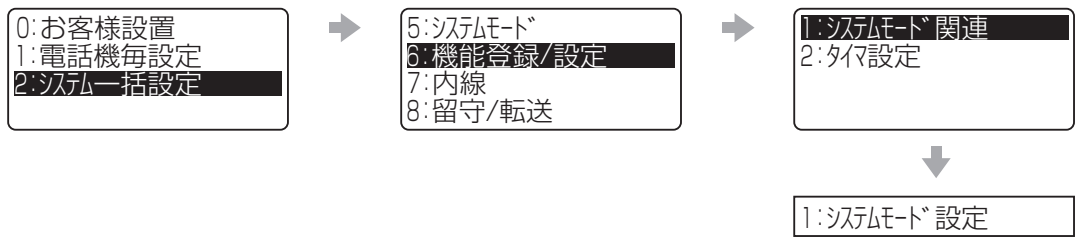
内線電話機を使って登録・設定をするには (メニュー設定)

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



■ : お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
システムモード時刻設定 (2) (5) (1) システムモード時刻設定 切替パターン(1-8)?	システムモード切替時刻とモードをセットにしたタイムテーブル（最大8つ）を登録する。	①切替パターン（1～8）を入力する ② 決定 を押す ③時間帯の登録先（1～8）を選択する ④時刻（24時間制）を入力する ⑤モードを選択する 0 …昼 1 …夜 2 …休憩 3 …休日 ⑥ 決定 を押す ※切替パターン8の初期値は「00:00 休日」
特定日設定 (2) (5) (2) 特定日設定 テーブル番号 (01-50)?	特定日（最大50）を設定する。	①テーブル番号（1～50）を入力する ② 決定 を押す ③特定日の月、日を入力する ④ 決定 を押す
特定日システムモード設定 (2) (5) (3) 特定日システムモード設定 テーブル番号 (01-50)?	特定日のテーブル番号（最大50）に切替パターンを設定する。	①テーブル番号（1～50）を入力する ② 決定 を押す ③切替パターン（0（切替なし）～8）を入力する ④ 決定 を押す



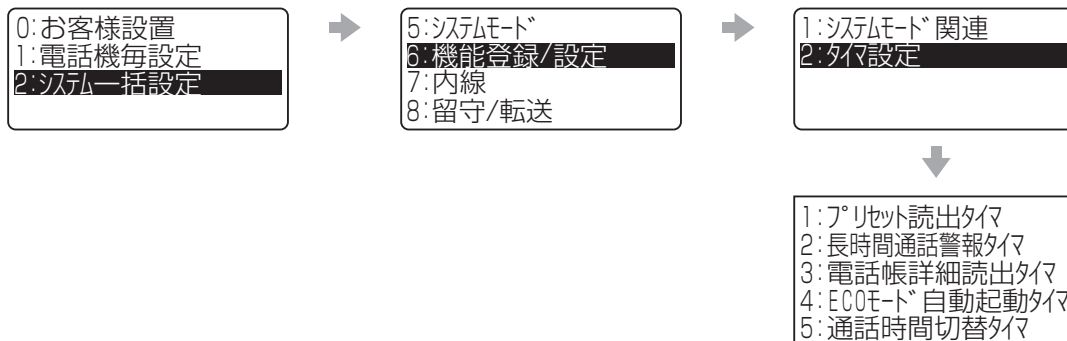
：お買い求め時の設定

メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
システムモード設定 (② ⑥ ① ①) システムモード 設定 ①:自動 1:昼モード 2:夜モード	システムモード (昼/夜/ 休憩/休日)を切り替える。	①システムモードを選択する ① …自動 ① …昼モード ② …夜モード ③ …休憩モード ④ …休日モード

3 電話機能の
設定

内線電話機を使って登録・設定をするには (メニュー設定)

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



■ : お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
プリセット読出タイマ (2) (6) (2) (1) プリセット読出タイマ タイマ (1-30) 秒? 15	プリセットダイヤルの表示を継続する秒数を設定する。	①秒数 (1 ~ 30) (15秒) を入力する ② 決定 を押す
長時間通話警報タイマ (2) (6) (2) (2) 長時間通話警報タイマ タイマ (0-255) × 10秒? 0: 警報なし 0	通話が長時間続いていることを知らせる警報音を鳴らすまでの時間を設定する。最初の警報音が鳴ったあとは、3分ごとに警報音が鳴る。	①時間 (0 (警報なし) ~ 255 [単位: ×10秒]) を入力する ② 決定 を押す
電話帳詳細読出タイマ (2) (6) (2) (3) 電話帳詳細読出タイマ タイマ (1-30) 秒? 30	電話帳詳細画面の表示を継続する秒数を設定する。	①秒数 (1 ~ 30) を入力する ② 決定 を押す
ECOモード自動起動タイマ (2) (6) (2) (4) ECOモード自動起動タイマ タイマ (1-60) × 10秒? 1	自動起動でecoモード起動中に手でeco解除した場合、再度ecoモードを起動するまでの時間を設定する。	①時間 (1 ~ 60 [単位: ×10秒]) (1 (10秒)) を入力する ② 決定 を押す
通話時間切替タイマ (2) (6) (2) (5) 通話時間切替タイマ タイマ (0-255) 秒? 0: 通表示切替なし 6	電話番号等ダイヤルの表示を通話時間の表示に切り替えるまでの時間を設定する。	①秒数 (0 (表示切替なし) ~ 255) (6秒) を入力する ② 決定 を押す

0:お客様設置
1:電話機毎設定
2:システム一括設定



5:システムモード
6:機能登録/設定
7:内線
8:留守/転送



1:内線ネーム登録

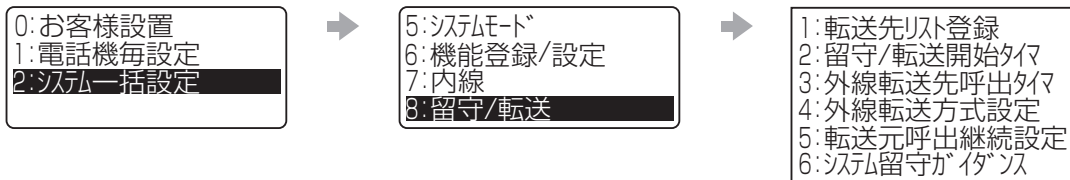
：お買い求め時の設定

メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
内線ネーム登録 (2) (7) (1) 内線ネーム登録 内線番号?	着信履歴等に表示させる内線電話機ごとの名称を登録する。	①内線番号を入力する ② 決定 を押す ③名称を入力する ④ 決定 を押す

3 電話機能の
設定

内線電話機を使って登録・設定をするには (メニュー設定)

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
転送先リスト登録 (② ⑧ ①) 転送先リスト登録 リスト番号 (01-20) ?	「電話帳グループ転送」の転送先電話番号を登録する。	①リスト番号（01～20）を入力する ② 決定 を押す ③登録先を選択する ④転送先の電話番号を入力する ⑤ 決定 を押す
留守/転送開始タイマ (② ⑧ ②) 留守/転送開始タイマ 外線ボタンを押下してください	着信から転送、または留守応答を開始するまでの秒数を設定する。	①外線ボタンを押す ②秒数（0（即時転送/即時応答）～255）（ 5秒 ）を入力する ③ 決定 を押す
外線転送先呼出タイマ (② ⑧ ③) 外線転送先呼出タイマ 外線ボタンを押下してください	転送先リストの電話番号へ順次転送を行う間隔を設定する。	①外線ボタンを押す ②秒数（6～100）（ 30秒 ）を入力する ③ 決定 を押す
外線転送方式設定 (② ⑧ ④) 外線転送方式設定 0:同時転送 1:順次転送	転送先リストの電話番号への発信を、同時/順次のどちらの方法で行うかを設定する。	①番号を選択する ① 同時転送 ② 順次転送

(次ページへつづく)



ワンポイント

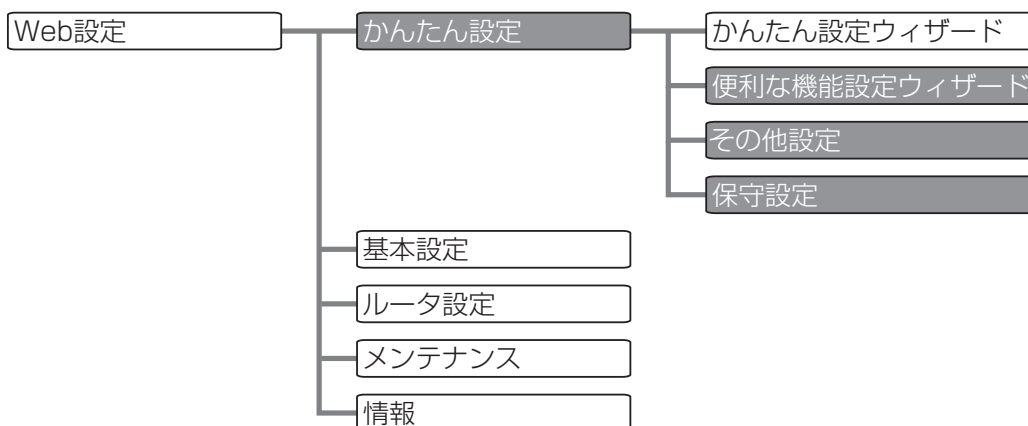
- 転送先リストの登録内容を消去するには
 転送先リスト登録の手順③で内容を消去する転送先リストを選択し、**クリア** を押して電話番号を消去して **決定** を押します。

：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
<p>転送元呼出継続設定 (2) (8) (5)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>転送元呼出継続設定</p> <p>0: 設定しない</p> <p>1: 設定する</p> </div>	<p>転送元の呼び出しを、外線転送後も継続するかどうかを設定する。</p>	<p>①番号を選択する</p> <p><input type="radio"/> …設定しない（継続しない）</p> <p><input type="radio"/> …設定する（継続する）</p>
<p>システム留守ガイダンス (2) (8) (6)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>システム留守ガイダンス</p> <p>1: 昼</p> <p>2: 夜</p> <p>3: 休憩</p> </div>	<p>システム留守の音声ガイダンスをシステムモード（昼／夜／休憩／休日）ごとに選択する。</p>	<p>①システムモード（昼／夜／休憩／休日）を選択する</p> <p>②ガイダンスの番号を選択する</p> <p><input type="radio"/> …出荷時設定</p> <p><input type="radio"/> …ユーザガイダンス</p>

便利な機能設定ウィザード一覧

便利な機能設定ウィザードにより電話機能（ビジネスフォン機能）に関連する設定を行います。
Web設定に初めて接続する場合や、かんたん設定ウィザードについては、「電話機を利用するには」のWeb設定（P1-22）を参照してください。

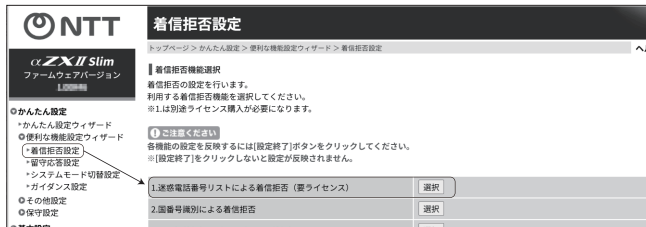


中項目	小項目	項目名	設定内容
便利な機能設定 ウィザード	着信拒否 設定	迷惑電話番号リストによる 着信拒否（要ライセンス）	迷惑電話ブロックライセンス（ソフトウェアキーコード等）の登録設定
		国番号識別による着信拒否	着信拒否する国番号の設定
		電話帳着信拒否グループ による着信拒否	通話中や着信履歴で着信拒否に登録するためのサービスボタン（着信拒否）の設定
		着信拒否時のガイダンス送 出（非通知着信拒否除く）	迷惑電話、国番号識別、電話帳着信拒否グループの着信拒否時にガイダンスを送出するかどうかの設定
		非通知着信拒否	非通知着信を着信拒否にするかどうかの設定や、非通知着信時にガイダンスを流すかどうかの設定
	留守応答 設定	留守応答を手動で行う （電話機への『留守応答ボタ ン』の設定）	手動で留守応答に切り替えるためのサービスボタン（留守応答）の設定
		留守応答時刻を自動で切り替 える（システムモード切替の時 刻パターンによる自動切替）	回線番号（電話番号）毎にシステムモードで留守応答にするかどうかの設定
	システム モード 切替設定	手動切替の設定を行う	手動でシステムモードを切り替えるためのサービスボタン（システムモード切替）の設定
		設定した切替時刻・曜日・特 定日による自動切替の設定を 行う	自動でシステムモードを切り替えるための切替時刻・曜日・特定日の設定
		システムモード毎の鳴動を 選択する	システムモード毎鳴動の設定
	ガイダンス設定	手動・自動の留守応答に流すガイダンスの設定や、音声合成ライセンス（ソフトウェアキーコード等）の登録設定とガイダンスの作成	
その他 設定	電話機設定	内線番号の設定	
	ボタン設定	ワンタッチボタンやサービスボタンの設定	
	単体電話機アダプタ設定	単体電話機を使用する場合の設定	
	電話帳	共通電話帳や個別電話帳の登録設定	
保守設定	通話履歴	通話履歴の表示	
	ライセンス管理	ライセンスの登録設定や、登録済みライセンスの表示・削除	

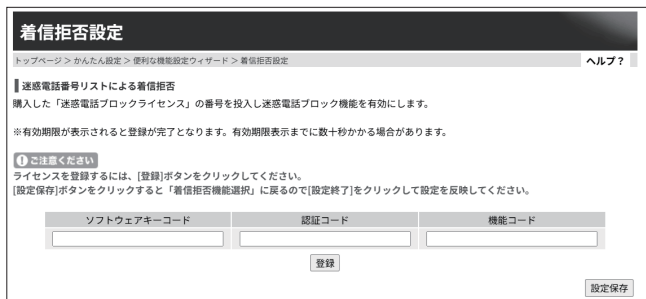
よく利用する機能の設定

迷惑電話番号リストによる着信拒否を設定する

設定メニューツリー



画面1



迷惑電話番号リストによる着信拒否

- ① 画面1で迷惑電話ブロックライセンスのソフトウェアキーコード等を入力する。
画面1で（ソフトウェアキーコード・認証コード・機能コード）を入力します。
- ② 画面1の【登録】ボタンをクリックする。
迷惑電話ブロックライセンスが登録され、画面1の登録済みライセンスに表示されます。
- ③ 画面1の【設定保存】ボタンをクリックする。
画面2が表示されます。

画面2



着信拒否機能選択

- ④ 画面2で【設定終了】ボタンをクリックする。
表示されるダイアログの【OK】ボタンをクリックすると、画面3が表示されます。

画面3

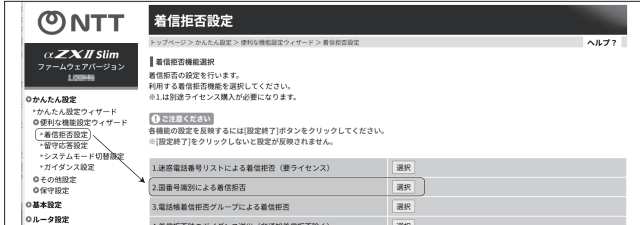


着信拒否が設定されました。

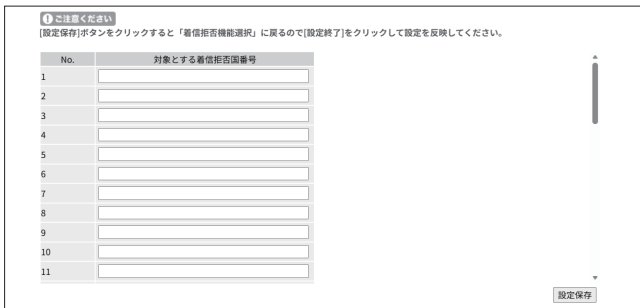
電話機能の設定をするには(Web設定)

■ 国番号識別の着信拒否を設定する

■ 設定メニューツリー



■ 画面1



■ 国番号識別による着信拒否

① 画面1で着信拒否対象の国番号を入力する。
国番号は『010+国番号』で設定します。

② 画面1の【設定保存】ボタンをクリックする。
画面2が表示されます。

■ 画面2



■ 着信拒否機能選択

③ 画面2で【設定終了】ボタンをクリックする。
表示されるダイアログの【OK】ボタンをクリックすると、画面3が表示されます。

■ 画面3



着信拒否が設定されました。



ワンポイント

● 登録できる番号は

登録できる番号は、最大40番号、最大20桁(0~9、*、#)までです。

● 国番号を登録するには

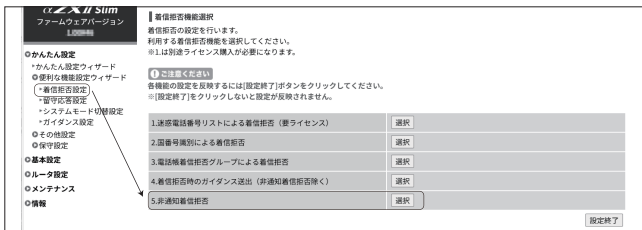
国番号は、『010(国際プレフィックス番号)+国番号』で登録してください。着信履歴を確認して登録する場合も、先頭から国際プレフィックス番号を含めて登録してください。

● 国番号の着信拒否を解除するには

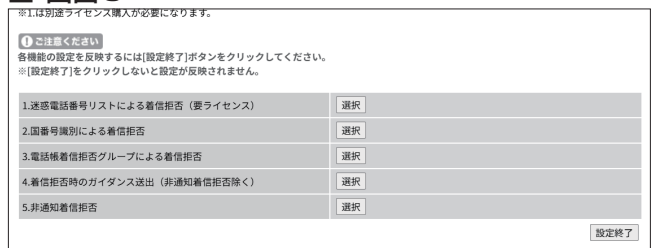
解除するには、画面1で対象とする着信拒否国番号が全桁削除されていることを確認して、手順どおり設定してください。

■ 非通知着信の着信拒否を設定する

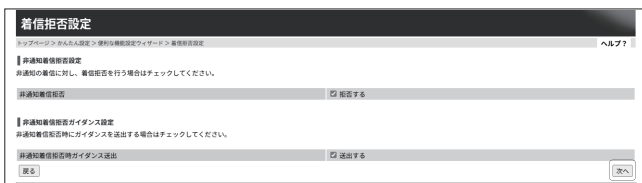
■ 設定メニューツリー



■ 画面3



■ 画面1



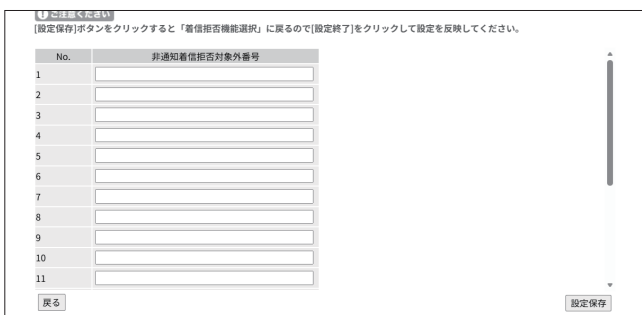
■ 非通知着信拒否・非通知着信拒否ガイダンス設定

- ① 画面1で非通知着信拒否や、非通知着信拒否のガイダンス送出を設定する。

画面1で非通知着信拒否をする場合、非通知着信時にガイダンス送出する場合は、それぞれチェックを入れます。

- ② 画面1の【次へ】ボタンをクリックする。
画面2が表示されます。

■ 画面2



■ 非通知着信拒否対象外番号設定

- ③ 画面2で非通知の着信でも着信を受ける電話番号を入力する。
非通知着信対象外の電話番号を設定します。
- ④ 画面2の【設定保存】ボタンをクリックする。
画面3が表示されます。

■ 着信拒否機能選択

- ⑤ 画面3で【設定終了】ボタンをクリックする。
表示されるダイアログの【OK】ボタンをクリックすると、画面4が表示されます。

■ 画面4



着信拒否が設定されました。



ワンポイント

○ 着信拒否時のガイダンス

非通知理由	ガイダンス
非通知	電話番号の前に「186」を付けてダイヤルする等、あなたの電話番号を通知しておかけ直してください。
公衆電話、表示圏外	電話番号を通知できる電話機からおかけ直してください。
発番号通知	この電話はお受けできません

● 登録できる番号は

登録できる番号は、最大20番号、最大20桁 (0～9、*、#) までです。



お知らせ

- 非通知着信拒否を利用するには、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。
- ご利用のサービスや着信拒否ガイダンスの設定 (P3-22) によって、着信を拒否する相手に流す音が異なります。

サービス	設定	流す音
ダイヤルイン契約あり	送出しない	話中音
	送出する	ガイダンス

- ガイダンス送出中の通話料は、着信を拒否する相手 (電話をかけてきた方) に課金されます。

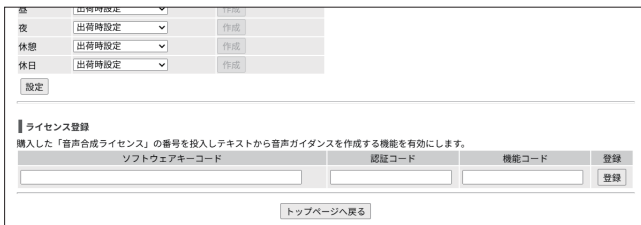
■ ガイダンスを作成する

■ 設定メニューツリー



※ 設定中にダイアログが表示された場合は [OK] ボタンをクリックして進んでください。

■ 画面 1



■ ライセンス登録

- ① 画面 1 で音声合成ライセンスのソフトウェアキーコード等を入力する。
画面 1 で (ソフトウェアキーコード・認証コード・機能コード) を入力します。
- ② 画面 1 の [登録] ボタンをクリックする。
音声合成ライセンスが登録され、画面 1 の登録済みライセンスに表示されます。
- ③ 画面 1 の作成したい「ガイダンス設定」を選択して [作成] ボタンをクリックする。
画面 2 が表示されます。

■ 画面 2



■ 作成するガイダンス

- ④ 画面 2 でガイダンス種別等を選択する。
画面 2 で (ガイダンス種別・内線番号) を選択します。

■ ガイダンス作成

- ⑤ 画面 2 の声や速度等全ての項目を設定し、音声ガイダンスで流す内容を [変換テキスト] に入力する。
画面 2 で (名称・声・速度・太さ・高さ・音量・変換テキスト) を入力・選択します。
- ⑥ 画面 2 の [ガイダンス作成開始] ボタンをクリックする。
ガイダンスの作成が開始され、作成できると画面 3 が表示されます。

画面3

- ⑦ 音声ガイダンスの作成が完了するまで待ち、完成した音声ガイダンスを ▶ で再生し、音声を確認する。再生中は再生関連の操作以外ブラウザ操作を行わないでください。
- ⑧ 完成した音声ガイダンスが保存履歴に表示されることを確認する。
作成したガイダンスは保存されました。
- ⑨ 画面3の【ガイダンス設定に戻る】ボタンをクリックする。
画面1が表示されます。
- ⑩ 画面1で作成したガイダンスが「ユーザガイダンス」となっていることを確認し、【設定】ボタンをクリックする。
作成したガイダンスの送出手続きが完了しました。



ワンポイント

●音声ガイダンスの項目

項目	選択内容
声	男性/女性
速度	遅い/やや遅い/普通/やや速い/速い
太さ	太い/やや太い/普通/やや細い/細い
高さ	低い/やや低い/普通/やや高い/高い
音量	小さい/やや小さい/普通/やや大きい/大きい

●音声ガイダンスの仕様

項目	登録内容	
入力文字数	最大全角1500文字	
入力可能文字	Shift_JIS	
保存音声ガイダンス数	最大1件※	
保存テキスト数	最大3件※	
ポーズ (無音)	約800mm/秒	「? (疑問符の半角/全角)」 「. (ピリオドの半角/全角)」
	約300mm/秒	「, (コンマの半角/全角)」
		「: (コロンの半角/全角)」

※留守ガイダンスの場合は電話機ごと

●音声ガイダンスの入力と読み方

漢字は意図しない読み方になることがあります。その場合はひらがなで入力してください。数字は「100:ひゃく」となります。電話番号のように数字を1文字ずつ読む場合は、数字の間に空白または、斜線を入力してください。作成後にガイダンスの再生を行って確認してください。音声ガイダンスが作成できず、エラーメッセージが表示された場合は入力文字をご確認ください。



お知らせ

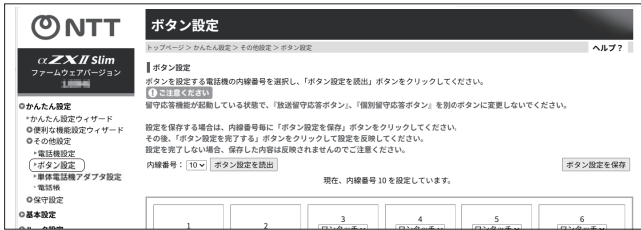
- ⑥でボタンクリック後に、別の画面表示やブラウザの終了を行った場合、音声ガイダンス作成はされませんが、音声ガイダンス完了画面は表示されません。

電話機能の設定をするには(Web設定)

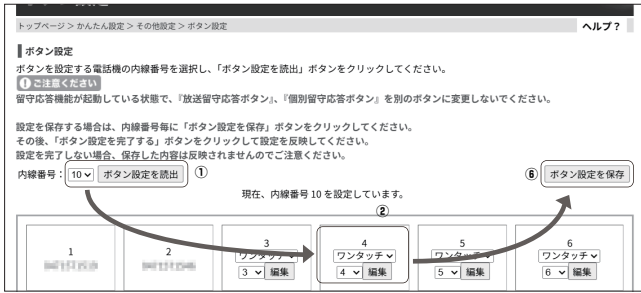
■ ワンタッチ／サービスボタンを設定する

※ ここではワンタッチボタンの設定を例に記載します。

■ 設定メニューツリー



■ 画面 1



■ ボタン設定

- ① 画面 1 で内線番号を選択し、[ボタン設定を讀出] ボタンをクリックする。
画面 1 で設定する内線電話のボタン設定を読み出します。
- ② 画面 1 で対象のボタンを「ワンタッチ」に設定し、[編集] ボタンをクリックする。
画面 2 が表示されます。

■ 画面 2



■ ワンタッチダイヤル編集

- ③ 画面 2 で登録する電話番号等を入力する。
すでにワンタッチダイヤルが登録されているときは、その内容が表示されます。
- ④ 画面 2 の [設定] ボタンをクリックする。
表示されるダイアログの [OK] ボタンをクリックすると、ワンタッチダイヤルが保存されます。
- ⑤ 画面 2 で [ボタン設定に戻る] ボタンをクリックする。
画面 1 が表示されます。
- ⑥ 画面 1 で [ボタン設定を保存] の後、[ボタン設定を完了する] ボタンをクリックする。
表示されるダイアログの [OK] ボタンをクリックすると、ワンタッチボタンが設定されます。



ワンポイント

●登録できるボタン操作は

ワンタッチダイヤルには、音量調節ボタン、ワンタッチボタンを除くすべてのボタン操作を登録することができます。1つのボタン操作を1個と数え、32個まで登録できます。よくお使いになるサービスを登録しておくとう便利です。

○ワンタッチダイヤルの登録内容をすべて消去するには
ワンタッチダイヤルに登録した電話番号やボタン操作をまとめて消去することができます。(P3-12)

●サービスボタンの登録方法は

サービスボタンは、画面 1 のボタン設定で対象のボタンを「サービス」に設定し、すぐ下の選択画面で設定したいサービス機能を選択します。その後、手順⑥を行います。

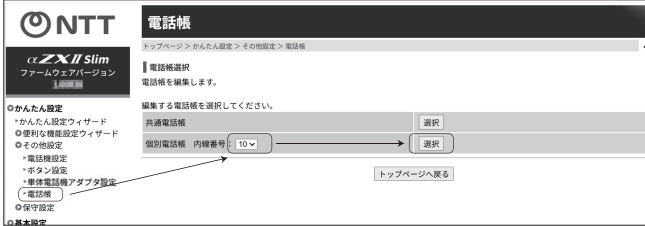
○選択できるサービスボタン

選択できるサービスボタン	本書でのサービスボタンの表記	機能説明
システムモード切替	システムモード切替	システムモード(昼/夜/休憩/休日)を切り替える (P3-25)
放送/個別転送電話	転送	P2-36
放送/個別留守応答	留守	P2-42
受話音量増大	受話音量増大	P1-29
送話カット	送話カット	P6-3
サービスロック	サービスロック	P3-16
着信拒否	着信拒否	P2-34

電話帳を登録する

※ ここでは個別電話帳を例に記載します。

設定メニューツリー



登録する個別電話帳の内線番号を選択します。

画面 1



個別電話帳

- ① 画面 1 で【電話帳に追加】ボタンをクリックする。
画面2が表示されます。

画面 2



個別電話帳の詳細を設定する

- ② 画面 2 で個別電話帳の電話番号等を入力する。
画面 2 で (メモリ番号・名前・フリガナ・グループ・ダイヤル・アイコン) を入力します。
※ フリガナなど電話帳に登録できる内容は、ワンポイントをご確認ください。
- ③ 画面 2 の【設定】ボタンをクリックする。
画面 3 が表示されます。

画面 3



- ④ 画面 3 の【電話帳を更新】ボタンをクリックする。
表示されるダイアログの [OK] ボタンをクリックすると、画面 4 が表示されます。

画面 4



個別電話帳が更新されました。

ワンポイント

- 電話帳に登録できる内容は
名前等、電話帳に登録できる内容をご確認ください。
(P2-28)

MEMO

ルータ機能の設定

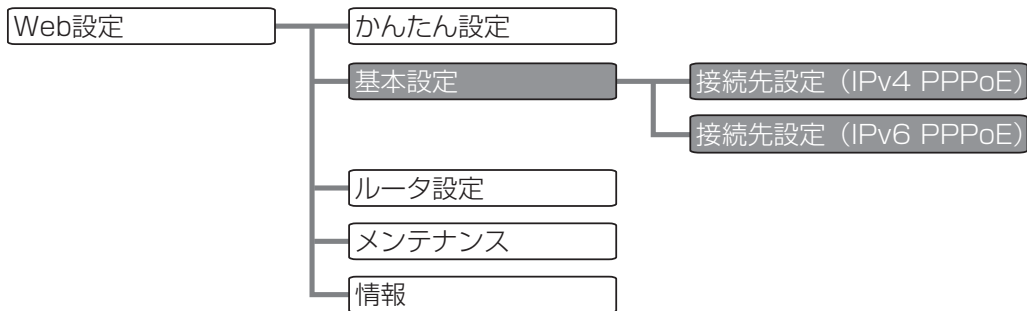
4

インターネット接続の設定をするには （Web設定）.....	4-2
ルータの設定をするには（Web設定）.....	4-4

基本設定項目一覧

基本設定によりルータ機能（接続先）に関連する設定を行います。

Web設定に初めて接続する場合や、かんたん設定ウィザードについては、「電話機を利用するには」のWeb設定（P1-22）を参照してください。



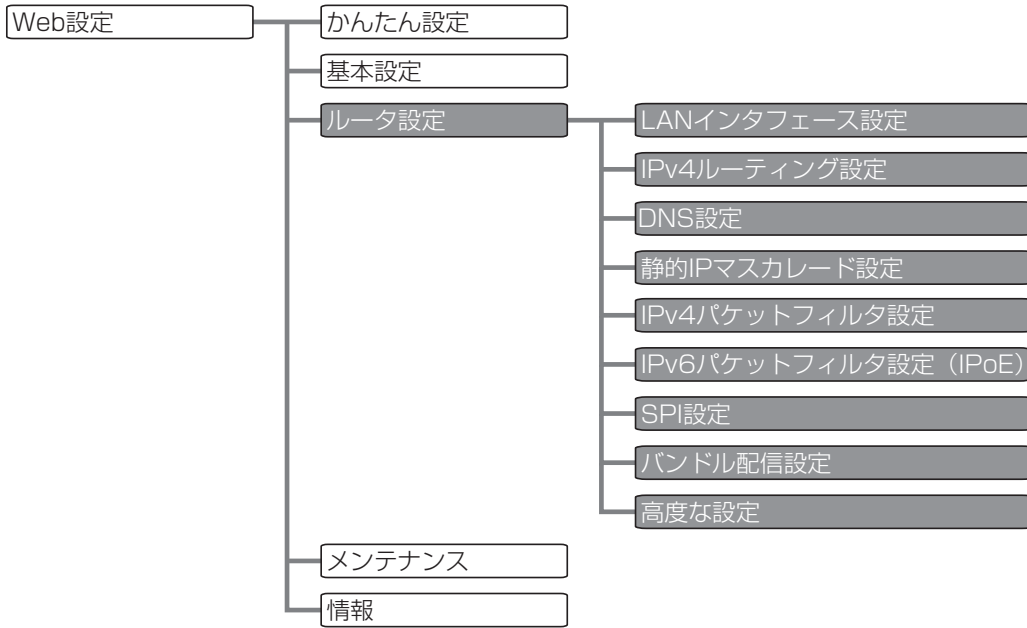
中項目	小項目	項目名	設定内容
接続先設定 (IPv4 PPPoE)	接続先の選択設定	接続先名	接続先名の設定
		接続先ユーザ名	接続先ユーザ名の設定
		接続パスワード	接続パスワードの設定
		IPアドレスの自動取得	IPアドレスの自動取得/手動設定/Unnumberedの選択設定
		IPアドレス	IPアドレス (手動設定の場合) の設定
		IPアドレス/マスク長	IPアドレス/マスク長 (Unnumberedの場合) の設定
		サーバから割り当てられたアドレス	プロバイダから自動的に割り当てられるDNSサーバアドレスを使用するかの設定
		プライマリDNS/セカンダリDNS	プロバイダからDNSサーバを指定されている場合の設定 (使用するのチェックなしの場合)
		認証方式	IPv4 PPPoEの認証方式の設定
		接続モード/自動切断するまでの時間 (分)	IPv4 PPPoEセッションの常時接続/無通信状態時の自動切断 (時間) の設定
		PPPキープアライブ機能	PPPキープアライブ機能を使用するかの設定
		LCP ECHO送信間隔 (分)	LCP ECHO送信間隔の設定
		LCP ECHOリトライ回数	LCP ECHOリトライ回数の設定
	PING応答機能	PING応答機能の設定	
		UPnP優先	UPnP優先有無の設定
	接続ルール設定	宛先ドメイン名	宛先ドメイン名の設定
宛先IPアドレス/マスク長		宛先IPアドレス/マスク長の設定	
送信元IPアドレス		送信元IPアドレスの設定	

中項目	小項目	項目名	設定内容
接続先設定 (IPv6 PPPoE)	接続先詳細設定 (IPv6 PPPoE)	自動設定機能	プロバイダから自動的に割り当てられるDNSサーバアドレスを使用するかの設定
		プライマリDNS/セカンダリDNS	プロバイダからDNSサーバを指定されている場合の設定 (使用するのチェックなしの場合)
		認証方式	IPv6 PPPoEの認証方式の設定
		PPPキープアライブ機能	PPPキープアライブ機能を使用するかの設定
		LCP ECHO送信間隔 (分)	LCP ECHO送信間隔の設定
		LCP ECHOリトライ回数	LCP ECHOリトライ回数の設定
		PING応答機能 (IPv6 PPPoE)	PING応答機能の設定
		IPv6パケットフィルタ設定 (PPPoE)	IPv6パケットフィルタの設定
	LAN側プレフィックスの選択	LAN側プレフィックスの選択設定	
	転送モード	転送モードの選択設定	
	静的ポリシールーティング設定 エントリ編集	送信元IPv6プレフィックス/プレフィックス長	送信元IPv6プレフィックスとプレフィックス長の設定
		宛先IPv6プレフィックス/プレフィックス長	宛先IPv6プレフィックスとプレフィックス長の設定
		プロトコル	プロトコルの指定設定
		送信元ポート	送信元ポート番号の設定
		宛先ポート	宛先ポート番号の設定
		宛先ドメイン	宛先ドメイン名の設定
	転送先インタフェース	転送先インタフェースの選択設定	

ルータの設定をするには(Web設定)

ルータ設定項目一覧

ルータ設定によりルータ機能に関連する設定を行います。



中項目	小項目	項目名	設定内容
LANインタフェース設定		LAN側IPアドレス/マスク長	LAN側IPアドレス/マスク長の設定
		DHCPv4サーバ機能	LAN側に接続される機器へIPアドレスを自動割り当てするかどうかの設定
		開始IPアドレス	DHCPv4サーバ機能を有効にした場合、割り当てるアドレス範囲の開始IPアドレスの設定
		割り当て個数	DHCPv4サーバ機能を有効にした場合、割り当てるアドレス個数の設定
		リース時間	DHCPv4サーバ機能を有効にした場合、割り当てるアドレスの貸出時間の設定
		DHCP固定IPアドレス設定	MACアドレス IPアドレス
IPv4ルーティング設定		デフォルトルート設定	デフォルトルート有効か無効かの設定
		ゲートウェイ	指定したい経路の宛先ルータIPアドレスの設定
	LAN側静的ルーティングエントリ	宛先IPアドレス/マスク長	宛先IPアドレスとマスク長の設定
		ゲートウェイ	指定したい経路の宛先ルータIPアドレスの設定

中項目	小項目	項目名	設定内容	
DNS設定		DNS Proxyタイムアウト (秒)	DNS Proxyタイムアウト時間の設定	
		AAAA送信抑制エラー応答機能	IPv4 PPPoE側へのAAAA問い合わせが発生した場合、Proxyせずに送信元端末からの応答を返信する機能を使用するかどうかの設定	
		IPv6 IPoE通信優先機能	LAN側端末から受信したDNSクエリの優先転送先の選択設定	
	ローカルドメイン問合せテーブル	ドメイン名 プライマリDNSサーバアドレス セカンダリDNSサーバアドレス	ドメイン名の設定 プライマリDNSサーバアドレスの設定 セカンダリDNSサーバアドレスの設定	
静的IPマスカレード設定		対象インタフェースを選択	接続先の選択設定	
	静的IPマスカレード設定エントリ編集	変換対象プロトコル	変換対象プロトコルの設定	
		ポート範囲指定	変換対象ポートと宛先ポートを範囲指定の設定	
		変換対象ポート	変換対象ポートの設定	
		宛先IPアドレス	宛先IPアドレスの設定	
	宛先ポート	宛先ポートの設定		
IPv4パケットフィルタ設定	IPv4パケットフィルタ設定	フィルタ種別	フィルタ種別の設定	
		通信方向	通信方向の設定	
		プロトコル	処理したいパケットのプロトコルの設定	
		TCPフラグ	TCPフラグの設定	
		接続インタフェース名	接続インタフェース名の設定	
		送信元IPアドレス/マスク長	送信元IPアドレスとマスク長の設定	
		宛先IPアドレス/マスク長	宛先IPアドレスとマスク長の設定	
		送信元ポート	「プロトコル名指定」、「TCP」または「UDP」を選択した場合、処理したいパケットのポート番号の指定	
		宛先ポート		
		ICMPタイプ	「プロトコル名指定」、「ICMP」を選択した場合、ICMPタイプ番号の設定	
ICMPコード	「プロトコル名指定」、「ICMP」を選択した場合、ICMPコード番号の設定			
IPv6パケットフィルタ設定 (IPoE)		IPv6ファイアウォール機能	IPv6ファイアウォール機能を使用するかどうかの設定	
		IPv6セキュリティのレベル	IPv6セキュリティのレベルの設定	
	IPv6パケットフィルタ設定 (IPoE)		フィルタ種別	フィルタ種別の設定
			通信方向	通信方向の設定
			プロトコル	処理したいパケットのプロトコルの設定
			TCPフラグ	TCPフラグの設定
			送信元IPv6プレフィックス/プレフィックス長	送信元IPアドレスとマスク長の設定
			宛先IPv6プレフィックス/プレフィックス長	宛先IPアドレスとマスク長の設定
			送信元ポート	「プロトコル名指定」、「TCP」または「UDP」を選択した場合、処理したいパケットのポート番号の指定
			宛先ポート	
			ICMPv6タイプ	「プロトコル名指定」、「ICMPv6」を選択した場合、ICMPv6タイプ番号の設定
			ICMPv6コード	「プロトコル名指定」、「ICMPv6」を選択した場合、ICMPv6コード番号の設定

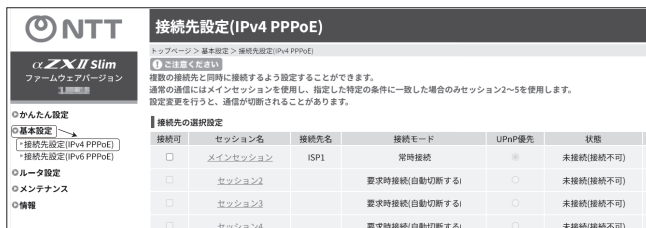
ルータの設定をするには(Web設定)

中項目	小項目	項目名	設定内容
SPI設定	TCPタイムアウト (秒)		ステートフルパケットインスペクション機能を使用する際のIPアドレス/ポート番号の動的変換テーブルの有効保持時間の設定
	UDPタイムアウト (秒)		UDPタイムアウト時間の設定
	ICMPタイムアウト (秒)		ICMPタイムアウト時間の設定
バンドル配信設定	バンドル配信		バンドル配信の使用有無の設定
高度な設定	LANポート通信設定 (ポート1 ~ 3)		LANポートの通信速度、DUPLEXの設定
	LANポート通信設定 (ポート4)		LANポートの通信速度の設定
	LAN側MDI/MDI-Xモード		LANポートのMDI/MDI-Xモードの設定
	PING応答機能		PING応答機能の設定
	PPPoEブリッジ		PPPoEブリッジの設定
	UPnP設定		UPnP機能の使用有無設定
	WAN→LAN中継機能		WAN→LAN中継機能の使用設定
	接続先		「WAN→LAN中継機能」で「使用する」の場合、WAN→LAN中継機能で使用する接続先の選択設定
	UDPポート番号		本機能で使用するUDPポート番号の設定
	節電機能		節電機能の使用有無設定
	節電開始時間		節電開始時間の設定
	節電終了時間		節電終了時間の設定
	省電力型イーサネット機能		LANポートの省電力型イーサネット機能の有効/無効切替
	ファームウェア更新種別		ファームウェア更新方法の設定
	再起動更新		本装置の再起動時にバージョンアップするかどうかの設定
	ファームウェア更新時の一定量データ通信監視		ファームウェア更新時のデータ通信監視をするかしないかの設定
データ通信量閾値		WAN側インタフェースのデータ通信料閾値の設定	

よく利用する機能の設定

■ 接続先設定 (IPv4 PPPoE) 設定

■ 設定メニューツリー



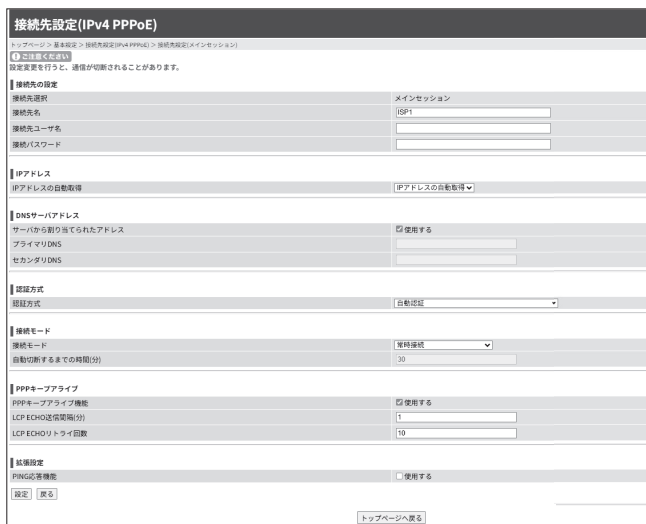
■ 画面 1



■ IPv4 PPPoEの接続先を設定する

- 画面 1 で詳細設定する接続先の【編集】ボタンをクリックする。
ここでは、メインセッションの設定を例に記載します。画面2が表示されます。

■ 画面 2



- 画面 2 の【接続先の設定】で接続先名、接続先ユーザ名、接続パスワードを入力する。
接続先ユーザ名、接続パスワードはプロバイダから通知されたものを設定します。

- 画面 2 の【IPアドレス】でIPアドレスの自動取得を選択する。

プロバイダから割り当てられたIPアドレスの取得方法を選択します。

- 固定IPアドレスを指定されている場合は、IPアドレスの手動設定を選択し、IPアドレスを設定します。
- 複数のグローバルIPアドレスを本商品や接続されたパソコン等それぞれに設定する場合は、Unnumberedを選択し、IPアドレスとマスク長を設定します。

- 画面 2 の【DNSサーバアドレス】でサーバから割り当てられたアドレス、プライマリDNS、セカンダリDNSを設定する。

サーバから割り当てられたアドレスは通常、使用するのチェックをつけます。

- プロバイダからプライマリDNS、セカンダリDNSを指定されている場合は、サーバから割り当てられたアドレスのチェックを外し、プライマリDNS、セカンダリDNSを設定します。

- 画面 2 の【認証方式】で認証方式を選択する。

- 画面 2 の【接続モード】で接続モード、自動切断するまでの時間を選択、設定する。
要求時接続(自動切断する)の場合は、自動切断するまでの時間を分単位で入力します。

- 画面 2 の【PPPキープアライブ】でPPPキープアライブ機能、LCP ECHO送信間隔(分)、LCP ECHOリトライ回数を設定する。
PPPキープアライブ機能を使用する場合は、チェックをつけ、LCP ECHO送信間隔とLCP ECHOリトライ回数を設定します。

- 画面 2 の【拡張設定】でPING応答機能を設定する。
PING応答機能を使用する場合は、チェックをつけます。

- 画面 2 の【設定】ボタンをクリックする。
画面1が表示されます。

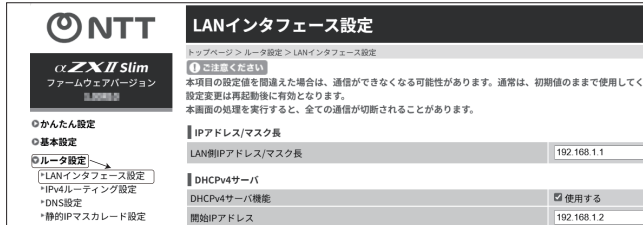
■ 設定を完了する

- 画面 1 で設定した接続先の【接続可】にチェックをつけ、【設定】ボタンをクリックする。
メインセッションの場合【UPnP優先】は、自動で選択されます。セッション2等他の場合は、優先を変更することができます。

ルータの設定をするには(Web設定)

LANインタフェース設定

設定メニューツリー



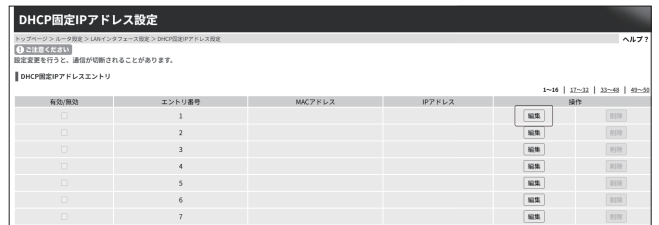
画面1



LANインタフェースを設定する

- ① 画面1のLAN側アドレス/マスク長を設定する。
LAN側IPアドレス、マスク長（設定例：「192.168.1.1/24」）を入力します。
- ② 画面1のDHCPサーバ機能を選択する。
DHCPサーバ機能を使用する場合は、チェックをつけます。
- ③ 画面1の開始IPアドレスを設定する。
②のDHCPサーバ機能でチェックをつけた場合、開始IPアドレスを設定します。
（設定例：「192.168.1.2」）を設定します。
- ④ 画面1の割り当て個数を設定する。
②のDHCPサーバ機能でチェックをつけた場合、割り当て個数(1～253)を設定します。
- ⑤ 画面1のリース時間を設定する。
②のDHCPサーバ機能でチェックをつけた場合、払い出したIPアドレスのリース時間(1～72)を設定します。
- ⑥ 画面1の【設定】ボタンをクリックする。
- ⑦ 画面1の【DHCP固定IPアドレス設定】をクリックする。
特定の端末（MACアドレス）に固定のIPアドレスを割り当てる場合は、クリックすると画面2が表示されます。

画面2



- ⑧ 画面2で設定するエントリ番号の【編集】ボタンをクリックする。
画面3が表示されます。

画面3



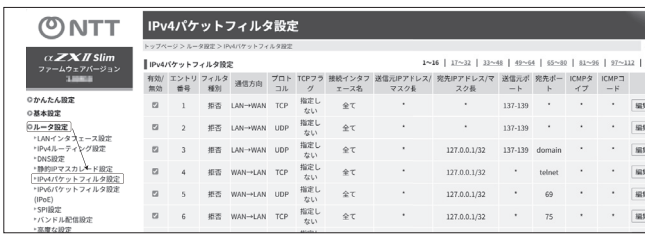
- ⑨ 画面3のMACアドレス、IPアドレスを設定する。
IPアドレスを割り付ける端末のMACアドレス、LANに接続された端末に割り付けるIPアドレスを設定します。

設定を完了する

- ⑩ 画面3の【設定】ボタンをクリックする。
画面2が表示されます。
- ⑪ 画面2で設定したエントリ番号の【有効/無効】にチェックをつけ、【設定】ボタンをクリックする。

IPv4パケットフィルタ設定

設定メニューツリー



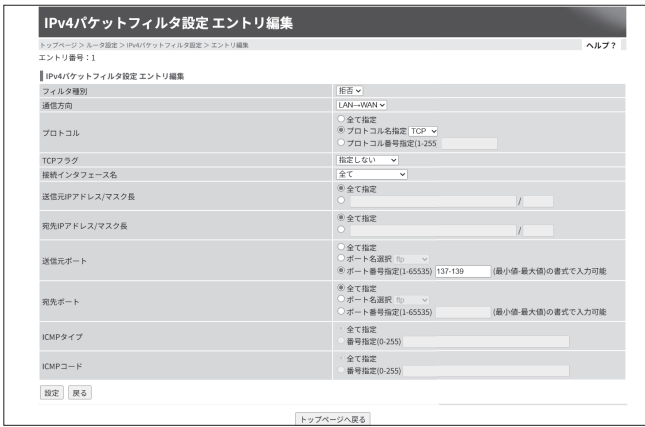
画面 1



IPv4パケットフィルタを設定する

- 画面1で設定するエントリ番号の【編集】ボタンをクリックする。
以下の画面2が表示されます。

画面 2



- 画面2のフィルタ種別を選択する。
拒否の場合は、設定条件に合致したパケットを拒否します。
- 画面2の通信方向、プロトコルを選択する。
パケットの方向、処理したいパケットのプロトコルを選択します。
- 画面2のTCPフラグを選択する。
③のプロトコルでTCPを設定した場合、TCPフラグの種類を選択します。

- 画面2の送信元IPアドレス/マスク長、宛先IPアドレス/マスク長を設定する。
対象の送信元/宛先アドレスを指定する場合は、IPアドレスとマスク長を設定します。

- 画面2の送信元ポート、宛先ポートを設定する。
③のプロトコルでTCP、UDPを設定した場合、処理したいパケットのポート名/番号を設定します。

- 画面2のICMPタイプ、ICMPコードを設定する。
③のプロトコルでICMPを設定した場合、ICMPタイプ/コード番号を設定します。

設定を完了する

- 画面2で【設定】ボタンをクリックする。
画面1が表示されます。
- 画面1の設定したエントリ番号の【有効/無効】にチェックを入れ、【設定】ボタンをクリックする。

ワンポイント

- 送信元/宛先ポートのポート番号について
送信元/宛先ポートをポート番号で設定することができます。

ポート番号	サービス名	ポート番号	サービス名
20	ftpdata	111	sunrpc
21	ftp	119	nnptp
23	telnet	123	ntp
25	smtp	513	login
53	domain	520	route
80	www	1723	pptp
110	pop3		

MEMO

オプションを使う

5

ご利用になれるオプション装置.....5-2

ご利用になれるオプション装置

SmartNetcommunity αZXII Slimには、オプション装置として次のものが用意されています。ご利用になるときは、当社のサービス取扱所へご相談ください。

カールコードレスIP電話機

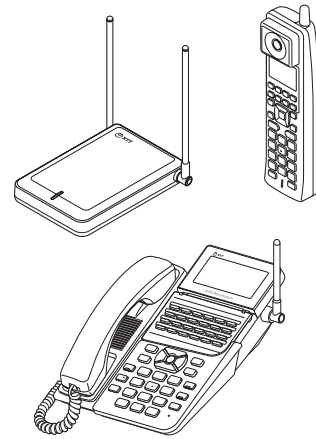
内線電話機として、カールコードレスIP電話機を増設することができます。ベースセットから半径約100 mの範囲で、ハンドセットを自由に持ち運びながらご利用になれます。詳しくはカールコードレス電話機の取扱説明書を参照してください。



DECT方式IP-DIVコードレス 接続装置

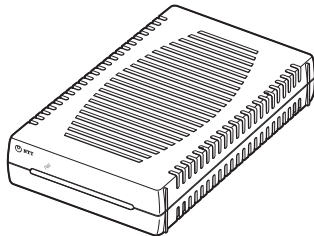
DECT方式DIVコードレス電話機 DECT方式DIVコードレス 卓上電話機

DECT方式IP-DIVコードレス接続装置を収容することにより、DECT方式DIVコードレス電話機／卓上電話機を内線電話機として収容することができます。詳しくはそれぞれの取扱説明書を参照してください。



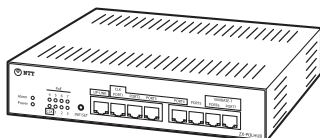
IP単体電話機アダプタ

IP単体電話機アダプタを接続すると、現在お使いの単体電話機やファクスを内線電話機としてお使いいただけます。詳しくはIP単体電話機アダプタの取扱説明書を参照してください。



給電HUB

HUBとしての機能に加え、電源供給するかどうかを使用するポートごとに制御することができます。詳しくは給電HUBの取扱説明書を参照してください。給電HUBは1ポートの給電アダプタもごさいます。



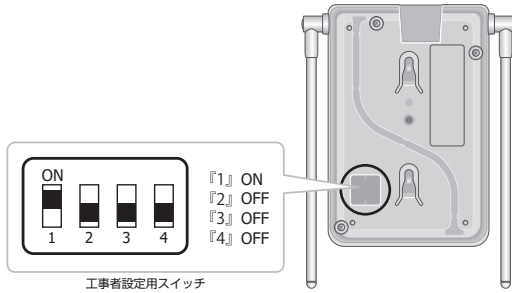
お知らせ

- 現在お使いの単体電話機等で、種類によっては接続できないものもありますので、あらかじめ当社のサービス取扱所へご相談ください。

DECT方式DIVコードレス電話機(卓上含む)を接続する

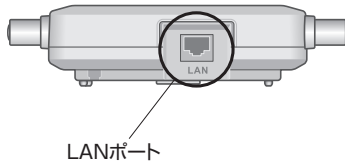
※ディスプレイ表示、ボタン表示は、DECT方式DIVコードレス卓上電話機の場合を例に説明しています。

- 1** DECT方式IP-DIVコードレス接続装置底面の工事者設定用スイッチのカバーをはずし、『1』をONに設定する。

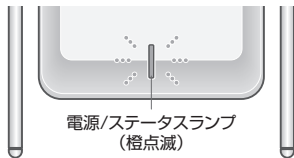


- 2** DECT方式IP-DIVコードレス接続装置の背面にあるLANポートと給電HUB（8ポート品/16ポート品）をLANケーブルで接続する。

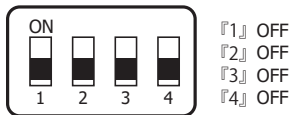
給電HUBのPORT1～7(8ポート品)/PORT1～15(16ポート品)にLANケーブルを接続します。



- 3** DECT方式IP-DIVコードレス接続装置の電源/ステータスランプが橙点灯→消灯→橙点滅することを確認する。
(ランプが橙点滅するまで約40秒かかります)

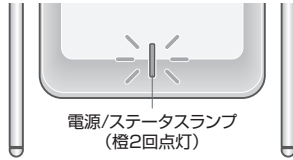


- 4** DECT方式IP-DIVコードレス接続装置底面の工事者設定用スイッチの『1』をOFFに設定する。



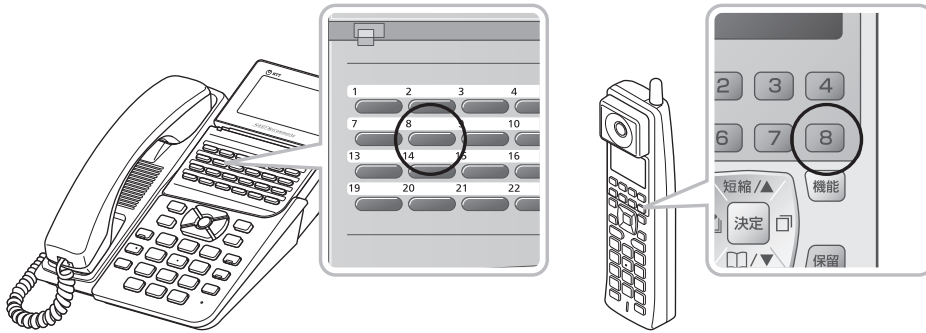
ご利用になれるオプション装置

- 5** DECT方式IP-DIVコードレス接続装置の電源/ステータスランプが橙2回点灯(周期的に)することを確認する。



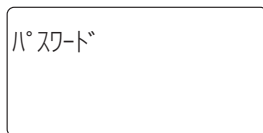
- 6** DECT方式DIVコードレス卓上電話機の回線ボタンの8を押しながら電源を入れる。^{*}
DECT方式DIVコードレス電話機の場合は、回線ボタンの8を押しながら電池パックを取り付ける。^{*}

※DECT方式DIVコードレス卓上電話機の電源の入れ方、DECT方式DIVコードレス電話機の電池パックの取り付け方は、それぞれの取扱説明書を参照してください。

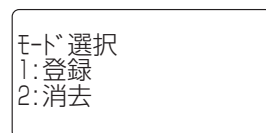


- 7** DECT方式DIVコードレス卓上電話機/DECT方式DIVコードレス電話機のディスプレイに「パスワード」が表示されたら **2** **4** **6** **8** をダイヤルボタンで押す。

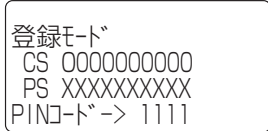
※入力してもパスワードは表示されません。



- 8** DECT方式DIVコードレス卓上電話機/DECT方式DIVコードレス電話機で **1** をダイヤルボタンで押し、「1:登録」を選択する。

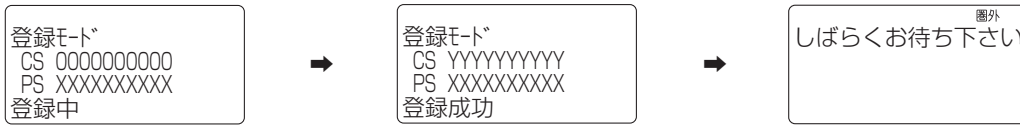


9 DECT方式DIVコードレス卓上電話機/DECT方式DIVコードレス電話機でPINコード $\text{①} \text{①} \text{①} \text{①}$ をダイヤルボタンで押し、 Ⓢ を押す。

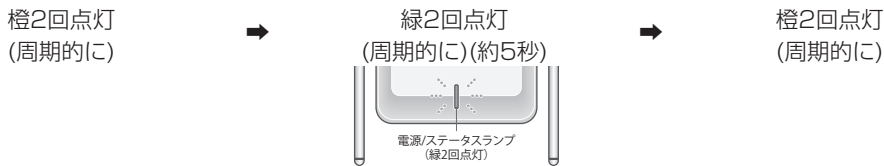


登録が成功するとディスプレイとDECT方式IP-DIVコードレス接続装置の電源/ステータスランプは以下のとおり、表示されます。

<ディスプレイ>



<DECT方式IP-DIVコードレス接続装置の電源/ステータスランプ>



※複数台のDECT方式DIVコードレス卓上電話機/DECT方式DIVコードレス電話機を接続する場合は、手順6～9を繰り返してください。

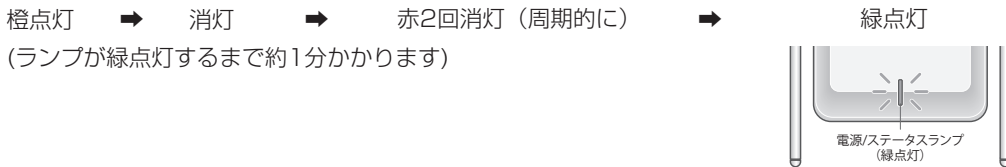
10 DECT方式IP-DIVコードレス接続装置のLANケーブルをいったん抜いて差し込む。

登録モードから通常モードになるとディスプレイとDECT方式IP-DIVコードレス接続装置の電源/ステータスランプは以下のとおり、表示されます。

<ディスプレイ>



<DECT方式IP-DIVコードレス接続装置の電源/ステータスランプ>



MEMO

ご参考に

6

Q&A.....	6-2
特番を使って操作するには	6-6
付属品等をご利用になるには.....	6-10
パソコンの設定.....	6-12
メンテナンスをするには (Web設定)	6-14
本商品の状態を確認するには (Web設定)	6-20
本商品の電源を入れる/切るには.....	6-24
こんな音がしたら	6-25
故障かな?と思ったら	6-26
用語の説明	6-28
索引.....	6-33
仕様.....	6-38
保守サービスのご案内	6-40

「こんなことがしたい」等といった場合にお役にたつ便利な操作や、操作中の注意点等をテーマ別に質問形式でまとめています。

登録・設定

Q 登録・設定操作を中止するときは？

A 時計・カレンダー表示に戻るには、**クリア** を長く押しします。オフフック等によっても操作が中止されます。登録・設定操作を中止するときは、**クリア** を長く押しと時計・カレンダー表示に戻れます（文字や数字の入力中を除く）。また、操作の途中でボタン操作を行わないまま約2分間経過すると、自動的に時計・カレンダー表示に戻ります。操作の途中でハンドセットを取りあげたり、回線ボタン、内線ボタン、スピーカボタンのいずれかを押しと、登録・設定が中止されます。（ワンタッチ登録中は、**クリア**、回線ボタン、内線ボタン、スピーカボタンを押しとボタンの登録になり、中止できません。）通話中にメニュー設定を行っていた場合は、操作の途中で通話を終了すると、登録・設定が中止されます。

Q 電話番号にポーズ（待ち時間）を入れて登録するには？

A ポーズを入れたいところでフックボタンを押します。ワンタッチボタンや電話帳に登録する電話番号にポーズを入れたいときは、フックボタンを押します。フックボタンを1回押しごとに約3秒のポーズが入ります。ポーズも1桁と数えられ、ディスプレイには「-（ハイフン）」と表示されます。

電話帳

Q 電話帳に登録するには？

A 電話帳ボタンを使う方法の他にも、いろいろな登録方法があります。共通電話帳や個別電話帳に登録するには、次のような方法があります。

- 電話帳ボタンを長く押しして登録操作を開始する（P2-28）
- メニュー設定で登録する（P3-6、P3-19）
- Web設定で登録する（P3-37）
- 発信履歴や着信履歴を利用して登録する（P2-13）

※共通電話帳は「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機でしか登録できません。

Q 共通電話帳に登録するには？

A 「システム管理者」に設定されている内線電話機で操作します。共通電話帳の登録は、「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機で行います。本商品のお買い求め時は、全ての内線電話機で操作可能です。

Q 電話帳に登録するときの必須項目は？

A 電話番号とメモリ番号です。電話帳には名称、フリガナ、電話番号（最大32桁）、グループ、アイコンの各項目とメモリ番号が登録できます。（P2-28）電話番号とメモリ番号を登録すれば、名称やグループ等は省略することもできます。

Q 電話帳が登録できないときは？

A 共通電話帳の登録を行うには、「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機で操作可能です。また、すでに登録がいっぱいときには、不要な電話帳を削除してください。

- ディスプレイに「共通電話帳登録は 許可されていません」と表示されたとき
共通電話帳の登録は、「システム管理者」に設定されている内線電話機で行ってください。
- ディスプレイに「メモリがいっぱいです」と表示されたとき
すでに登録件数がいっぱいで、登録できません。不要な電話帳を削除してください。

保留／内線通話／保留転送

Q 保留／保留転送中に電話機のスピーカから警報音が鳴ったら？

A 保留状態が長時間続いていることをお知らせする警報音です。保留中の電話に出ると、警報音が止まります。
保留にしてから保留警報音を鳴らすまでの秒数や、保留警報音が鳴らないようにする設定は、メニュー設定で変更できます。(▶P3-23) また、保留警報音を一定時間鳴らしたあと、自動的に電話を切るように設定することもできます。

Q 内線呼び出しのときに、トーン（信号音）でなく、音声で呼ぶようにするには？

A 内線呼び出し中に **①** を押します。
① を押すごとに、呼び出し方法をトーン（信号音）から音声、または音声からトーン（信号音）に切り替えることができます。

通話

Q お話しをスピーカで聞くには？（スピーカ受話）

A ハンドセットでお話し中にスピーカボタンを押します。
ハンドセットでお話し中にスピーカボタンを押すと、スピーカから相手の方の声が聞こえます。こちらの声は、相手の方には聞こえません。また、スピーカ受話のときにハンドセットを置いてても電話は切れません。ハンドセットを取りあげると、ハンドセットでのお話しに戻ります。

Q 一時的にこちらの音声相手が聞こえないようにするには？（送話カット）

A サービスボタン（送話カット）を押します。
あらかじめサービスボタンに「送話カット」の機能を割り当てておきます。(▶P3-36) 通話中にこのボタンを押すと、サービスボタン（送話カット）のランプが赤く点灯し、一方的に相手の音声だけが聞こえる状態になります。お話しできる状態に戻るときは、もう一度このボタンを押します。
通話中だけでなく、待機中でも送話カットの設定／解除が行えます。また、送話カット状態で通話を終了した場合は、送話カットが設定されたままとなりますのでご注意ください。

表示

Q 「夜間モード」／「休憩モード」／「休日モード」と表示されているときは？

A システムモードが夜／休憩／休日モードに切り替えられています。
 システムモードが夜／休憩／休日モードに切り替わっているときには、それぞれのモードがディスプレイに表示されます。昼モードのときにはモードは表示されません。システムモードは、メニュー設定またはWeb設定により切り替えることができます。(▶P3-25、P3-30) また、時間帯によって自動的に切り替わるように設定することもできます。(▶P3-24)

その他

Q 長い電話番号をかけるときには？（追加ダイヤル）

A 追加ダイヤルでかけると便利です。
 電話帳やワンタッチダイヤル、発信／着信履歴にダイヤルを追加して電話をかけることができます。

- 登録／記録されている内容のあとにダイヤルを追加するとき
 登録／記録されている電話番号を使った発信操作に続けてダイヤルボタンを押します。電話帳を使うときは次のように操作します。
 - ①外線ボタンを押す
 - ②短縮ボタンを押す
 - ③メモリ番号をダイヤルボタンで押す
 - ④追加する番号をダイヤルボタンで押す
 - ワンタッチダイヤルを使うとき：手順②～③の代わりにワンタッチボタンを押す
 - 最後に電話をかけた相手の方に向け直すとき：手順②～③の代わりに発信履歴ボタンを押す
- 登録／記録されている内容の前にダイヤルを追加するとき
 追加する番号をダイヤルボタンで押してから、登録／記録されている電話番号を使った発信操作を行います。電話帳を使うときは次のように操作します。
 - ①外線ボタンを押す
 - ②追加する番号をダイヤルボタンで押す
 - ③短縮ボタンを押す
 - ④メモリ番号をダイヤルボタンで押す
 - ワンタッチダイヤルを使うとき：手順③～④の代わりにワンタッチボタンを押す
 - ただし、手順③～④の代わりに発信／着信履歴を用いてダイヤルすることはできません。

- プリセットダイヤルで電話をかけるとき
 目的の電話帳やワンタッチダイヤル、発信／着信履歴を表示させてからダイヤルボタンで番号を追加し、発信操作を行うことができます。電話帳を使うときは次のように操作します。
 - ①目的の電話帳を検索する（一覧画面で目的の電話帳を選択、または詳細画面を表示）
 - ②追加する番号をダイヤルボタンで押す
 - ③外線ボタンを押す
 - 発信／着信履歴を使うとき：手順①の代わりに目的の発信／着信履歴を検索する
 - ワンタッチダイヤルを使うとき：手順①の代わりにワンタッチボタンを押す

Q 転送電話ができないときは？

A 登録や設定に間違いがないかを確認してください。

- 転送先リストに電話番号が登録されていますか？
 転送電話をセットしても、転送先リストに正しく電話番号が登録されていないと転送できません。転送先リストを登録してください。(▶P2-36)
- 転送電話に必要な操作はすべて完了していますか？
 転送電話に必要な登録やセット操作が正しく行われているかどうかを確認してください。(▶P2-36～P2-39)
- 転送先リストに登録した電話からかけていませんか？
 転送先リストに登録した電話番号からの電話は、転送電話の対象になりません。

Q コールバックができないときは？**A** 次のことを確認してください。

- コールバックの対象としたい電話番号は、正しく登録されていますか？
コールバックの対象としたい電話番号は、あらかじめ共通電話帳に登録しておく必要があります。個別電話帳に登録しても無効となります。
また、同じ電話番号を共通電話帳に重複して登録しないようご注意ください。重複していると、コールバックが行われない場合があります。
- 外出先の方は、呼び出し音が聞こえたあとすぐに電話を切りましたか？
「コールバック着信」と判定されるのは、着信後すぐ（お買い求め時：6秒）に切れた着信のみです。この時間を経過してから電話を切った場合、コールバックは行われません。
- 社内の方は、設定されている時間内に応答しましたか？（システム内線着信の場合）
外出先の方が電話を切ったあと、社内の方が呼び出されている間（お買い求め時：30秒）に応答しなかったときや、社内に人がいなかったときは、システム内線着信のコールバックが行われません。
- 外出先の方は、事業所からかかってきた電話にすぐに応答しましたか？
事業所（システム設置所）からのコールバックが正しく行われても、設定されている時間内（お買い求め時：120秒）に外出先の方が圏外であったり、応答操作をしなかったときは、電話が切れます。

Q 迷惑電話を着信拒否するには？

- A**
- 通話中にサービスボタン（着信拒否）を押します。あらかじめサービスボタンに「着信拒否」の機能を割り当てておきます。（☞P3-36）
-
- 通話中にこのボタンを押すと、通話相手の方の電話番号を共通電話帳の着信拒否が設定されているグループに登録することができます。また、通話終了後でも着信履歴から着信拒否登録することができます。（☞P2-13）
-
- 着信拒否の登録を削除するには、「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機で共通電話帳に登録された電話番号を削除します。（☞P2-35）

特番一覧

■ダイヤル中特番

内線ボタンを押したあと、それぞれの特番を押して操作します。

名 称	機 能	特 番	参照先
外線発信番号	空いている外線を選んで発信する	①	■P2-14
パーク保留応答	パーク保留に応答する	⑤ ①	—
パーク保留	通話をパーク保留する	⑤ ①	—
留守応答起動	留守応答を起動する	⑥ ⑦ ①	—
転送／留守応答解除	転送／留守応答を解除する	⑥ ⑦ ②	—
圏外時サービス設定	内線電話機が圏外になったときの動作を設定する	⑥ ⑦ ⑧	■P3-11
サービスロック起動／解除	サービスロックを起動／解除する	⑥ ⑨ ①	■P3-16
モード切替（自動）	システムモードを設定／解除する	⑨ ④ ①	—
モード切替（昼）	システムモードを昼モードに設定する	⑨ ④ ①	—
モード切替（夜）	システムモードを夜モードに設定する	⑨ ④ ②	—
モード切替（休憩）	システムモードを休憩モードに設定する	⑨ ④ ③	—
モード切替（休日）	システムモードを休日モードに設定する	⑨ ④ ④	—
電話帳発信	電話帳を使って電話をかける	⑨ ⑨	—
代理応答	グループの電話機への着信に代理応答する	# ① ①	■P2-18、 P2-26

■ 機能特番

機能 を押したあと、それぞれの特番を押して操作します。

名 称	機 能	特 番	参照先
データバックアップ	バックアップデータの保存	① ①	—
バックアップデータ復元	バックアップデータの復元を行う	① ②	▶P1-3
ファームウェアバージョン表示	本商品のファームウェアバージョンを表示する	⑦ ①	—
暗証番号初期化	暗証番号をお買い求め時の状態（0000）に戻す	⑧ ① ※	—
通話中PB信号送出停止	外線通話中、一時的にダイヤル送出を停止する	⑨ ⑨	—

※スピーカボタンを押したあと、**機能** を押し、特番を押して操作してください。

特番を使って操作するには

■ 設定特番

内線ボタンを押して、**[決定]** を押したあと、それぞれの特番を押して操作します。

名 称	機 能	特 番	参照先
システムモード時刻設定	システムモードを自動的に切り替える時刻を設定する	① ③	▶P3-24
電話帳ガイド表示設定	電話帳画面のガイド表示を設定する	① ①	▶P3-20
グループ着信ランプ設定	電話帳グループごとの着信ランプの点滅色を設定する	① ①	▶P3-7
暗証番号設定	電話機ごとの暗証番号を登録する	① ②	▶P3-16
着信音色設定	外線・内線の着信音を設定する	② ①	▶P3-9
非通知着信拒否設定	電話番号非通知の着信、公衆電話からの着信、表示圏外からの着信を拒否するかどうかを設定する	② ②	▶P3-22
サービスロック対象設定	サービスロックの対象を設定する	② ③	▶P3-16
電話帳グループ毎鳴動設定	電話帳グループごとの着信音を設定する	② ④	▶P3-7
ダイヤル押下音設定	ダイヤルボタンを押したときに音を鳴らすかどうかを設定する	② ⑧	▶P3-17
留守／転送開始タイマ設定	着信から転送、または留守応答を開始するまでの秒数を設定する	③ ①	▶P3-28
外線転送先呼出タイマ設定	転送先リストの電話番号へ順次転送を行う間隔を設定する	③ ①	▶P3-28
グループ毎コールバック設定	電話帳グループごとに、コールバック着信があったときの動作を設定する	③ ②	▶P3-20
外線転送方式設定	転送先リストの電話番号への発信を、同時／順次のどちらの方法で行うかを設定する	③ ④	▶P3-28
転送元呼出継続設定	転送元の呼び出しを、外線転送後も継続するかどうかを設定する	③ ⑤	▶P3-29
プリセット読出タイマ設定	プリセットダイヤルの表示を継続する秒数を設定する	④ ①	▶P3-26
保留警報音送出タイマ設定	保留状態が続いていることを知らせる警報音を鳴らすまでの時間を設定する	④ ①	▶P3-23
長時間通話警報タイマ設定	通話が長時間続いていることを知らせる警報音を鳴らすまでの時間を設定する	④ ②	▶P3-26
ワンタッチ／プリセクション設定	発信時の動作をワンタッチ／プリセクションのどちらにするかを設定する	⑤ ①	▶P3-8

(次ページへつづく)

名 称	機 能	特 番	参照先
オフフック外線発信設定	オフフックで、使用可能な外線を空いている一番大きい番号から捕捉するか、または設定しない（内線捕捉）のどちらかにするかを設定する	⑤ ①	☛P3-8
オフフック外線応答設定	外線ボタンを押さなくても、ハンドセットを取りあげるだけで着信に応答できる機能を設定する	⑤ ②	☛P3-9
着信音停止設定	着信音を鳴らさないようにする	⑤ ③	☛P3-10
内線呼出音設定	内線からの呼び出しをトーン（信号音）呼び出しとするか音声呼び出しとするかを設定する	⑤ ④	☛P3-14
内線ホットライン設定	ハンドセットを取りあげるだけで呼び出せる内線番号を登録する	⑤ ⑤	☛P3-14
不在着信転送設定	不在着信転送を設定／解除する	⑤ ⑦	☛P3-14
外線毎着信拒否設定	ダイヤルイングループボタン（NK/NKG）を、一時的に着信拒否する	⑤ ⑧	☛P3-9
履歴ランプ表示設定	かかってきた電話に出なかったときに、着信履歴ランプを点滅（周期的に2回点灯）表示させてお知らせするかどうかを設定する	⑤ ⑨	☛P3-17
時計アラーム設定（1回）	電話機のアラーム（1回のみ）を設定する	⑥ ⑩	☛P3-13
時計アラーム設定（毎日）	電話機のアラーム（毎日同時刻に繰り返す）を設定する	⑥ ①	☛P3-13
留守ガイダンス設定	留守応答で使用するガイダンスを選択する	⑦ ⑩	☛P3-11
システム留守ガイダンス設定	システムモードにより留守応答をするときに、システム留守ガイダンスを選択する	⑦ ①	☛P3-29
ヘッドセット設定	ヘッドセットを使用するかどうかを設定する	⑧ ①	☛P3-15
システムモード別ECOモード設定	システムモード（昼／夜／休憩／休日）別に、ecoモードを設定する	⑨ ⑦	☛P3-18
ECOモード自動起動タイマ設定	自動起動でecoモード起動中に手でeco解除した場合、再度ecoモードを起動するまでの時間を設定する	⑨ ⑧	☛P3-26

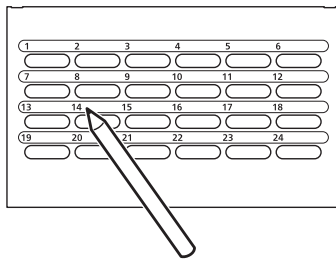
付属品等をご利用になるには

■ 示名条を使う

- 1 電話機パネルの右上のくぼみに指をかけ、上に引き上げる。



- 2 示名条を取り出し、ワンタッチボタンに登録した相手先を記入する。



- 3 示名条をセットして、電話機パネルの左側のツメを電話機に差し込む。

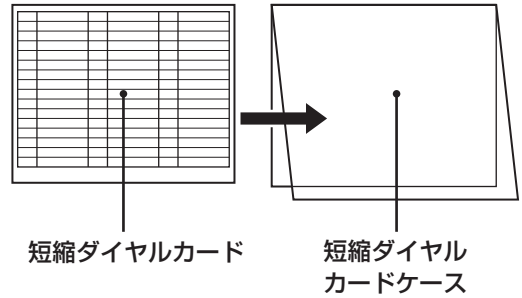


- 4 電話機パネルの右側のツメを電話機に差し込む。

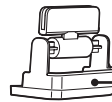
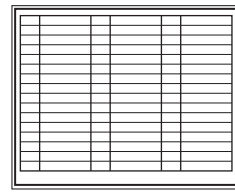


■ 短縮ダイヤルカード（オプション）を使う

- 1 短縮ダイヤルカードに登録した相手先を記入し、短縮ダイヤルカードケースに入れる。



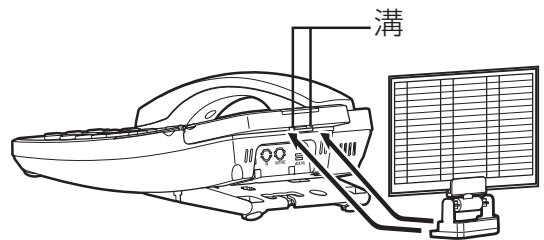
- 2 短縮ダイヤルカードケースを短縮ダイヤルカードケースホルダに入れる。



短縮ダイヤルカードケースホルダ

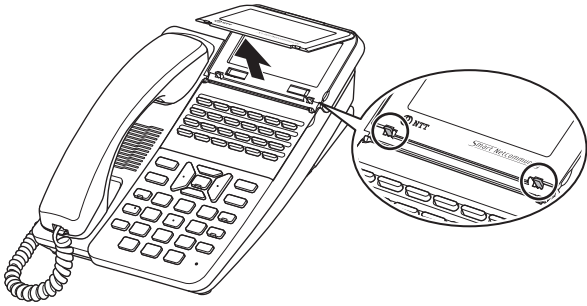
- 3 短縮ダイヤルカードケースホルダのツメを、電話機背面の溝に入れる。

短縮ダイヤルカードケースホルダを取り外すときは、両側のツメを押さえながら、溝から引き抜きます。



■ 電話機LCDパネルを外す

- 1 電話機LCDパネル下の2か所のツメをずらしながら、右のくぼみに指をかけ、下側から上に引き上げる。



■ 電話機LCDパネルをつける

- 1 電話機LCDパネルの上部分を着信ランプの溝に差し込む。



- 2 電話機LCDパネル下の2か所のツメを電話機に差し込む。



STOP お願い

- 交換時は、ディスプレイと電話機LCDパネルの間にごみやほこり等、異物が入らないように注意してください。

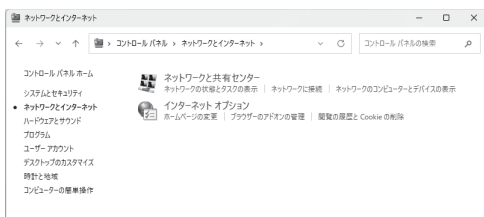
パソコンのネットワーク確認

1 パソコンの [スタート] メニューから右上の [すべて] をクリックし、[Windowsツール] から [コントロールパネル] をクリックする。

または 検索に [コントロールパネル] を入力します。



2 [ネットワークとインターネット] ⇒ [ネットワークと共有センター] をクリックし、[アダプターの設定の変更] をクリックする。



3 [イーサネット接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする。

または [イーサネット]、[ローカルエリア接続] を右クリックします。



4 [ユーザーアカウント制御] 画面が表示された場合は、[はい] または [続行] をクリックする。

5 [インターネット プロトコル バージョン4 (TCP/IPv4)] を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックする。

6 [IPアドレスを自動的に取得する] と [DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択し、[OK] ボタンをクリックする。

7 [イーサネットのプロパティ] で [閉じる] ボタンをクリックする。

Webブラウザの確認

1 パソコンの [スタート] メニューから右上の [すべて] をクリックし、[Windowsツール] から [コントロールパネル] をクリックする。

または 検索に [コントロールパネル] を入力します。



2 [ネットワークとインターネット] ⇒ [インターネットオプション] をクリックする。



3 [接続] タブをクリックし、[LANの設定] ボタンをクリックする。



4 [設定を自動的に検出する]、[自動構成スクリプトを使用する]、[LANにプロキシサーバーを利用する] のチェックを外して [OK] ボタンをクリックする。

JavaScriptの設定確認

1 パソコンの [スタート] メニューから右上の [すべて] をクリックし、[Windowsツール] から [コントロールパネル] をクリックする。

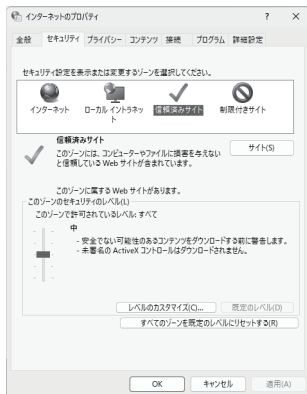
または 検索に [コントロールパネル] を入力します。



2 [ネットワークとインターネット] ⇒ [インターネットオプション] をクリックする。



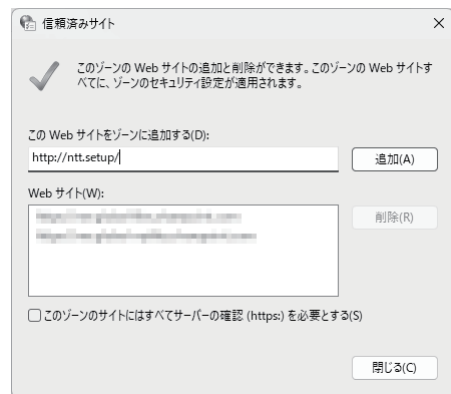
3 [セキュリティ] タブをクリックし、[信用済みサイト] をクリックする。



4 [サイト] ボタンをクリックする。

5 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする] のチェックを外し、[この Webサイトをゾーンに追加する] に [http://ntt.setup/] を入れ、[追加] ボタンをクリックし、[閉じる] ボタンをクリックする。

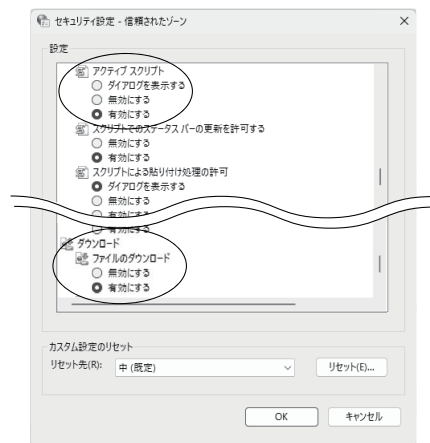
または [http://192.168.1.1] でも可能です。



6 [レベルのカスタマイズ] ボタンをクリックする。

7 [アクティブ スクリプト] と [ファイルのダウンロード] を [有効にする] を選択し、[OK] ボタンをクリックする。

※「このゾーンの設定を変更しますか？」の画面が表示された場合は、[はい] または [適用] をクリックしてください。

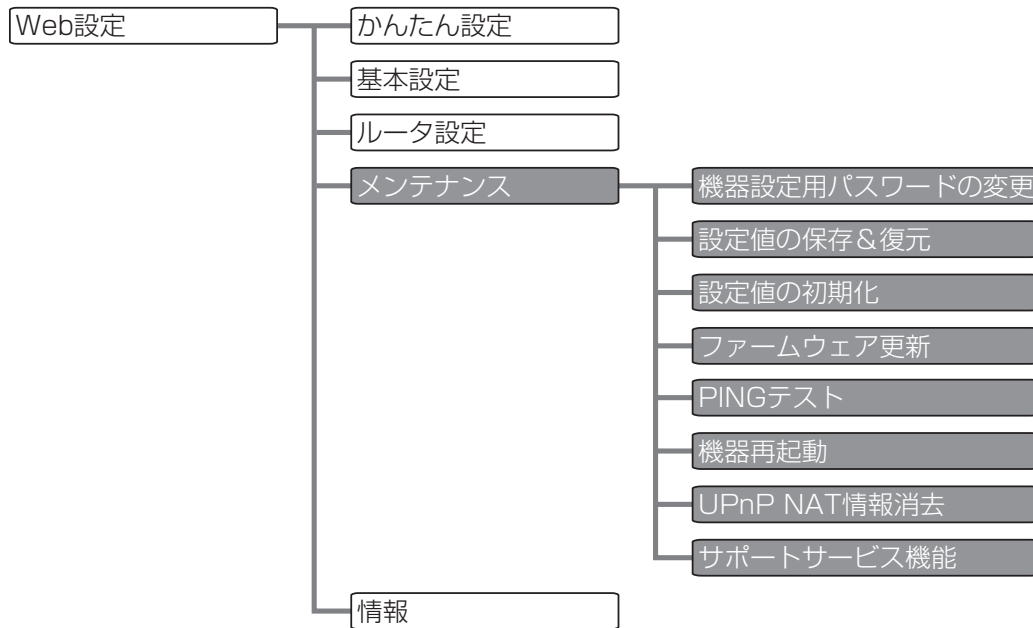


8 手順3の画面に戻るので、[OK] ボタンをクリックする。

メンテナンス項目一覧

メンテナンスに関連する設定を行います。

Web設定に初めて接続する場合や、かんたん設定については、「電話機を利用するには」のWeb設定（P1-22）を参照してください。

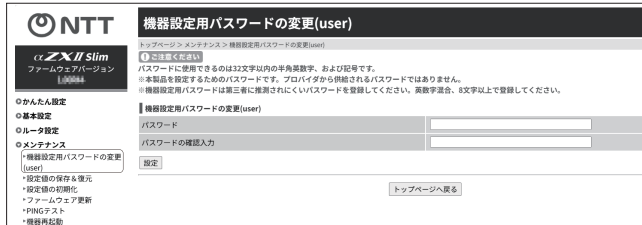


中項目	小項目	項目名	設定内容
機器設定用パスワードの変更 (user)	パスワード/パスワードの確認入力		userアカウントの機器設定用のパスワードの設定
設定値の保存&復元	設定値の保存		本商品の設定データの保存
	設定値の復元		保存した設定データを本商品へ復元
設定値の初期化	工場出荷時設定に戻す		本商品の設定を工場出荷時設定へ戻し、再起動
ファームウェア更新	現在のファームウェアバージョン		現在のファームウェアバージョンの表示
	ファームウェアファイル		更新対象のファームウェアの設定
	自動更新時間		新しいファームウェアがある場合、自動的にファームウェア更新を行う時間の設定
	ファームウェア更新情報		ファームウェアの更新に関する状態表示
	更新確認		ファームウェアの更新情報の確認
	ファームウェア更新		ファームウェアの更新がある場合、更新
PINGテスト	宛先IPアドレス		本商品のWAN側/LAN側の指定したIPv4アドレス/IPv6アドレスに対してのPINGテスト
機器再起動	再起動		本商品の再起動
UPnP NAT情報消去	UPnP NAT情報消去		UPnPにより設定されたNAT情報の消去

中項目	小項目	項目名	設定内容
サポートサービス機能	—	サポートサービス機能	リモートによるサポートサービスを受けるかどうかの設定
		定期バックアップ	センタサーバへ本商品の設定データのバックアップ (定期自動)
		定期バックアップ 実施周期	定期バックアップ実施周期の設定
		定期バックアップ 時刻設定	定期バックアップ時刻の設定
		定期バックアップ 曜日設定	定期バックアップ曜日の設定
		定期バックアップ 日付設定	定期バックアップ日付の設定
		設定値の手動バックアップ	センタサーバへ本商品の設定データのバックアップ (手動随時)
		復元機能	センタサーバに保存している本商品の設定データの復元
		機器情報収集	センタサーバへ本商品の機器情報 (運転ログ等) の通知の設定
		機器情報収集 時刻設定	機器情報収集時刻の設定
		自動発報	センタサーバへ本商品の故障等アラーム情報の自動通知の設定

■ 機器設定用パスワードの変更

■ 設定メニューツリー



■ 画面 1



■ 機器設定用パスワードの変更

① 画面1のパスワードを設定する。

画面1で (パスワード・パスワードの確認入力) を入力します。

② 画面1の [設定] ボタンをクリックする。

機器設定用パスワードが設定されます。

■ 設定値の初期化

■ 設定メニューツリー



■ 画面 1



■ 完全初期化

① 画面1の [工場出荷時設定に戻す] ボタンをクリックする。

ダイアログが表示されるので [OK] ボタンをクリックすると、画面2が表示されます。

■ 画面2

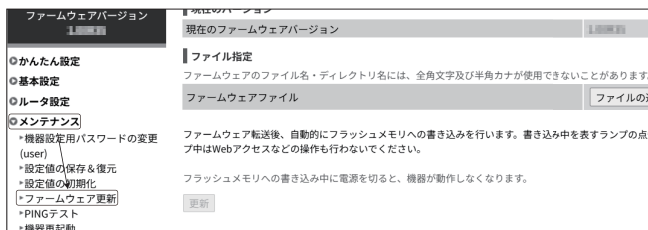


初期化・再起動が実施されます。

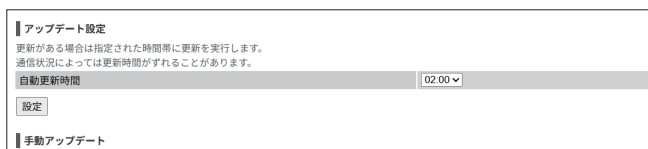
■ 自動ファームウェア更新

ファームウェアの自動更新を行うには、あらかじめ [ルータ設定] ⇒ [高度な設定] ⇒ [ファームウェア更新種別] で [自動更新] の設定をしておいてください。

■ 設定メニューツリー



■ 画面 1



■ 自動ファームウェア更新（時間）を設定する

① 画面1の自動更新時間を選択する。

最新のファームウェアがあった場合、自動でファームウェア更新する時間を選択します。

■ 設定を完了する

② 画面1の [設定] ボタンをクリックする。

本商品のファームウェア更新が設定した時間に実行されます。



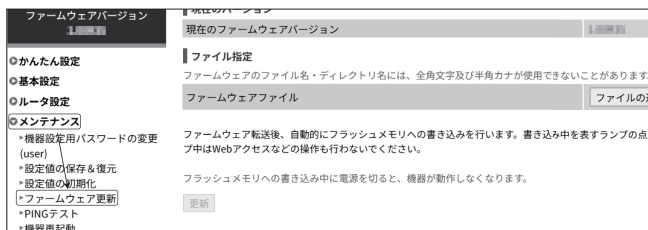
お知らせ

- ファームウェアの自動更新は、ネットワークが接続されている環境でご利用できます。また、最新ファームウェアのダウンロード後、本商品を再起動して最新のファームウェアに更新されます。
- ファームウェアの更新中は、ご利用中のインターネットサービスが中断される場合があります。この場合は、ファームウェア更新が終了するまでしばらくお待ちください。
- お客様のご利用状況（通話中等）によっては、設定された時間内にファームウェアの自動更新が行われない場合があります。

■ 手動ファームウェア更新

ファームウェアの手動更新を行うには、あらかじめ [ルータ設定] ⇒ [高度な設定] ⇒ [ファームウェア更新種別] で [手動更新] の設定をしておいてください。

■ 設定メニューツリー



■ 画面1



■ 手動でファームウェアを更新する

- ① 画面1のファームウェア更新情報の [更新確認] ボタンをクリックする。

最新のファームウェアがある場合、画面2が表示されます。

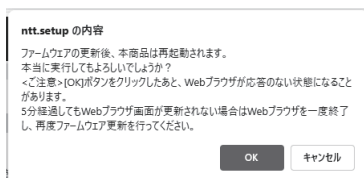
■ 画面2



- ② 画面2の [ファームウェア更新] ボタンをクリックする。

画面3が表示されます。

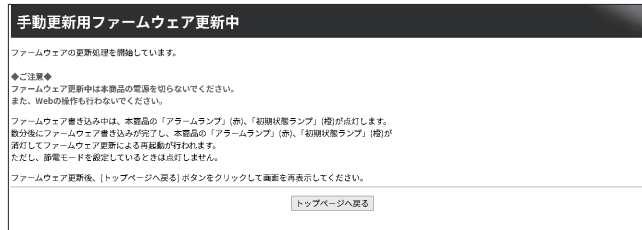
■ 画面3



- ③ 画面3の [OK] ボタンをクリックする。

ファームウェア更新が開始され、画面4が表示されます。

■ 画面4



- ④ ファームウェア更新後に [トップページへ戻る] ボタンをクリックする。

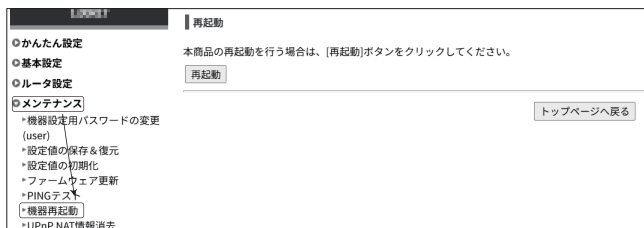
ファームウェア更新後は、本商品が再起動されます。

● お知らせ

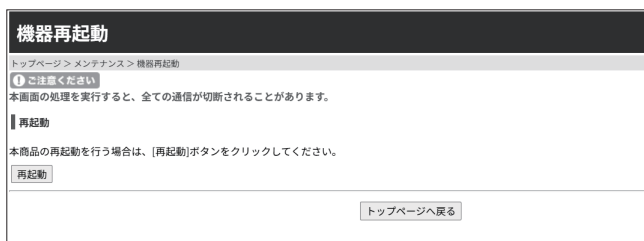
- ファームウェアの手動更新は、ネットワークが接続されている環境でご利用できます。また、最新ファームウェアのダウンロード後、本商品を再起動して最新のファームウェアに更新されます。
- ファームウェアの更新中は、ご利用中のインターネットサービスが中断される場合があります。この場合は、ファームウェア更新が終了するまでしばらくお待ちください。

■ 機器再起動

■ 設定メニューツリー



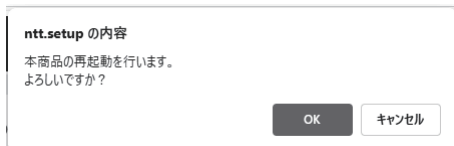
■ 画面 1



■ 機器を再起動する

- ① 画面1の [再起動] ボタンをクリックする。
画面2が表示されます。

■ 画面 2



- ② 画面2の [OK] ボタンをクリックする。
本商品の再起動が開始され、画面3が表示されます。

■ 画面 3



■ 再起動完了

- ③ 画面3の [再表示] ボタンをクリックする。



ワンポイント

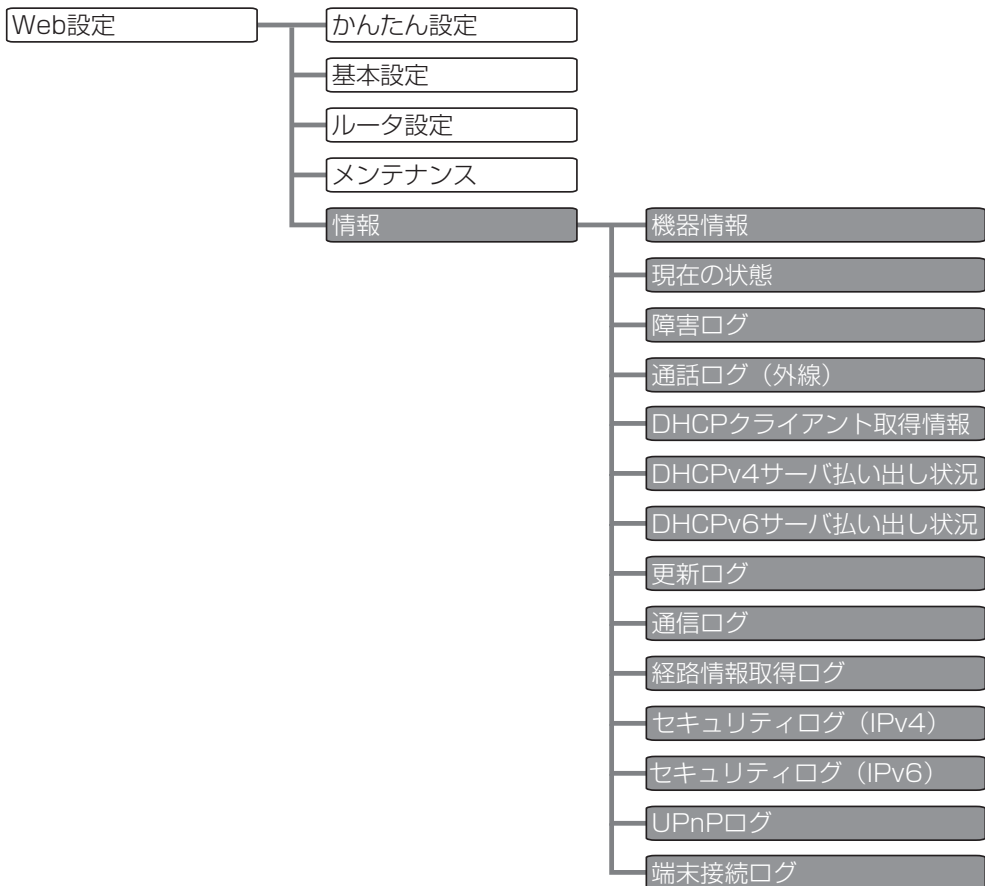
● 機器再起動について

本商品前面の再起動ボタン (P1-8) の押下によって、再起動することもできます。

本商品の状態を確認するには (Web設定)

情報一覧

本商品の状態を確認します。



中項目	小項目	設定内容
機器情報	現在のファームウェアバージョン	現在のファームウェアバージョンの表示
	ファームウェア更新種別	ファームウェア更新種別および自動更新時間の表示
	データ通信種別	インターネット接続を行う種別の表示
現在の状態	MACアドレス (WAN)	本商品のWAN側MACアドレスの表示
	MACアドレス (LAN)	本商品のLAN側MACアドレスの表示
	接続状態	各接続先 (PPPセッション) の接続状態の表示
	WAN側IPアドレス	各接続先 (PPPセッション) のWAN側IPアドレスの表示
	接続先IPアドレス	各接続先 (PPPセッション) の接続先IPアドレスの表示
	DNSサーバアドレス	各接続先 (PPPセッション) のDNSサーバアドレスの表示
	WAN	現在のWANポートの接続状態表示
	LAN1	現在のLAN1ポートの接続状態表示
	LAN2	現在のLAN2ポートの接続状態表示
	LAN3	現在のLAN3ポートの接続状態表示
	LAN4	現在のLAN4ポートの接続状態表示
	ハードウェア状態	現在のハードウェア状態表示
	電話状態	現在の電話状態表示
	IPv6ファイアウォール機能	IPv6ファイアウォール機能の状態ログ表示

中項目	小項目	設定内容
障害ログ	—	本商品で発生した障害/通知に関するログ表示
通話ログ (外線)		ひかり電話の発信、着信、通話切断等の履歴情報表示
DHCPクライアント取得情報	現在の時刻	現在の時刻表示
	モード	DHCPv4クライアント (IPoE) のモード表示
	IPv4アドレス/マスク長	DHCPv4クライアント (IPoE) のIPv4アドレス/マスク長表示
	リース時間	DHCPv4クライアント (IPoE) のリース時間表示
	モード	DHCPv6クライアント (IPoE) のモード表示
	IPv6プレフィックス	DHCPv6クライアント (IPoE) のIPv6プレフィックス表示
	リース時間	DHCPv6クライアント (IPoE) のリース時間表示
	DNSサーバアドレス	DHCPv6クライアント (IPoE) のDNSサーバアドレス表示
	SNTPサーバアドレス	DHCPv6クライアント (IPoE) のSNTPサーバアドレス表示
	DHCP再取得 (IPoE)	DHCP (IPoE) 再取得
	モード	DHCPv6クライアント (PPPoE) のモード表示
	IPv6プレフィックス	DHCPv6クライアント (PPPoE) のIPv6プレフィックス表示
	リース時間	DHCPv6クライアント (PPPoE) のリース時間表示
	DNSサーバアドレス	DHCPv6クライアント (PPPoE) のDNSサーバアドレス表示
	DHCP再取得 (PPPoE)	DHCP (PPPoE) 再取得
	最新状態に更新	最新状態の表示
DHCPv4サーバ払い出し状況	DNSサーバアドレス	DNSサーバアドレスの表示
	SIPサーバアドレス	SIPサーバアドレスの表示
	内線REGISTERドメイン	内線REGISTERドメインの表示
	現在の払い出し件数	現在の払い出し件数の表示
	現在の時刻	現在時刻の表示
	IPv4アドレス/マスク長	割り当てられたIPv4アドレス/マスク長の表示
	MACアドレス	MACアドレスの表示
	リース時間	DHCPv4サーバが払い出した情報のリース時間の表示
DHCPv6サーバ払い出し状況	DNSサーバアドレス	DNSサーバアドレスの表示
	SIPサーバアドレス	SIPサーバアドレスの表示
	内線REGISTERドメイン	内線REGISTERドメインの表示
	現在の払い出し件数	現在の払い出し件数の表示
	現在の時刻	現在時刻の表示
	IPv6プレフィックス	割り当てられたIPv6のプレフィックスの表示
	MACアドレス	MACアドレスの表示
	リース時間	DHCPv6サーバが払い出した情報のリース時間の表示
更新ログ	—	本商品で実施されたファームウェア更新ログの表示 (最大200件)
通信ログ		本商品と各サーバとの通信ログの表示 (最大1000件)
経路情報取得ログ		本商品が経路情報提供システムにアクセスしたログの表示 (最大20件)
セキュリティログ (IPv4)		本商品が起動直後からメモリ上に蓄積しているセキュリティ関連ログの表示 (最大1000件)
セキュリティログ (IPv6)		
UPnPログ		UPnPの状態に関するログの表示 (最大1000件)
端末接続ログ		本商品に接続された機器の情報の表示 (最大2000件)

本商品の状態を確認するには (Web設定)

■ 機器情報

■ 設定メニューツリー

○かんたん設定	■アップデート設定
○基本設定	○ファームウェア更新種別
○ルータ設定	■データ通信
○メンテナンス	○データ通信種別
○情報	
□機器情報	
■現在の状態	
■障害ログ	
■通話ログ(外線)	
■DHCPクライアント取得情報	
■DHCPv4サーバ払い出し状況	
■DHCPv6サーバ払い出し状況	

■ 現在の状態

■ 設定メニューツリー

○かんたん設定	■アップデート設定
○基本設定	○ファームウェア更新種別
○ルータ設定	■データ通信
○メンテナンス	○データ通信種別
○情報	
■機器情報	
■現在の状態	
■障害ログ	
■通話ログ(外線)	
■DHCPクライアント取得情報	
■DHCPv4サーバ払い出し状況	
■DHCPv6サーバ払い出し状況	

■ 画面 1

機器情報	
トップページ > 情報 > 機器情報	
現在のバージョン	
現在のファームウェアバージョン	1.00.00.00
アップデート設定	
ファームウェア更新種別	手動更新
データ通信	
データ通信種別	無効

■ 機器情報を確認する

- ① 画面 1 で機器情報を表示する。
本商品の情報が表示されます。

■ 画面 1

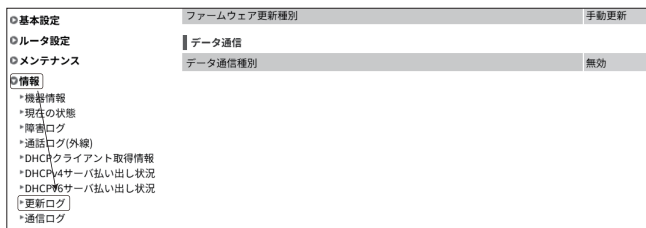
現在の状態	
トップページ > 情報 > 現在の状態	
■商品情報	
MACアドレス(WAN)	BC:BC:BC:BC:BC:BC
MACアドレス(LAN)	DE:DE:DE:DE:DE:DE
■機器状態情報	
■セッション1	
接続状態	未接続(接続不可)
WAN側IPアドレス	-
接続先IPアドレス	-
DNSサーバアドレス	-
■セッション2	
接続状態	未接続(接続不可)
WAN側IPアドレス	-
接続先IPアドレス	-
DNSサーバアドレス	-
■セッション3	
接続状態	未接続(接続不可)
WAN側IPアドレス	-
接続先IPアドレス	-
DNSサーバアドレス	-
■セッション4	
接続状態	未接続(接続不可)
WAN側IPアドレス	-
接続先IPアドレス	-
DNSサーバアドレス	-
■セッション5	
接続状態	未接続(接続不可)
WAN側IPアドレス	-
接続先IPアドレス	-
DNSサーバアドレス	-
■IPv6セッション	
接続状態	待機中
WAN側IPv6アドレス(PPPoE)	-
接続先IPv6アドレス	-
DNSサーバアドレス	-
■リンク状態	
WAN	通信中(100Mbps 全二重)
LAN1	通信中(100Mbps 全二重)
LAN2	未接続
LAN3	通信中(1Gbps 全二重)
LAN4	通信中(1Gbps 全二重)
ハードウェア状態	正常
■電話情報	
電話状態	使用可能
■セキュリティ状態	
■IPv6ファイアウォール機能	
2025-12-17 09:33:50	有効
-	-
-	-
トップページに戻る	

■ 現在の状態を確認する

- ① 画面 1 で現在の状態を表示する。
本商品の状態が表示されます。

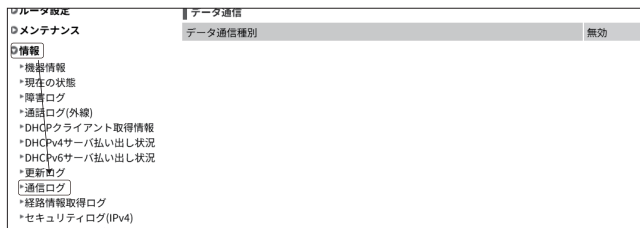
■ 更新ログ

■ 設定メニューツリー



■ 通信ログ

■ 設定メニューツリー



■ 画面 1



■ 更新ログを確認する

- ① 画面1で更新ログを表示する。
ファームウェア更新の履歴等が表示されます。

■ 画面 1



■ 通信ログを確認する

- ① 画面1で通信ログを表示する。
サーバとの通信の履歴等が表示されます。

本商品の状態を確認するには (Web設定)

6 ご参考に

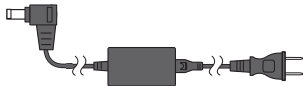
本商品の電源を入れる/切るには

消防点検等で電源の入り/切りが必要になったときは、下記のように行ってください。
電源を切る前に、必ず次のことを確認してください。

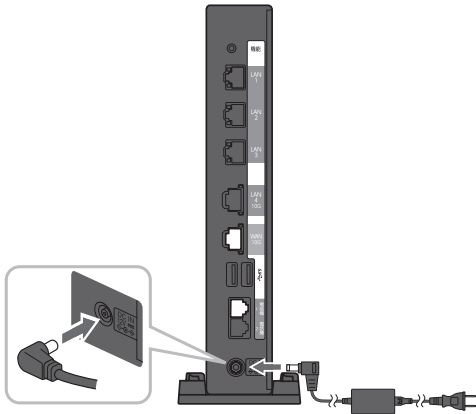
- 他の方が電話機を使用していないか
- ファームウェアの更新中でないか
- バックアップ中ではないか
- データ復元中でないか

本商品の電源を入れる

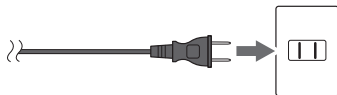
- 1 電源アダプタと電源コードを接続する。



- 2 本商品に電源アダプタを差し込む。

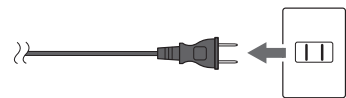


- 3 電源プラグを電源コンセントに差し込む。



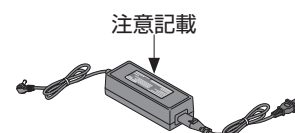
本商品の電源を切る

- 1 電源プラグを電源コンセントから抜く。



お知らせ

- 電源アダプタの注意記載は、見えるようにしてください。



●こんな音がしたら

	音	こんなときに…	音の意味
電話をかける／受ける	ツーツー… (内線発信音)	ハンドセットを取りあげたとき または内線ボタンを押したとき	他の内線電話機を呼び出せませ
	ツー (外線発信音)	外線ボタンを押したとき	電話をかけられます
	ブルルル… (呼出音)	外線または内線で相手の方を呼び出し しているとき	相手の方を呼び出しています
	プープー… (話中音)	電話をかけた相手の方がお話し中のとき または他の内線電話機が使用中のとき	お話し中です
登録設定	ツツツ… (設定登録音)	決定 を押したとき	設定を開始します
	ピッピッ (登録確認音)	設定・登録の操作が終わったとき	正しく設定・登録されました
	ピーピー (登録確認音)		
	ビビビビビビ (登録拒否音)	無効な入力やボタン操作を行ったとき	正しく設定・登録できません
その他	ビピ・ピピ (アラーム音)	アラームの設定時刻になったとき	アラームの設定時刻になりました
	ピッ (キータッチトーン)	ボタンを押したとき	ボタンが押されました
	保留メロディ (保留音)	電話を保留したとき	電話が保留されています

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。改善されない場合は当社のサービス取扱所にご連絡ください。

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
本商品の電源ランプが消灯している 全部の内線電話機が使えない	本商品の電源が入っていない 本商品の電源アダプタが抜けている	電源アダプタを正しく接続してください 電源アダプタのコードが破損していないか確認してください	—
本商品の電源ランプとACTランプ以外のランプが消灯している	節電機能動作中になっている	故障ではありません	—
本商品のアラームランプと初期状態ランプが赤点灯している	本商品が高温になっている (速度制限で通信中)	本商品の周辺に空間があることを確認してください	■P1-15
本商品のアラームランプが赤点灯し、アラームランプ以外のランプが消灯している	本商品が高温になっている (装置停止状態)		
本商品のアラームランプが赤点灯し、初期状態ランプが橙点灯している	ファームウェア更新中になっている	ファームウェアの更新が終わるまで本商品の電源を切らないで、そのままお待ちください	—
本商品のアラームランプが赤点灯し、15分以上となっている	本商品が異常状態になっている	本商品の電源を入れ直してください	■P6-24
本商品のACTランプが消灯している			
本商品の登録ランプが消灯か、緑点滅している	ネットワークから情報の取得中になっている	本商品の登録ランプが緑点灯するまでそのままお待ちください	—
本商品の登録ランプが赤点滅している	ネットワークから情報の取得エラーになっている	本商品の電源を入れ直して、登録ランプが緑点灯することを確認してください	—
本商品の登録ランプが赤点滅し、初期状態ランプが橙点滅している	LAN側IPアドレス（サブネット）がWAN側IPアドレスと重複している	「Web設定」で正しいIPアドレスを設定してください （[ルータ設定] ⇒ [LANインタフェース設定] の [LAN側IPアドレス/マスク長]）	■P4-8
本商品の電話ランプが消灯している	本商品で使用できない構成の接続がされている	本商品と接続している機器を確認し、正しく接続してください	■P1-17
アナログ電話機が使えない	電話機ポートが外れている	電話機コードを電話機ポートに正しく接続してください	—
本商品背面のLINKランプが消灯している	回線終端装置の電源が入っていない 回線終端装置の配線が抜けている	回線終端装置の電源が入っているか確認してください 本商品のWANポートと回線終端装置のLANポートを正しく接続してください	—
ブラウザで本商品の「Web設定」ページが表示されない	パソコンのIPアドレスが「192.168.1.xxx」に設定されていない	パソコンの「ネットワーク確認」を確認してください	■P6-12
	WebブラウザやOSの設定でプロキシサーバを使用するになっている	パソコンの「Webブラウザの確認」を確認してください	■P6-12
	JavaScriptが無効になっている	パソコンの「JavaScriptの設定確認」を確認してください	■P6-13
本商品のデータ通信ランプが消灯している	接続先の設定が間違っている	「Web設定」で正しい接続先を設定してください （[基本設定] ⇒ [接続先設定 (IPv4PPPoE)]）	■P4-7

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
インターネット上のホームページが開けない	ネームサーバ (DNSサーバ) が間違っている	「Web設定」で正しいネームサーバを設定してください (「基本設定」⇒「接続先設定(IPv4PPPoE)」, 「接続先設定(IPv6PPPoE)」)	■P4-2、 P4-3
一部の内線電話機が使えない	内線電話機のLANケーブルが抜けている	内線電話機のLANケーブルを正しく接続してください	—
	ハンドセットが浮いている	ハンドセットをしっかりと置き、しばらく待ってから電話をかけてください	—
着信音が鳴らない	着信音が鳴らないように設定されている	故障ではありません	■P3-10
	着信音量が小さくなっている	着信音量を大きくしてください	■P1-28
	システムモードが夜/休憩/休日モードになっている	故障ではありません	■P3-25
「ツー」という発信音が聞こえない	決定ランプが点滅している	しばらく待ってからかけ直してください	—
	ハンドセットのコードが抜けている	ハンドセットのコードを正しく接続してください	—
	ハンドセットが浮いている	ハンドセットをしっかりと置き、しばらく待ってから電話をかけてください	—
こちらの声が相手に聞こえない	送話カットが設定されている	サービスボタン (送話カット) を押して赤いランプを消灯し、送話カットを解除してください	■P6-3
	スピーカ受話になっている	マイクボタンを押すか、ハンドセットを取りあげてお話しください	—
電話帳が登録できない	「システム管理者」に設定された電話機で登録していない	共通電話帳は、「システム管理者」に設定された電話機から登録してください	■P6-2
	33桁以上の電話番号を登録しようとしている	32桁までの電話番号を登録してください	■P2-28
ワンタッチダイヤルに登録できない	33個以上登録しようとしている	1つのワンタッチボタンには32個までのボタン操作を登録してください	■P3-36
内線で呼び出すと他の内線電話機の着信音が鳴る	電話機の位置を変えている	電話機を元の位置に戻してください	—
	内線番号が違う	内線番号を確認してかけ直してください	—
ダイヤルが終わっても呼び出し音が聞こえるまで時間がかかる	相手の方がナンバー・ディスプレイや発信者番号表示をご利用の場合は、呼び出し音が聞こえるまでの時間が長くなることもある	故障ではありません	—
「ブツブツ」と小さな音がする	ナンバー・ディスプレイをご利用時、着信音を鳴動しない設定にしている場合に「ブツブツ」と小さな音がすることがある	故障ではありませんが、気になる場合は音量を小さくするか、着信音が鳴るように設定してください	■P1-28、 P3-10
通話開始時にブツ等の音が入る	IP電話機を使用した通話開始時にパケットロス等により、相手の方に一瞬ブツ等の音が聞こえる場合がある	故障ではありません	■P2-15、 P2-17
ワンタッチボタン、電話帳が使用できない場合がある	Web設定等工事中には使用できない場合がある	故障ではありません、工事が終了してから使用してください	■P2-11、 P2-28

アルファベット・数字

- bit/s,bps** …………… 通信速度の単位、秒あたりに伝送されるビット数です。
- CHAP** …………… PPPで接続の際にユーザ認証するために利用する認証用プロトコルです。PAPと異なり毎回パスワードをもとに生成したビット列をネットワーク上でやりとりするため、安全性が高いという特徴があります。
- DHCP** …………… TCP/IPプロトコルを使用する各機器は、固有のIPアドレスを持つ必要があり、DHCPは、IPアドレスを各端末に自動的に割り振るためのプロトコルです。DHCPサーバからIPアドレスを取得する場合、IPアドレスに加えて、デフォルトゲートウェイやドメイン名等、IPアドレス以外の情報も取得可能であり、ネットワークの設定や管理が簡単になります。
- DHCPクライアント** …… DHCPサーバによりIPアドレスを割り当てられるシステムです。
- DHCPサーバ** …………… DHCPを用いてIPアドレス等の設定を配布・管理するシステムです。
- DMZ** …………… グローバル側からのアクセスを特定のホストに転送する機能です。ネットワークゲーム等を使用するときには使用します。
- DNS** …………… IPアドレスではなく、ドメイン名による伝送経路選択をする機能です。
- DNSサーバ** …………… ドメイン名とIPアドレスとの対応表を持っており、ドメイン名の問い合わせにIPアドレスを通知するサーバです。
- DNS Proxy** …………… LAN側からPPPやDHCP等から取得したDNSサーバアドレスへDNS問い合わせを中継し、名前解決を実施します。
- DS-Lite** …………… LAN側からIPv4パケットを受信し、WAN側へIPv6パケットでカプセル化し、DS-Liteパケットとして送信します。WAN側からDS-Liteパケットを受信して、LAN側へIPv4パケットにデカプセル化して送信します。
- FTP** …………… ネットワーク上のクライアントとホストコンピュータとの間で、ファイルの転送を行うためのプロトコルです。
- HTTP** …………… Webサーバとブラウザの間でHTML(hypertext markup language)ファイル等を転送するときに利用するプロトコルです。
- ICMP** …………… TCP/IPプロトコルにおいて、その機能を補助するために用意された制御用のプロトコルであり、RFC792で定義されています。TCP/IPパケットの転送中において発生した各種のエラー通知や、動作の確認等を行うために利用されます。
- IP** …………… 異なるネットワークの間でパケットの転送を行うための取り決めを表します。IPアドレスにより相手先を判断します。
- IPoE** …………… PPPoE等を用いずにEthernet上でIPパケット転送を行う方法です。
- IPアドレス** …………… インターネット接続等のTCP/IPを使ったネットワーク上で、コンピュータ等を識別するための番号です。32bitの値を持ち、8bitずつ10進法で表現した数値をピリオドで区切って表現します。
- IP電話** …………… インターネット等のIPネットワーク上で音声データを転送するサービスです。
- IPマスカレード** …………… NAT (IPアドレス変換) 機能の一つで、ポート番号を動的に割り当てることにより、1つのWAN側IPアドレスに対して複数のLAN側端末を接続することが可能となる機能です。
- LAN** …………… 1つの建物内等に接続された、複数のパソコンやプリンタ等で構成されている小規模なコンピュータネットワークです。
- MACアドレス** …………… ネットワーク上で、機器の区別をするためにハードウェア (パソコン等) に付けられた固有のアドレスです。利用者がこのアドレスの値を決めることはできません。
- MAP-E** …………… アドレスマッピングルールに基づき、IPv6アドレス、IPv4アドレスおよびポート番

- 号を相互変換可能な計算方法により算出し、ステートレスなアドレス管理とIPv4アドレスの有効利用を目的とする方式です。
- MDI/MDI-X** …… より対線（ツイストペアケーブル）を利用する、Ethernet機器のポートの種類です。ネットワークカードのポートのように端子の1・2番に送信、3～6番に受信が割り当てられているものをMDIといい、ハブやスイッチのように送受信の配置がその逆に割り当てられているものをMDI-Xといいます。MDIとMDI-Xの接続にはストレートケーブルを、MDIどうしやMDI-Xどうしの接続にはクロスケーブルを使用します。MDI/MDI-Xを「自動設定」にすると、相手のポートタイプを自動判別して接続します。
- PAP** …… PPPリンクの接続を確立するときに認証するプロトコルです。RFC1334で仕様が公開されています。
- PING** …… 端末間の接続が正常に行えるかを試験するプログラムです。
- PPPoE** …… Ethernet上でPPPを利用するためのプロトコルです。
- PPTP** …… インターネットを使ってVPNを実現するためのプロトコルの一つです。PPTPでは、PPPをベースにして、データの暗号化、認証、リンクの確立等の機能を持たせています。
- SNTP** …… ネットワークを介して時刻を調整するプロトコルで、NTPの簡易版です。
- SPI** …… ファイアウォール機能の方式の一つで、通信するすべての通信をセッション単位で管理します。
- TCP** …… データの転送を制御するプロトコルで、送信先に接続してデータ送信します。受信側は受け取ったパケットの到達確認を行い、エラーを訂正する機能を持つため、信頼性の高い通信を実現できます。
- TCP/IP** …… インターネットやLANで一般的に使われているプロトコルです。
- UDP** …… データ転送を制御するプロトコルです。送信先に接続してデータを送信します。コネクションレス型のためTCPと比べ転送速度が速いです。
- UPnP** …… パソコンや周辺機器、AV機器、電話機、家電製品等の機器をネットワークに接続し、相互に機能を提供しあうための技術仕様のことです。
- USB** …… キーボードやマウス、モデム等の周辺機器とパソコンを結び、データ伝送路の規格の一つです。
- VoIP** …… IP網を利用して提供する音声電話サービスです。
- VPN** …… インターネットを経由するにもかかわらず、拠点間を相互接続し、安全な通信を可能にするセキュリティ技術によって構築された仮想プライベートネットワークのことです。
- WAN** …… 地理的に離れた地点にあるパソコンどうしを電話回線や専用回線で接続し、データをやりとりするネットワークです。
- Webブラウザ** …… ホームページを見るためのアプリケーションです。
- Web設定** …… LANで本商品と接続したパソコンを使って、個々の電話機やシステムについての登録・設定を行います。
- 100BASE-TX** …… Ethernetの通信方式の一つで、ツイストペアケーブルを使い伝送速度は100Mbpsです。
- 1000BASE-T** …… Ethernetの通信方式の一つで、ツイストペアケーブルを使い伝送速度は1000M(1G)bpsです。
- 10GBASE-T** …… Ethernetの通信方式の一つで、ツイストペアケーブルを使い伝送速度は10Gbpsです。
- 2.5/5GBASE-T** …… Ethernetの通信方式の一つで、ツイストペアケーブルを使い伝送速度は2.5Gbps/5Gbpsです。

五十音

【ア行】

- 空き外線 …………… 使用していない外線で、発信・着信できる外線のことです。
- イーサネット …………… LANの通信方式。10GBASE-T/5GBASE-T/2.5GBASE-T/1000BASE-T/100BASE-TX等の規格があります。
- オフフック …………… ハンドセットを取りあげることです。
- オンフック …………… ハンドセットを置くことです。
- オンフックダイヤル …… ハンドセットを置いたまま、スピーカボタンを押し、ダイヤルボタンを押すことです。

【カ行】

- 回線終端装置 …………… 光ファイバ通信で、パソコン等の端末機器をネットワークに接続するために使用する終端装置です。光ファイバを流れてきた信号を対応機器で使用できる信号に変換する機能を持ちます。
- 外線捕捉 …………… 「ツ」 という外線発信音が聞こえる状態を外線捕捉の状態といいます。この状態のときに外へ電話をかけることができます。
- クライアント …………… LAN等を構成するコンピュータの中で、主にサーバからの資源やサービス（ファイル/データベース/メール/プリンタ等）を受けるコンピュータです。
- グローバルアドレス …… インターネット上の通信相手を特定するために使用されるIPアドレスの一つです。このアドレスは、インターネット上で重複することは許されていません。これとは別にプライベートでの使用に限って利用できるプライベートアドレスもあります。
- ゲートウェイ …………… プロトコルの異なるLANどうしやLANとWANとを接続する装置です。

【サ行】

- サーバ …………… LAN等を構成するコンピュータの中で、主にクライアントに資源やサービス（ファイル/データベース/メール/プリンタ等）を提供するコンピュータです。インターネット上では、Webサーバがホームページ情報を提供します。
- サブネット …………… 大きなネットワークを複数の小さなネットワークに分割して管理する際の管理単位となる小さなネットワークです。IPアドレスは、所属するサブネットのアドレス（ネットワークアドレス）と、サブネット内での端末のアドレス（ホストアドレス）から構成されており、ネットワークアドレスが上位何ビットかをサブネットマスク（ネットマスク）で指定します。
- システム管理者 …………… 工事者による設定で、システムに関する一部の設定を行う資格を与えられている内線電話機のことです。メニュー操作による「システム一括設定」が行えます。工事者による設定内容の変更については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。
- システムモード …………… SmartNetcommunity αZXII Slimを、時間帯に応じて動作させるための動作形態区分です。昼、夜、休憩、休日の4つに区分できます。
- 主装置ソフトウェア …… SmartNetcommunity αZXII Slimを動作させるプログラムのことです。ソフトウェアを最新のものに更新することにより、快適に動作させることができます。
- ステップコール …………… 内線個別呼び出しをしたとき、相手がお話し中等の場合、代わりに自グループ内の他の電話機を呼び出すことです。
- ステートフル パケット
インスペクション …… 通過するパケットのデータを読み取り、内容を判断して動的にポートを開放、閉鎖する機能です。
- スピーカ受話 …………… スピーカで相手の声を聞くことです。

- スループット** …………… コンピュータが処理を行う速度を意味します。CPU、メモリ、ハードウェア等がそれぞれ影響しあった結果、すべての要素を通して、最終的に処理がどれほどの速度で行われるかを指します。
- 静的IPマスカレード** … IPマスカレード使用時に、設定したポート番号の変換を行わないようにする機能で、LAN側の端末を特定します。ネットワークゲームを行うとき等に使用します。
- セッション** …………… ネットワークまたはリモートコンピュータに接続している状態です。例えば、ログインのことを「セッションの開始」といい、ログアウトのことを「セッションの終了」ともいい、接続してから切断するまでの状態をいいます。

【タ行】

ダイヤルイングループ

- ボタン (NK/NKG)** …… ダイヤルイン番号を割り当てて、当該ボタンのあるすべての電話機に発着信させるためのボタンです。複数の電話機で、発着信グループ等を運用する場合に利用します。
- ダイヤルインサービス** …… 外線から直接内線電話機を呼び出すサービスです。
- 代理応答** …………… 他の端末への着信に応答できる機能のことです。
- 着信音** …………… 電話がかかってきたときに鳴る呼び出し音のことです。
- 追加ダイヤル** …………… ワンタッチダイヤル、電話帳等において、ダイヤルをさらに追加して発信する機能のことです。
- 転送電話** …………… かかってきた電話を、あらかじめ登録されている電話番号に転送させる機能です。外出するとき等に手動でセットする転送電話（「電話機起動転送」）のほか、常時セットしておく「電話帳グループ転送」があります。
- 電話機グループ** …………… 電話機（端末等）から構成されるグループのことです。
- ドメイン** …………… 「領地」を意味し、ネットワーク関連では各ネットワークにおけるひとまとまりの管理単位です。

【ナ行】

- 内線代表呼出** …………… 内線番号の代わりに「システム設定」した代表番号を押すと、そのグループ内の未使用の電話機を1台呼び出す機能です。
- 内線ダイレクトコール** …… 電話機の回線ボタンに内線番号を設定し、回線ボタンを押すことによりワンタッチで内線電話機を呼び出すことです。
- 内線ホットライン** …… 電話機ごとに呼び出し先の内線番号を設定し、ハンドセットを取りあげるだけで内線呼び出すことです。
- ネットワークアドレス** IPアドレスの中のネットワークを識別する部分です。

【ハ行】

- パーク保留** …………… 通話中にパーク保留の特番を押すことにより、通話相手を保留し、同じパーク保留グループとして設定した電話機のみから保留解除できるようにする機能です。
- パケット** …………… 一定のサイズに分割されたデータの先頭に、データの属性や宛先等を付けたものです。
- パススルー** …………… 信号を何の処理もしないで通過させることです。
- パスワード** …………… コンピュータ・システムの安全性や信頼性を維持するために利用される、数字や文字列による符号です。パスワードを設定する際は、名詞や単純な数字、文字は避け、数字、記号を組み合わせて設定することや、定期的にパスワードを変更することが望ましいです。
- ハンズフリー** …………… ハンドセットを使わないで、内蔵マイクによりお話しができる状態のことです。ハンズフリー応答、ハンズフリー通話等があります。
- ひかり電話** …………… NTT東日本/NTT西日本提供のIP電話サービスです。

- ファームウェア** …… 本商品を動作させるためのソフトウェアです。
- ファイアウォール** …… 外部からの不正なアクセスを防ぐためのシステムです。LANとインターネットの間で不正なアクセスの検出や遮断を実現しています。
- 不在着信転送** …… かかってきた電話を他の内線電話機に自動的に転送させる機能です。席を離れるとき等に便利です。
- プライベート**
- アドレス** …… プライベートなLANで使用することができるIPアドレスのことです。
- プリセットダイヤル** …… オンフック状態でダイヤルしたあとに、外線捕捉または内線捕捉をして発信する機能のことです。
- プリセクション** …… ハンドセットを置いたまま、外線ボタンまたは内線ボタンを押して、ハンドセットを取り上げるかスピーカボタンを押すと、回線が捕捉できる機能です。
- プロキシサーバー** …… 各装置からプロトコルメッセージを受け取り、相手先に代理送信することにより装置間の通信を確立させるサーバです。
- プロトコル** …… 通信規約。システム（コンピュータやネットワーク）どうしが正しく通信できるようにするための約束ごとです。
- プロバイダ** …… インターネットの接続サービスを提供している事業者です。
- ポート番号** …… TCP/IPにおいて、ユーザやアプリケーション等を識別するために利用する番号です。
- ホスト名** …… ネットワークを利用している機器に付加される名前です。DNSサーバによりIPアドレスと対応付けられています。

【マ行】

- メニュー設定** …… 電話機のディスプレイを見ながらメニュー操作を行うことにより、各種の登録・設定を行うことです。メニューは内線電話機ごとに設定する「電話機毎設定」と、システム全体に関する「システム一括設定」に分かれています。

【ラ行】

- ルータ** …… 複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置です。
- ルーティング** …… パケットを宛先に届けるための経路を選択する機能です。

【ワ行】

ワンタッチオンフック

- サービス** …… 空いている外線ボタンまたは内線ボタンを押すだけで、スピーカボタンを押さなくてもオンフックダイヤルの操作ができる機能です。

アルファベット

ACTランプ	1-8
DECT方式DIVコードレス卓上電話機	5-2
DECT方式DIVコードレス電話機	5-2
DECT方式IP-DIVコードレス接続装置	5-2
ECOモード自動起動タイマ	3-26
IPv4パケットフィルタ設定	4-9
LAN1～3ポート(状態表示ランプ)	1-9
LAN4ポート(状態表示ランプ)	1-9
LANインタフェース	4-8
LANケーブル	1-6
LANポート	1-9
LINKランプ	1-9
USBポート	1-9
VCCI規定	10
VoIP	1-14, 6-29, 6-39
WANポート	1-9
WANポート(状態表示ランプ)	1-9
Web設定	
かんたん設定ウィザード	1-26
基本設定	4-2
情報	6-20
便利な機能設定ウィザード	3-30
メンテナンス	6-14
ルータ設定	4-4
Windows 11	
JavaScriptの設定確認	6-13
Webブラウザの確認	6-12
パソコンのネットワーク確認	6-12

五十音

【ア行】

空き外線	2-14, 6-30
空き外線自動発信	2-14
アラームランプ	1-8
暗証番号設定	3-16
音	
こんな音がしたら	6-25
オプション装置	5-2
オプションランプ	1-8
オフフック	6-30
オフフック外線応答設定	3-9
オフフック外線発信設定	3-8
オンフック	6-30
オンフックダイヤル	2-4, 6-30
音量調節ボタン	1-10
音量の調節	
スピーカ音量	1-28
着信音量	1-28
ハンドセット受話音量	1-29

【カ行】

外線毎着信拒否設定	3-9
外線着信	2-15, 2-16
外線着信鳴動設定	3-9
外線転送先呼出タイマ	2-38, 3-28
外線転送方式設定	2-38, 3-28
外線発信	1-14, 2-2
外線捕捉	6-30
回線ボタン	1-10, 1-13
外線ランプ	1-13
外部アンプ接続用コード通し口	1-11
角度調節足	1-11, 1-12
過電圧防護	10
壁掛けにする	1-16
機能特番	6-7
機能ボタン	1-9, 1-10
休憩モード	3-25, 6-4
休日モード	3-25, 6-4

- | | | | |
|------------------|------------|-------------------|------------------|
| 給電HUB | 1-18, 5-2 | 示名条 | 1-10, 6-10 |
| 行検索 | 2-10 | 出力端子差込口 | 1-11 |
| 共通電話帳全削除 | 3-20 | 受話音保持 | 3-15 |
| 共通電話帳登録 | 3-19 | 受話口 | 1-10 |
| 共通保留 | 2-23 | 受話増保持 | 3-15 |
| クリアボタン | 1-10 | 順次転送 | 2-38 |
| グループ検索 | 2-10 | 仕様 | 6-38 |
| グループ毎コールバック | 3-20 | 上下左右ボタン | 1-10 |
| グループ毎鳴動設定 | 3-7 | 商標登録 | 10 |
| グループ着信先設定 | 3-19 | 初期化ボタン | 1-8 |
| グループ着信ランプ設定 | 2-47, 3-7 | 初期状態ランプ | 1-8 |
| グループ名称設定 | 3-19 | 初期パスワード | 1-24 |
| 決定ボタン | 1-10 | スタンド | 1-6, 1-15, 1-16 |
| 決定ランプ | 1-13 | ステップコール | 2-18, 2-26 |
| 圏外時サービス設定 | 3-11 | スピーカ | 1-10 |
| 構成図 | 1-7 | スピーカ音量 | 1-28 |
| 口頭転送 | 2-26 | スピーカ受話 | 2-3 |
| コールバック | | スピーカボタン | 1-10 |
| できないとき | 6-5 | スピーカランプ | 1-13 |
| 故障かな?と思ったら | 6-26 | 接続先設定(IPv4 PPPoE) | 4-7 |
| 個別電話帳 | 2-28, 3-37 | 接続する | 1-17 |
| 個別電話帳全削除 | 3-6 | 設置する | 1-15 |
| 個別電話帳登録 | 3-6 | 設定特番 | 6-8 |
| 個別保留 | 2-23 | 送話カット | 6-3 |
| | | 送話口 | 1-10 |
| | | ソフトウェアライセンス | 10 |
| 【サ行】 | | | |
| サービスボタン | | 【タ行】 | |
| 受話音量増大 | 1-29 | 待機中画面 | 1-14 |
| 送話カット | 6-3 | ダイヤルインサービス | 6-31 |
| 転送電話 | 2-36, 2-37 | ダイヤル押下音設定 | 3-17 |
| サービスロック対象設定 | 3-16 | ダイヤル中特番 | 6-6 |
| 再起動ボタン | 1-8 | ダイヤルボタン | 1-10 |
| サインイン | 1-23 | 代理応答 | 2-18, 2-26, 6-31 |
| 削除ダイヤル設定 | 3-21 | 短縮ダイヤルカード | 6-10 |
| システム一括設定 | 3-4, 3-19 | 短縮ボタン | 1-10 |
| システム管理者 | 6-30 | 着信音 | 6-31 |
| システムモード | 2-44, 6-30 | 着信音色設定 | 3-9 |
| システムモード時刻設定 | 3-24 | 着信音停止設定 | 3-10 |
| システムモード設定 | 3-25 | 着信音量 | 1-28 |
| システムモード別ECOモード設定 | 3-18 | 着信拒否 | 2-34 |
| システム留守ガイダンス | 3-29 | | |

着信拒否ガイダンス	3-22
着信拒否設定	3-22
着信未応答警報タイマ	3-22
着信ランプ	1-13
着信履歴	2-12, 2-47
一覧画面	2-12
詳細画面	2-13
着信履歴発信	2-47
着信履歴保存設定	3-18
着信履歴ボタン	1-10
着信履歴ランプ	1-13
長時間通話警報タイマ	3-26
追加ダイヤル	6-31
通話時間	1-14
通話時間表示	1-14
ディスプレイ	1-10
ディスプレイの見かた	1-14
バックライトを点灯させる	1-14
データ通信ランプ	1-8
電源アダプタ	1-6, 1-17
電源アダプタ端子	1-9
電源ランプ	1-8
転送	2-36
順次転送と同時転送の違い	2-38
転送電話ができないとき	6-4
転送電話の設定を変更する	2-38
転送電話の対象とする回線を設定する	2-37
転送電話の転送先リストを登録する	2-36
転送電話をセットする	2-37
特定の相手先からの電話を転送する	2-39
不在のときの電話を転送する	2-40
転送先リスト登録	2-36, 3-11, 3-28
転送電話	6-31
転送元呼出継続設定	2-38, 3-29
電話機LCDパネル	1-10
電話機LCDパネルをつける	6-11
電話機LCDパネルを外す	6-11
電話機グループ	6-31
電話機毎設定	3-3, 3-6
電話機ポート	1-9
電話帳	2-6
行で検索する	2-10

グループで検索する	2-10
検索画面を表示する	2-6
削除する	2-31
電話をかける	2-6
登録する	2-28
登録できないとき	6-2
登録できる内容	2-28
登録方法	6-2
フリガナで検索する	2-7
編集する	2-31
メモリ番号で検索する	2-8
電話帳ガイド表示	3-20
電話帳グループ転送	2-39
電話帳検索	3-6
電話帳詳細読出タイマ	3-26
電話帳ダイヤル	2-6
電話帳鳴り分け	2-47
電話帳ボタン	1-10
電話を受ける	2-15
ハンズフリーで受ける	2-20
ハンドセットを置いたまま応答する	2-21
電話をかける	
電話帳ダイヤルでかける	2-6
電話番号を確認してからかける	2-5
内線番号で呼び出す	2-17
ハンズフリーでかける	2-19
ハンドセットを置いたままかける	2-4
ハンドセットを取りあげてかける	2-2
ワンタッチボタンで電話をかける	2-11
同時転送	2-38
登録ランプ	1-8
特定日システムモード設定	3-24
特定日設定	3-24
特番	6-6
時計アラーム (1回)	3-13
時計アラーム (毎日)	3-13
時計・カレンダー表示	1-14

【ナ行】

内線グループ斉鳴動	3-14
内線代表呼出	6-31
内線ダイレクトコール	6-31
内線通話	2-17
ハンドセットを置いたまま	
内線でお話する	2-21
内線ネーム登録	3-27
内線番号	1-14
内線ハンズフリー応答	2-21
内線ボタン	1-10
内線ホットライン	6-31
内線ホットライン設定	3-14
内線呼出音設定	3-14
内線ランプ	1-13
ナンバー・ディスプレイ	2-47
入力切替スイッチ	1-11
入力端子差込口	1-11
入力モード	2-32

【ハ行】

パーク保留	6-31
バックライト	1-14
バックライト設定	3-17
発信可能ダイヤル設定	3-21
発信規制ダイヤル設定	3-21
発信者番号表示	2-47
発信／着信履歴発信	2-12
発信履歴	2-12
一覧画面	2-12
詳細画面	2-13
発信履歴ボタン	1-10
発番号ダイヤルイン	2-47
ハンズフリー	6-31
電話をかける	2-19
ハンドセット	1-10
ハンドセットコード	1-10
ハンドセットコード差込口	1-11
ハンドセット受話音量	1-29
非通知着信拒否	2-47, 3-22, 3-33

標準IP電話機	1-10
昼モード	3-25
ファームウェア	
自動ファームウェア更新	6-17
手動ファームウェア更新	6-18
不在着信転送設定	3-14
復元	1-3
不在着信転送	2-40, 6-32
付属品	6-10
フックスイッチ	1-10
フックボタン	1-10
フリガナ検索	2-7
プリセットダイヤル	2-5, 6-32
プリセット読出タイマ	3-26
プリセクション	6-32
プロバイダ	1-26
ヘッドセット	3-15
ボイスワープ	2-50
ポーズ（待ち時間）	6-2
保留	2-23
保留警報音	6-3
保留警報音送出タイマ	3-23
保留転送	
他の外線に転送する	2-27
他の内線電話機に転送する	2-25
保留ボタン	1-10

【マ行】

マイク	1-10
マイクボタン	1-10
マイクランプ	1-13
明瞭モード	1-29
メニュー設定	3-2
お客様設置	3-5
システム一括設定	3-19
電話機毎設定	3-6
メニューボタン	1-10
メモリ番号	2-9
メモリ番号検索	2-8
文字入力	2-32

【ヤ行】

夜間モード	6-4
用語の説明	6-28
曜日毎鳴動モード設定	3-10
呼出状態転送	2-26
夜モード	3-25

【ラ行】

ランプの表記	1-8, 1-9, 1-13
履歴メニュー	2-13
履歴ランプ表示設定	3-17
留守応答	2-42
留守ガイダンス設定	2-43, 3-11
留守／転送開始タイマ	2-38, 2-43, 3-28

【ワ行】

ワンタッチオンフックサービス	6-32
ワンタッチ機能ボタン登録	3-12
ワンタッチダイヤル登録	3-12
ワンタッチ／プリセクション	3-8
ワンタッチボタン	
電話をかける	2-11
登録できるボタン操作	3-36
ワンタッチメモリ全削除	3-12

■仕 様

項目		ハードウェア仕様
WANポート	規格	10GBASE-T/5GBASE-T/2.5GBASE-T/1000BASE-T/100BASE-TX (IEEE802.3an/IEEE802.3bz/IEEE802.3ab/IEEE802.3u) オートネゴシエーション
	コネクタ形状	8 ピンモジュラージャック (RJ-45)
	ポート数	1 ポート
LAN1 ~ 3 ポート	規格	1000BASE-T/100BASE-TX (IEEE802.3ab/IEEE802.3u) オートネゴシエーション
	コネクタ形状	8 ピンモジュラージャック (RJ-45)
	ポート数	3 ポート
LAN4ポート	規格	10GBASE-T/5GBASE-T/2.5GBASE-T/1000BASE-T/100BASE-TX (IEEE802.3an/IEEE802.3bz/IEEE802.3ab/IEEE802.3u) オートネゴシエーション
	コネクタ形状	8 ピンモジュラージャック (RJ-45)
	ポート数	1 ポート
電話機ポート	コネクタ形状	6 ピンモジュラージャック (RJ-11)
	ポート数	2 ポート
	供給電圧	約 - 48V (無負荷時)
USBポート		未使用
使用回線		ひかり電話回線
ビジネスフォン 機能	外線容量	最大12チャンネル
	最大内線端末数	40台
	配線方式	LAN配線
	呼出方式	トーンリングおよびランプ
	内線線路長	最大100 m
筐体外観		縦置き壁掛け両用型
動作環境		温度：0℃～40℃ 湿度：10%～90% (結露しないこと)
寸法		約204(L)×37(W)×219(H) mm (突起部、スタンドを除く)
質量		約870 g
電源		AC100±10V 50/60Hz
消費電力		最大 35W (電源アダプタ含む)
電磁妨害波規格		VCCIクラスA

項目		ソフトウェア仕様	
ルータ機能	WAN プロトコル	PPPoE (PPP over Ethernet)、IPoE (IP over Ethernet)	
	PPP認証	自動認証 (CHAP/PAP) /CHAP 固定/PAP 固定	
	PPP接続/切断	常時接続 (自動接続) / 要求時接続 (無通信時切断)	
	接続先数	IPv4セッション	登録：5 箇所、同時接続：5 箇所
		IPv6セッション	登録：1 箇所、同時接続：1 箇所
	ルーティング方式	LAN 側IP アドレスルーティング (約150 件)	
	DHCP サーバ機能	あり (最大253 アドレス割当)	
	Proxy DNS機能	あり (LAN 側DNS サーバ指定可)	
	NAT/NAPT機能	あり	
	静的IPマスカレード機能	あり (MAP-E サービス利用時/PPPoE サービス利用時)	
	ユニバーサル プラグアンドプレイ (UPnP)機能	あり	
	DMZ ホスト機能	あり (LAN 側IP アドレス指定による)	
	複数固定IPサービス機能	あり	
	パケットフィルタ機能	フィルタ種別、送信元IP アドレス、宛先IP アドレス、プロトコル種別、送信元ポート、宛先ポート、方向指定可能	
IPv6 パケットフィルタ設定 (IPoE) 機能	フィルタ種別、送信元IPv6 アドレス/プレフィックス長、宛先IPv6 アドレス/プレフィックス長、プロトコル種別、送信元ポート、宛先ポート、方向指定可能		
セキュリティ保護機能	不正アクセス拒否機能、不正アクセス検出機能		
ブリッジ機能	PPPoE ブリッジ機能	あり	
VoIP機能	接続手順	SIP	
	音声CODEC	ITU-T G.711 μ -law	
	エコー・キャンセラ	ITU-T G.168	
設定・保守機能	設定方法	Web ブラウザ	
	状態表示機能	回線状態、WAN 側IP アドレス、装置情報、バージョン情報他	
	ログ機能	あり	
	設定値の保存・復元機能	ファイルに保存、ファイルから復元	
	ソフトウェアバージョンアップ機能	Web ブラウザを使用、自動更新	

■保守サービスのご案内

●本商品の保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。

（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無償で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおつかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおつかがいするための費用が不要になります。

●故障に関するお問い合わせ

インターネットおよび電話でお受けしております。

■インターネットでの受付をご希望の場合

NTT東日本Web113：<https://web113.ntt-east.co.jp/>

NTT西日本Web113：<https://www.ntt-west.co.jp/trouble/>

受付時間：24時間

■電話での受付をご希望の場合 ※音声ガイダンスによる録音受付となります。

局番無しの113番（無料）へご連絡ください。

※携帯電話からは「0120-444113」（無料）にてお受けしております。

受付時間：昼間帯（午前9時～午後5時）

●補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、販売終了後、7年間保有しています。

●各種取扱説明書のダウンロードについて

この商品に関連する取扱説明書のダウンロードについては以下になります。

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

SmartNetcommunity αZXII Slim：

<https://business.ntt-east.co.jp/support/zx2slim/>

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

SmartNetcommunity αZXII Slim：

<https://business.ntt-west.co.jp/manual/>

MEMO

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報等を提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<https://business.ntt-east.co.jp/support/zx2slim/>
<https://business.ntt-west.co.jp/support/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■ NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-970413

※携帯電話・050IP 電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～17：00

※年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■ NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-248995

受付時間 9：00～17：00

※年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

©2026 NTTEAST・NTTWEST



本 3611-1(2026.2)
ZX2SL-ME トリセツ - <1>